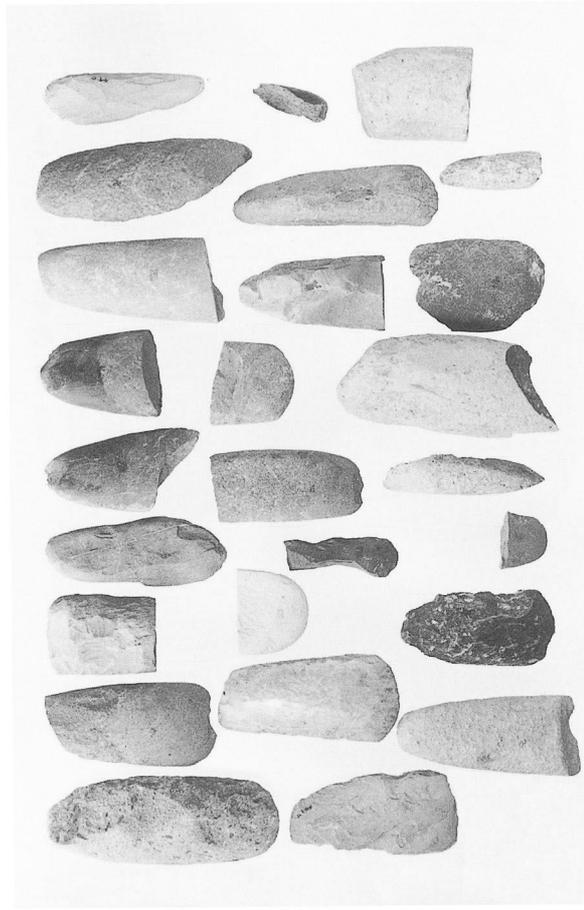
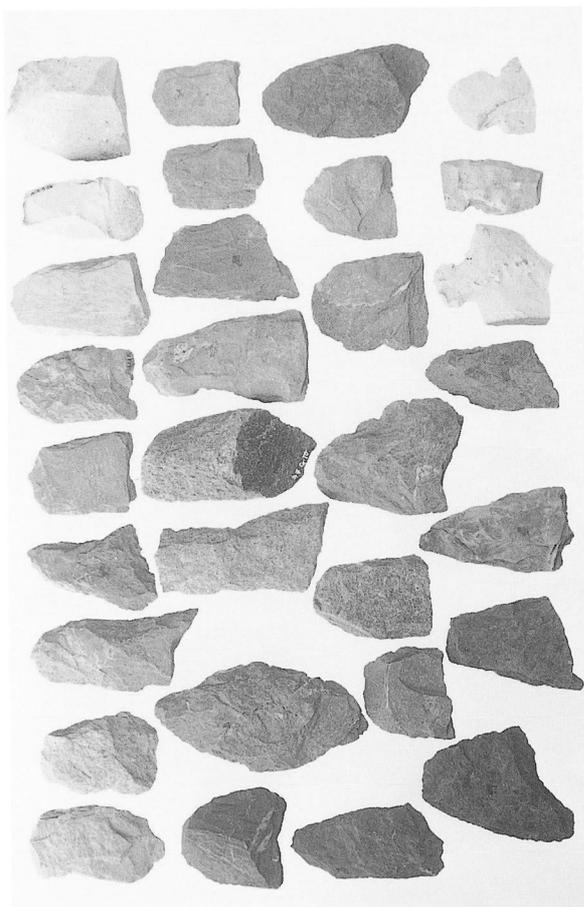


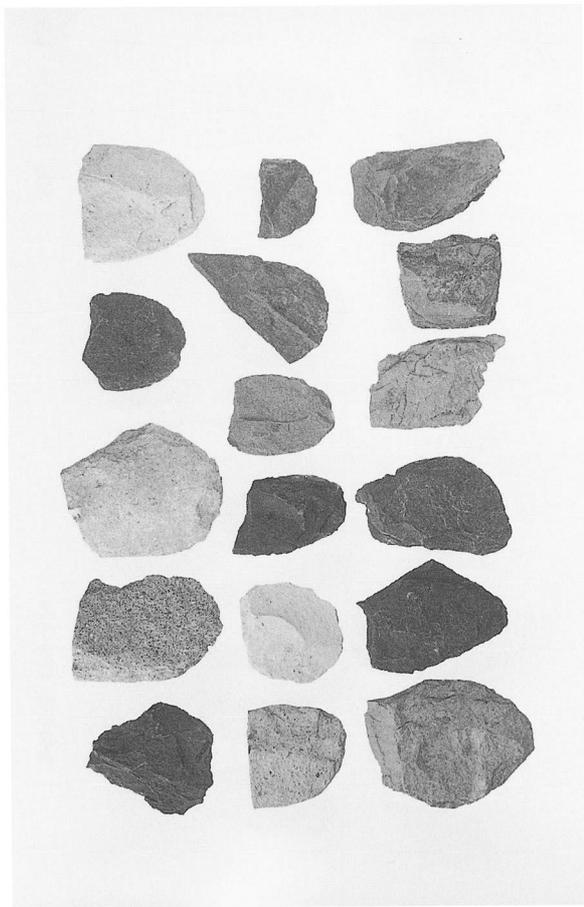
打製石斧刃部 520~536



磨製石斧 97~110、554~565



打製石斧基部 489~519

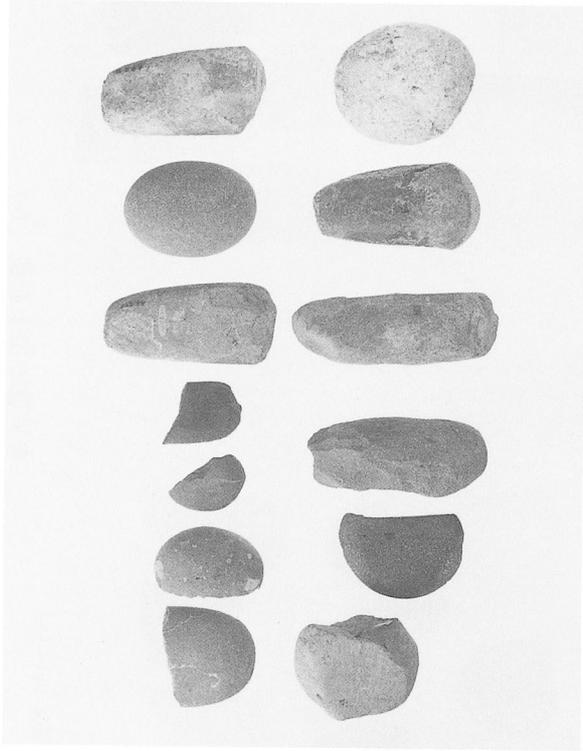


打製石斧刃部 537~550、同基部 551~553

布平遺跡出土石器 (6)



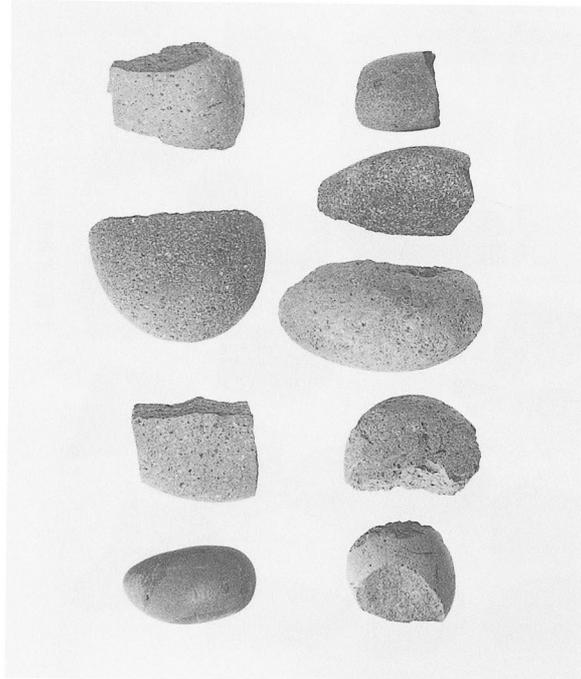
磨製石斧 566~574



敲石 111~115、575~580、582~583



敲石 581、磨・敲石 116~117、584



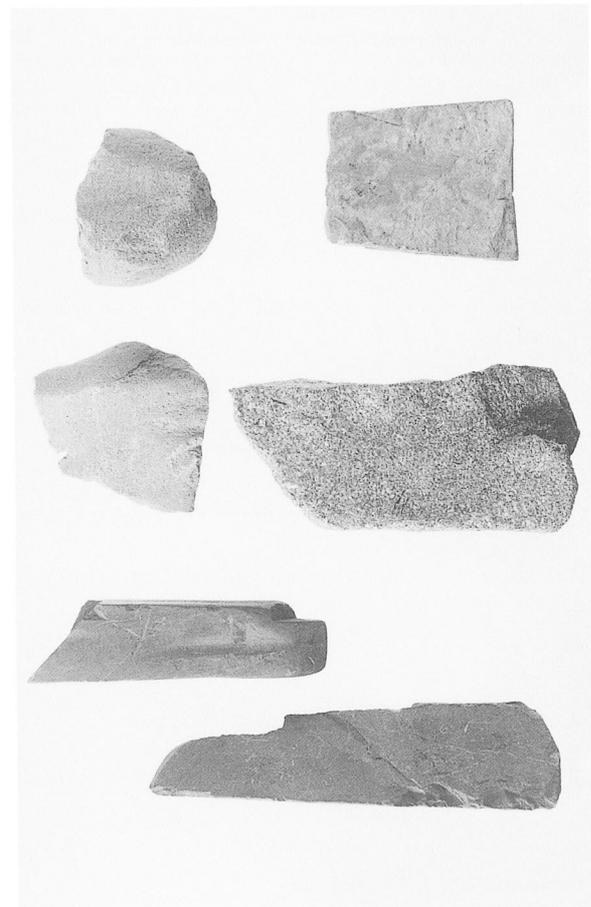
磨石 118、585~592



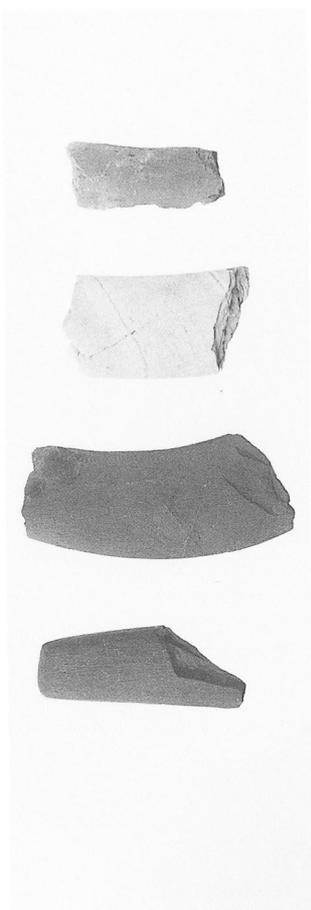
台石 593  
布平遺跡出土石器(7)



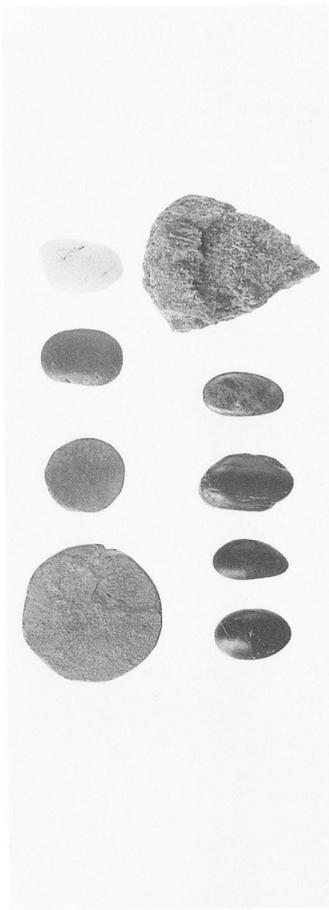
石錘 119~120、594



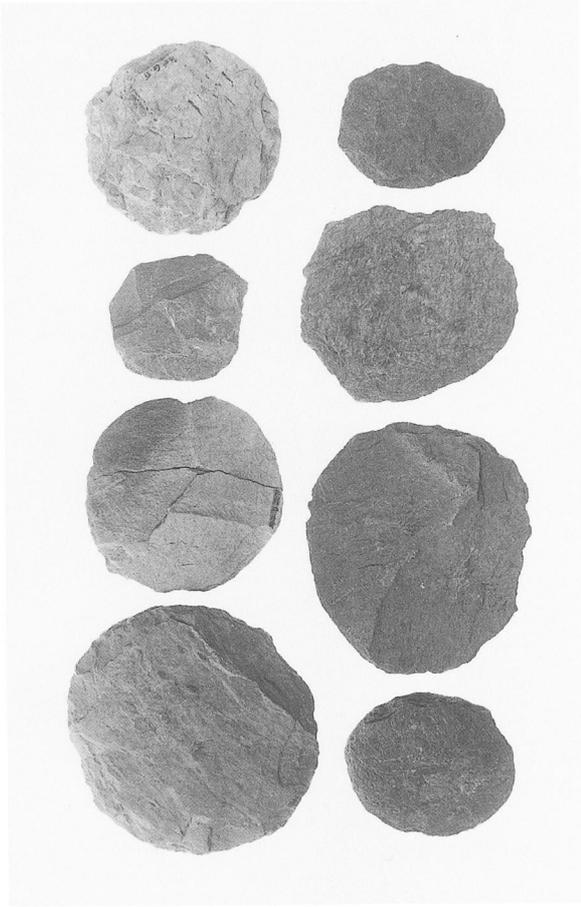
砥石 121、595~599



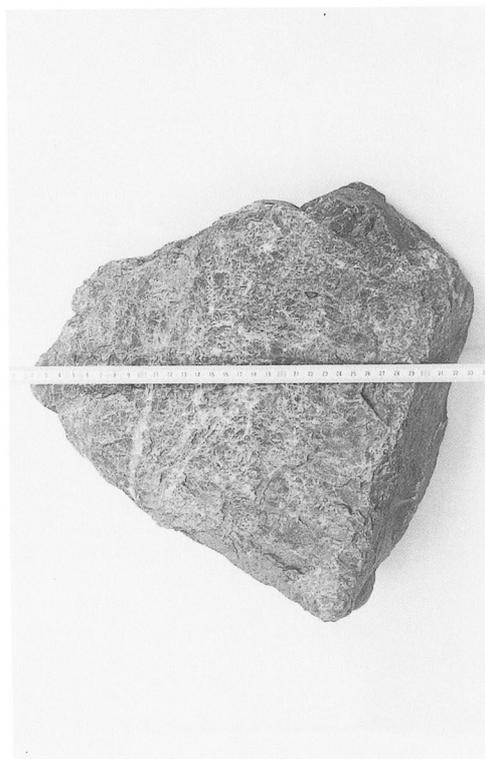
石刀 122~124、石棒片 125



円盤状石器 (磨製) 607~608、丸石 609~614、剥片 615



石製円盤 (打製) 126、600~606



SC6出土チャート原石 616

布平遺跡出土石器 (8)

## 第三章 古城遺跡の調査

### 第1節 調査の経過

本遺跡は五ヶ瀬川の支流である岩戸川の左岸、標高約300mの東側に向かい緩やかに傾斜する河岸段丘の斜面上に展開していた。調査に着手した当時、現地は斜面を掘削し棚田状に造成されており、農業道及び生活道路などが調査対象範囲を4つに分断していた。そこで調査は、分断された調査区にあわせて1区から4区を設定し最も南に位置する1区から順に作業を進めた。

平成10年4月20日調査開始。8日間で1区から3区までの表土剥ぎを完了し、1区から精査作業に移行した。1区では第Ⅲ層の黒褐色土上面で1号溝状遺構（SE1）を検出した地点より南側では遺構をほとんど検出せず、ピット群や弥生時代の竪穴住居跡はその北側の範囲に集中していた。特に住居跡は調査区の北西隅で3軒が切り合う状況で検出され、弥生時代の集落跡が存在する可能性が指摘された。1区ではこのほかにも第Ⅲ層から二次堆積の鬼界アカホヤ火山灰がわずかに混入するⅣ層の黒褐色土にかけて縄文時代晩期の遺物も出土した。1区では第Ⅳ層下層に基本層序の第Ⅴ層に相当する鬼界アカホヤ火山灰の良好な堆積層が存在せず、その後の作業でも第Ⅵ層以下で縄文時代早期の遺構・遺物の存在を示唆する遺構・遺物の検出には至らず同区の調査を終了した。

2区の調査は1区と並行して進めたが、調査事務所を設置した一角については3区の調査をある程度消化した時点で事務所を移設した後で調査を行うことにした。2区では、1区と同じように第Ⅲ層から第Ⅳ層にかけて遺物の出土が見られ、精査を進めるにつれ弥生時代の竪穴住居跡の検出数が増えていった。また、第Ⅳ層の上面では円形の竪穴住居跡が1軒検出され、遺物等から縄文時代晩期の住居跡と認定した。8月中旬からは第Ⅳ層の精査中から大小の焼礫が確認されていた範囲を中心に縄文時代早期の調査へと移行したが、予想していたとおり当該期の土器や石器が多量に出土した。また、焼礫の本体となる集石遺構も調査区中央からやや南よりの範囲で多数検出できた。早期の包含層は良好であり、出土した遺物も比較的大きめの破片が多かった。最終的に同調査区内で確認されたおもな遺構としては、弥生時代の竪穴住居跡15軒と土坑1基、縄文時代晩期の竪穴住居跡1軒、埋土に多量の土器が混入した土坑2基があげられる。また、縄文時代早期の遺構として集石遺構を35基確認した。

3区の調査は表土剥ぎが終わった時点から少しずつ進めてはいたが、2区の縄文時代早期の調査と並行して本格化した。同区では基本層序の第Ⅴ層の鬼界アカホヤ火山灰の良好な状態での堆積しており、その上層に当たる第Ⅳ層の黒褐色土が第1遺物包含層となった。遺構・遺物は表土を剥いだ時点で一定量確認されていたが、精査を行ったところ竪穴住居跡の存在を示す方形のにじみが検出され始めた。弥生時代の住居跡は合計で7軒検出したが、ほとんどは調査区の南側半分の範囲において検出された。また、2区で一定量が出土した縄文時代の後期・晩期の土器群は3区では調査面積に比してさほど多くは出土しなかった。調査はその後第Ⅵ層以下の縄文時代早期の遺構・遺物の確認へと移行した。集石遺構などの早期の遺構はそれほど多くは確認できなかったが、比較的大きな礫が調査区の南に偏位して多く分布する傾向を見出すことができ、14基の集石遺構もその近辺で大半が確認された。

平成10年12月7日、最終区となる最北端に位置する4区の調査に着手。既存道である県道7号の擁壁下まで表土を剥ぐ。調査区は他の3つの調査区と比べ比較的傾斜が急であったせいか、表土剥ぎの時点ではあまり遺物を確認することができず、その後の精査作業で遺構の検出に努めた。その結果、弥生時

代の隅丸長方形の土坑2基と複数のピットを検出するに至った。このうち4号土坑（SC4）からは、工字突帯の甕が焼土・炭化物を伴う層中から出土し、祭祀が行われた可能性が指摘できる。しかし、その他には目立った遺構の検出はなく、遺物も縄文時代晩期の土器と弥生土器がわずかに出土したのみであった。その後、縄文時代早期の遺構・遺物の存在を確認するために複数のトレンチを設定したが、流れ込みと思われる遺物が数点出土したのみで文化層は確認できなかった。

平成10年4月20日からおよそ9か月間続いた古城遺跡の調査は、この確認作業を最後にすべてを完了し平成12年1月22日をもって終了した。

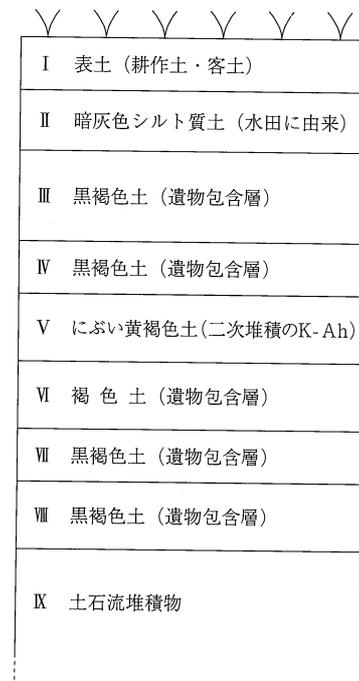
## 第2節 基本層序

第27図に古城遺跡の基本層序模式図を示した。

本遺跡は岩戸川の浸食により形成された河岸段丘上に位置するため、調査区は各区とも急崖のある東側に向かって傾斜している。また、調査区間の標高を比較すると、最も北に位置する4区が一番高く、1区に近づくにつれて標高が低くなる。

第I層は表土であり、平均堆積厚は約15cmである。水田もしくは畑地の耕作土である。近現代の陶磁器類が混入する。第II層は暗灰色シルト質土であり、平均堆積厚は約25cmである。層中に認められるマンガン成分により赤褐色に変色した床土と思われる層や混入した遺物から考えると調査区付近では少なくとも近世末には水田が営まれていたものと思われる。

第III層（平均堆積厚約25～30cm）と第IV層（平均堆積厚約15cm）はともに黒褐色土であり、縄文時代の後晩期、弥生時代、古墳時代にまたがる遺物の包含層である。第IV層は第V層に位置する鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah）堆積層の漸移層であり、K-Ahに由来する黄褐色ブロックの混在率が高くなることから第III層と区別される。第V層は二次堆積の鬼界アカホヤ火山灰堆積層であり、この上面で縄文時代後・晩期以降の遺構検出を行った。鬼界アカホヤ火山灰は3区では良好な堆積を見せ、厚い所では35cm弱の堆積を見たが、その他の区では残存度はそれほど高くなかった。第VI層は褐色土であり、それに続く第VII層の暗褐色土、第VIII層の黒褐色土上面の3つの層が縄文時代早期の遺物・遺構の包含層であった。第IX層は小礫と粘質土が混ざり合う状況が確認され、土石流に由来する堆積物と考えられる。



第27図 古城遺跡基本層序模式図

## 第3節 遺跡の概要

### 縄文時代早期

49基の集石遺構を2区と3区で確認したが、1区と4区では礫の分布は散漫であった。集石遺構の礫石材は花崗斑岩と阿蘇溶結凝灰岩が多く、遺跡周辺にみられる土石流中にこの礫石材が多く含まれることから、それらが礫の供給源となっていた可能性が高い。土器は押型文土器中心で、口縁内面に原体条痕が縦走する薄手のものが少量と、大形の楕円文・山形文をもつ比較的厚手の大きな破片が数多く出土している。このほか、口縁部に瘤状の突起をもつ厚手の無文土器の大きな破片や貝殻条痕文円筒土器等が出土する。石器はチャート製の打製石鎌・尖頭器・スクレイパー類が出土する。

## 縄文時代後期～晩期

1～4区で確認されたが遺構の密度は低く、2区の鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah)上面で竪穴住居跡1基(SA01)・土坑2基(SC01、SC02)が検出されたのみである。調査区内で検出された竪穴住居跡はごく一部であったが平面形態は円形プランと考えられ、埋土中より晩期土器が少量出土した。包含層中からは、北久根山式・西平式・辛川式並行の土器等がそれぞれ少量出土し、大部分は口縁帯の下部が断面三角形に肥厚し突出する無文の深鉢形土器(明確な貼付突帯文をもつ土器は少ない)といわゆる黒川式系の浅鉢で占められる。前期～中期土器の出土はない。石器はチャート製の打製石鏃・スクレイパー類等が多く、黒曜石(推定腰岳産)の原石や縦長剥片も一定量出土している。打製石斧の大半もこの時期に位置づけられよう。このほか、弥生後期の竪穴住居跡(SA24)の埋土中から、該期の勾玉が1点出土した。

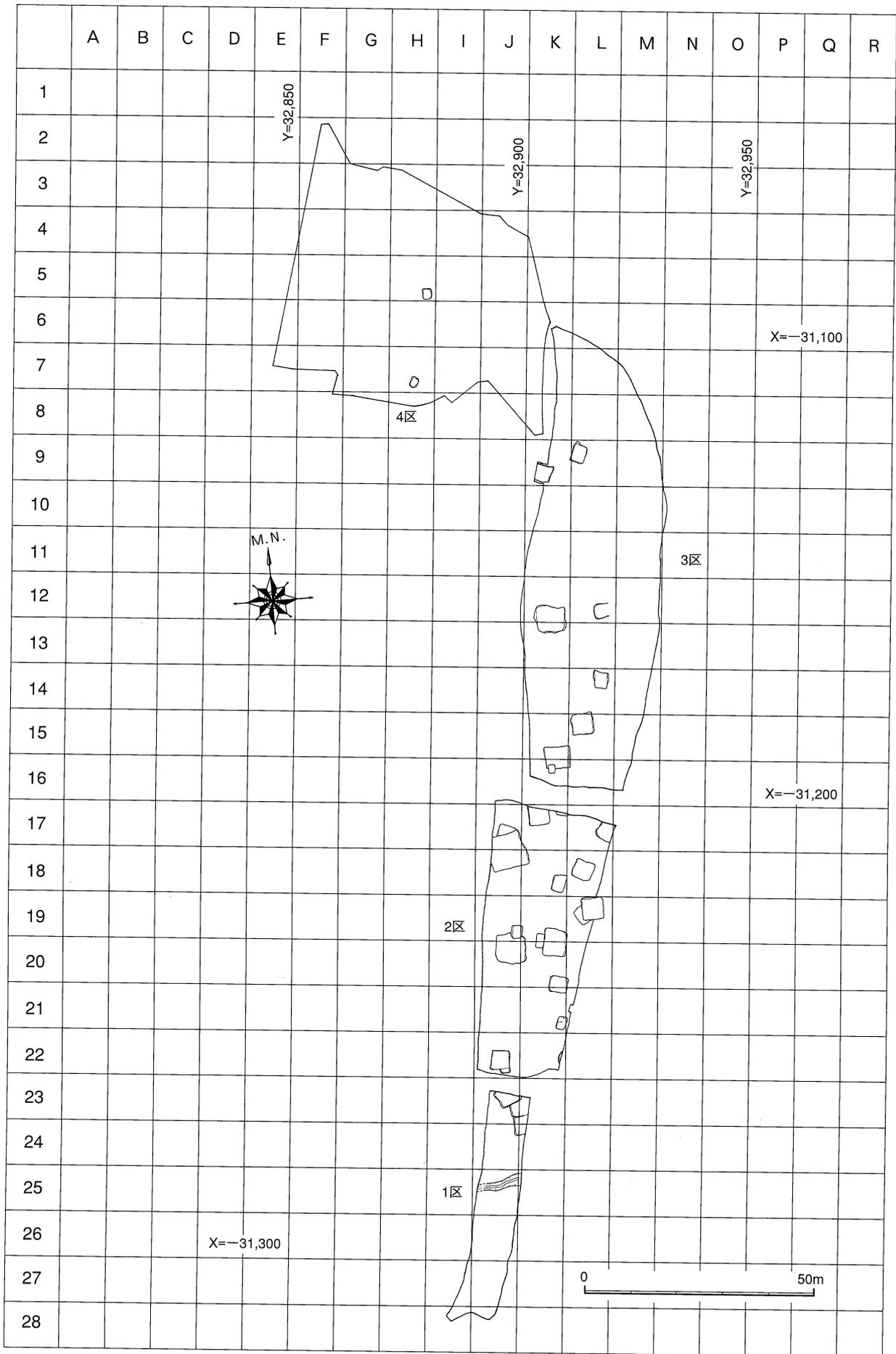
## 弥生時代中期末～古墳時代後期

竪穴住居跡総数25軒・土坑4軒が検出され、これらの遺構は出土遺物や重複関係、主軸などから大まかに弥生時代中期末から6世紀まで断続的に営まれており、弥生時代中期末～後期初頭を中心に3～4時期に大別される。なかでも弥生時代中期末～後期初頭の集落が主体をなし、形態は円形は見られずすべて方形を呈し支柱穴は2ないし4本で、規模では20㎡前後と50㎡前後の大型住居など格差が認められる。後期中葉以降になると集落軒数も3～4軒と減少する。土器では在地系のほか肥後系(黒髪式)、東九州系(下城式)、中国・瀬戸内系(櫛描波状文・凹線文)など他地域の影響を窺えるものも出土している。石器は磨製石鏃・同素材・同未製品・敲石・磨石・砥石・台石等が基本組成をなし、とくに磨製石鏃・同未製品・素材は、緑色系の石材を用いたものが大量に出土している。そのほか鉄鏃や碧玉製管玉等の玉類も出土している。

## 中世

本遺跡で確認された中世の遺構としては、2区で検出された1条の道状遺構があげられる。遺構は傾斜に沿って調査区を横切るように検出され、広いところでは約2m程度の幅を有する。また、遺構に伴う遺物としては同安窯系の櫛描蓮弁文などが出土している。限られた範囲における検出であったために遺構の性格付けは難しいが、2区と3区を分断していた道路脇の中世の五輪塔、岩戸川の浸食により形成された調査区東側の急崖付近に鎮座する妙見神社(水神)などの存在から、それらの信仰の対象を包括していた集落が展開していたとも考えられ、それに伴うものである可能性が指摘できる。

このほか、本遺跡が位置する大野原地区周辺の中世期の様相を物語るものとしては、大正寺跡五輪塔群や亀山城跡があげられる。大正寺跡については中世の動向を記した文書等の記録が少なく詳でないが、亀山城跡は中世の高千穂を領した三田井氏の家臣富高弥十郎長義の居城であり、遺構も良好に残存している。高千穂では、三田井氏の本城である仲山城を中心にして、島津氏と中世日向の覇権を争った伊東氏が構築した伊東48壘と同じように「高千穂48壘」が存在し、同城跡は岩戸方面を抑える上での主要な位置を占めていたと考えられる。しかしながら、同城は秀吉の九州仕置により縣の地に封ぜられた高橋元種により天正年間に攻め落とされる。調査区内で出土した15～16世紀の青磁碗や青花はこの城跡の存亡期と重複しており、城跡周辺の当該期の様相を考える上での資料として有用である。

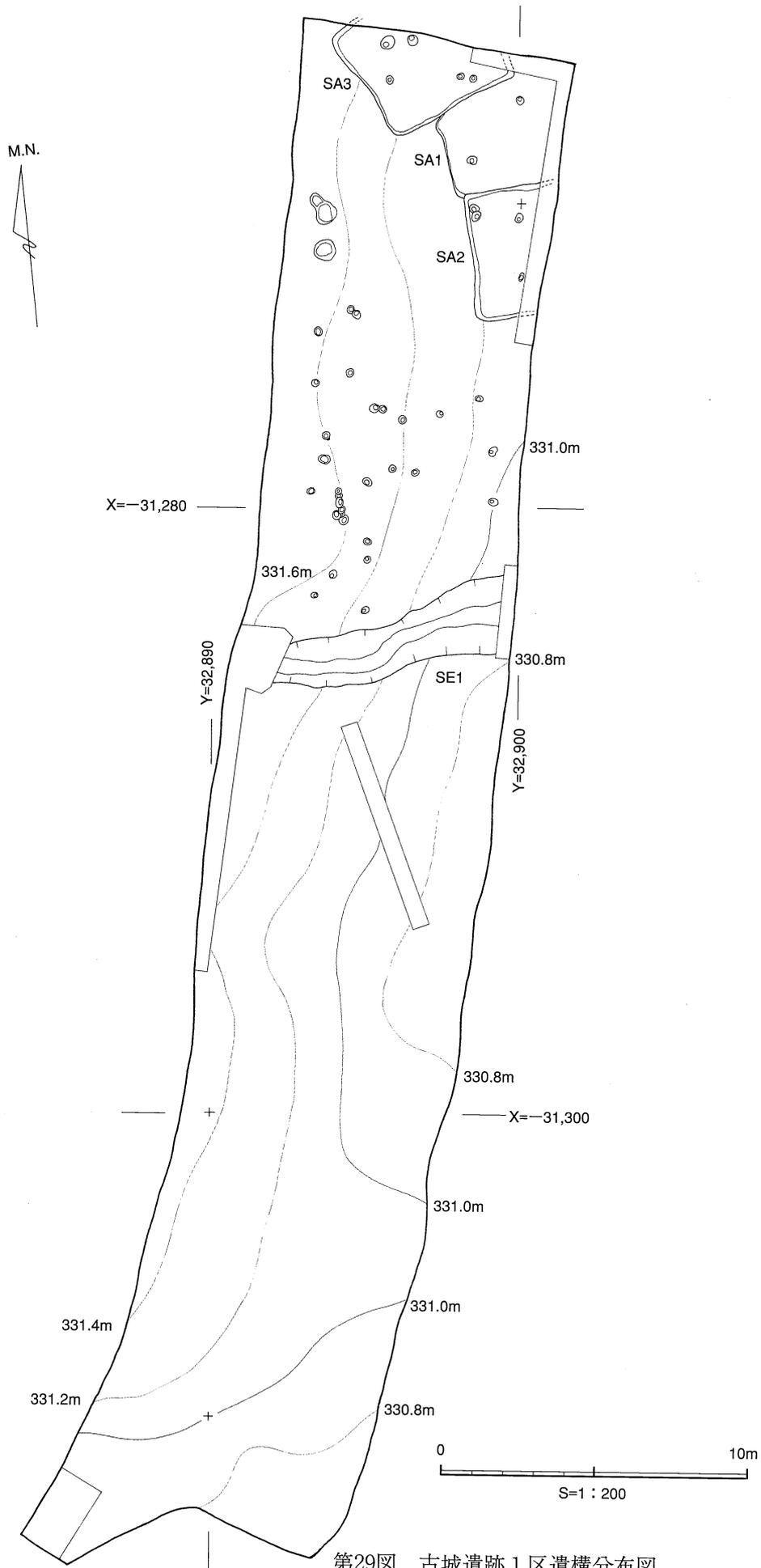


第28図 古城遺跡グリッド配置図 (S = 1/1,200)

表9 古城遺跡縄文時代・弥生時代竪穴住居跡一覧表

※ 表中の数値で斜体表示のものは、推定値であることを示す。

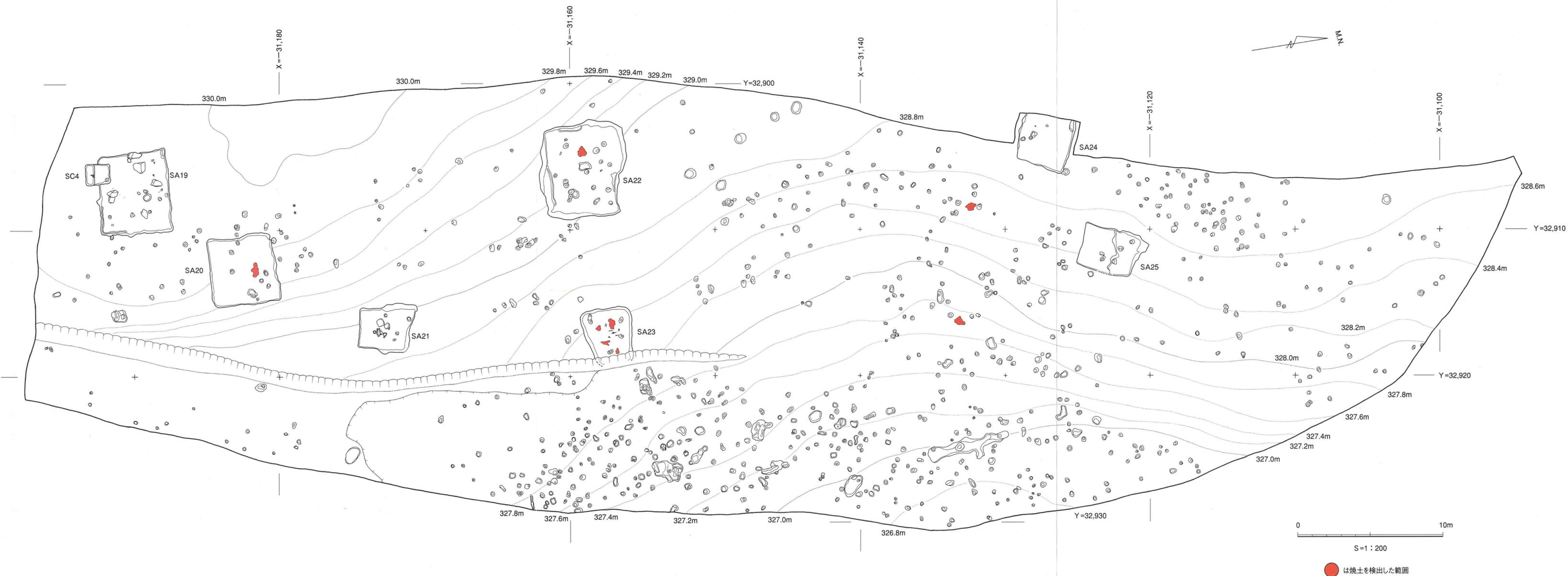
住居番号	調査区	時期	平面形態	柱数(主柱)	規模 (m)			床面積 (㎡)	主な出土遺物	備考		
					主軸最大長	× 最大幅	× 深さ					
SA01	2区	縄文時代 晩期	円形	不明	—	×	—	×	—	無刻目突帯文土器 ・1/6程度を完掘(残りは調査区外)		
SA1	1区	不明	隅丸方形?	不明	—	×	—	×	0.16	在地系甕 ・SA2とSA3に切られる。		
SA2	1区	不明	隅丸方形	4?	—	×	1.98	≦	×	0.44	在地系甕 ・SA1を切る。	
SA3	1区	不明	隅丸方形	不明	4.85	×	4.58	≦	×	0.13	在地系甕 ・SA1を切る。	
SA4	2区		方形+α	2	4.49	×	5.22	×	0.54	23.4	磨製石鏃・未製品 ・ベッド状の張り出しを有する。 ・焼土検出 ・壁帯溝を確認	
SA5	2区	終末~古墳前葉	隅丸長方形	4	4.26	×	3.52	×	0.59	15.0	磨製石鏃未製品 ・壁帯溝を確認 ・焼土検出	
SA6	2区	弥生時代 中期末~後期前葉	不整形な方形	4	7.55	×	6.96	×	0.67	52.5	磨製石鏃・未製品 工字突帯甕 ・SA7に切られる。 ・焼土検出 ・壁帯溝を確認	
SA7	2区	弥生時代 後期中葉~後葉	隅丸長方形	1	2.78	×	2.43	×	0.74	6.8	・SA6を切る。	
SA8	2区	弥生時代 中期末~後期前葉	方形?	不明	3.22	×	—	×	0.57	—	敲石 ・SA9に切られる。 ・焼土検出	
SA9	2区	終末~古墳前葉	隅丸長方形	2	5.96	×	5.05	×	0.79	30.1	タタキ甕 ・SA8を切る。 ・壁帯溝を確認	
SA10	2区	弥生時代 中期末~後期前葉	隅丸方形	不明	3.90	×	4.30	×	0.39	16.8	複合口縁壺 磨製石鏃 ・SA11に切られる。	
SA11	2区	弥生時代 後期中葉~後葉	隅丸方形	4	4.63	×	5.11	×	0.71	23.7	長頸壺 ・SA10を切る。 ・焼土検出 ・壁帯溝を確認	
SA12	2区	終末~古墳前葉	隅丸長方形	2	2.86	×	4.12	×	0.59	11.8	タタキ甕 ・掘削により1/8程度が消失	
SA13	2区	不明	不整形な方形	2?	4.56	×	4.31	×	0.42	19.7		
SA14	2区	弥生時代 後期中葉~後葉	隅丸方形	4	8.13	×	8.71	×	0.68	70.8	複合口縁壺 鉄鏃 鈍 鉄片 ・SA15を切る。 ・焼土検出 ・一部未確認(調査区外)	
SA15	2区	弥生時代 中期末~後期前葉	方形?	不明	4.05	×	3.09	≦	×	0.39	—	・SA14に切られる。
SA16	2区	弥生時代 後期中葉~後葉	方形?	不明	4.63	×	4.48	×	0.24	20.7	・焼土検出	
SA17	2区	不明	隅丸方形?	不明	—	×	—	×	0.25	—	・一部のみ確認(調査区外)	
SA18	2区	不明	不整形な方形	不明	—	×	—	×	—	—	下城式土器 磨製石鏃・未製品 ・3/5?程度を確認(調査区外)	
SA19	3区	弥生時代 中期末~後期前葉	方形	不明	5.82	×	5.08	×	0.25	29.6	敲石 ・SC4に切られる。 ・壁帯溝を確認	
SA20	3区	不明	やや不整形な隅丸方形	2?	4.69	×	4.67	×	0.63	21.9	下城式土器 磨製石鏃未製品 ・壁帯溝を確認	
SA21	3区	弥生時代 中期末~後期前葉	不整形な方形	不明	3.42	×	3.88	×	0.53	13.3	工字突帯甕 磨製石鏃	
SA22	3区	弥生時代 中期末~後期前葉	隅丸方形	4	7.48	×	5.84	×	0.33	43.7	管玉 磨製石鏃・未製品 ・壁帯溝を確認 ・焼土検出	
SA23	3区	弥生時代 中期末~後期前葉	隅丸台形?	不明	3.56	≦	3.46	×	0.48	—	管玉 磨製石鏃 ・1/5程度が掘削により消失 ・焼土検出	
SA24	3区	弥生時代 中期末~後期前葉	方形	不明	3.72	≦	4.06	×	0.31	—	黒髪式土器 玉 磨製石鏃 鉄鏃 ・一部未確認(調査区外)	
SA25	3区	弥生時代 中期末~後期前葉	隅丸方形	不明	3.26	×	4.58	×	0.42	14.9	工字突帯甕	



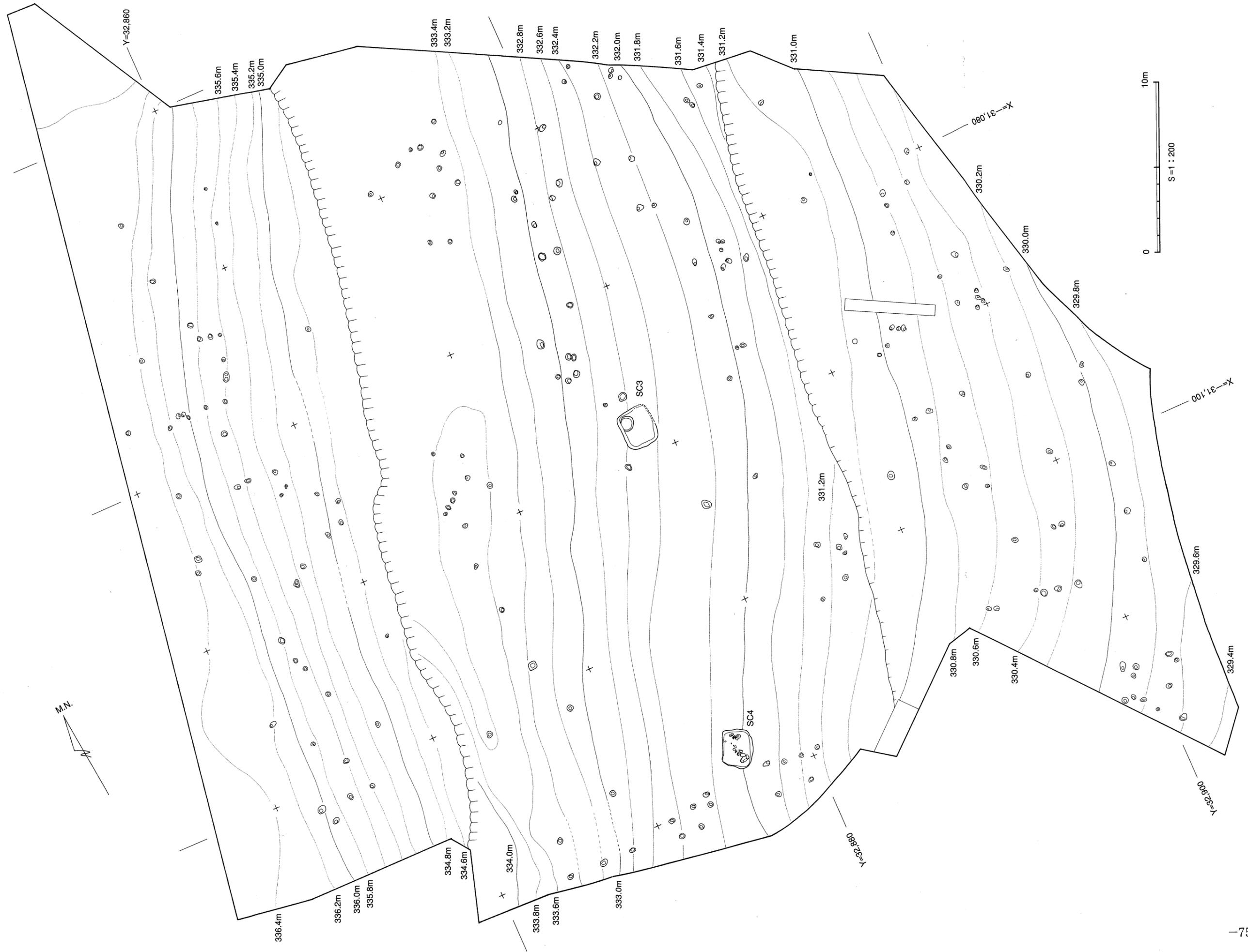
第29图 古城遺跡 1 区遺構分布図



第30図 古城遺跡2区遺構分布図



第31図 古城遺跡3区遺構分布図（等高線はVI層上面）



第32图 古城遺跡4区遺構分布图

## 第4節 縄文時代早期の遺構と遺物

### 1 集石遺構（第38～39図）

鬼界アカホヤ火山灰層下位のⅥ層中で、集石遺構が49基検出された。2区と3区のみに見られ、特に緩斜面をなす2区に多い。その2区ではいくつかの分布のまとまりが看取できる。一方、3区は散漫な分布状況を示している。

個別の図は掲げていないが、掘り込みを有するものが45基（全体の92%）に及ぶ。また12基で炭化物が検出されている。S I 23は配石を有する。構成礫は花崗斑岩、阿蘇溶結凝灰岩がほとんどで、S I 23のみ砂岩が用いられる。このS I 23は特異な存在なのであろう。なお、集石遺構に関する詳細は、表11を参照されたい。

### 2 土器（第33～37図）

主としてⅥ層より出土している。Ⅶ層・Ⅷ層より出土している資料もあるが、時期差を読みとることはできない。押型文系土器が多数を占める他、縄文・撚糸文系、円筒形条痕文系に属する個体も若干量見られる。さらに貝殻文系塞ノ神式や微隆起突帯を有する条痕文土器もごく少量認められる。

押型文系土器は、楕円文・山形文のほか、わずかに平行文が認められる。27や28の菱目文は手向山式に特徴的に見られる文様である。多くは内面の口縁上部を文様帯とするが、文様の無い個体も少量ある。内面の文様は外面同様の押型文である場合が多いが、縦位の短沈線文（いわゆる原体条痕も含まれる）を施す場合もあり、17などは斜方向の長めの沈線文を施文している。5のように短沈線文と押型文を組み合わせるものもある。また口唇部を文様帯とし、押型文や刻目を付す個体もある。器形の全容の窺い知れる個体はほとんどないが、①直口をなすもの、②胴部が張ることなく底部に至ると考えられるもの、③胴部が張るもの、④胴部が鈍く屈曲するものなどがあり、出土状況から窺い知ることにはできないもの、おそらく器形の違いは時期差に因るのであろう。なお、図化していないが、押型文を施す平底の底部が出土しているが、それなどは類例から見て③に属する可能性が高い。

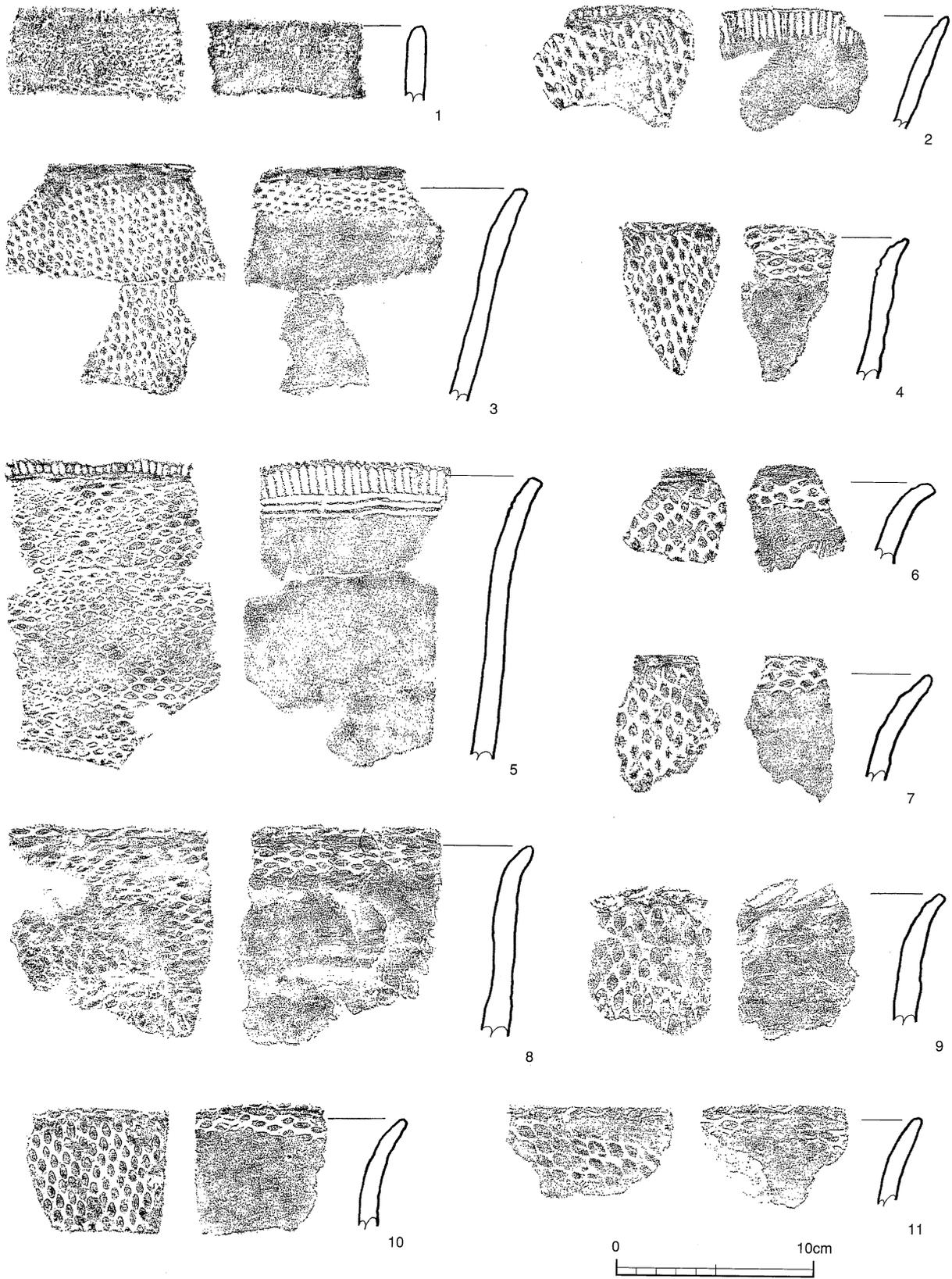
縄文・撚糸文系土器は、器形や内面の口縁上部を文様帯とするところなど、押型文系土器と共通する特徴が見られる。33は手向山式の器形であり、外面には綾杉状の単節の縄文を施す。結束部は明瞭でないが、2本の縄を結束させたものか。

円筒形条痕文系に該当するものは、36・37である。いずれも、外面にわずかに波打つ条痕文を施す。内面は丁寧なナデ調整を行い、平滑な器面を形成している。

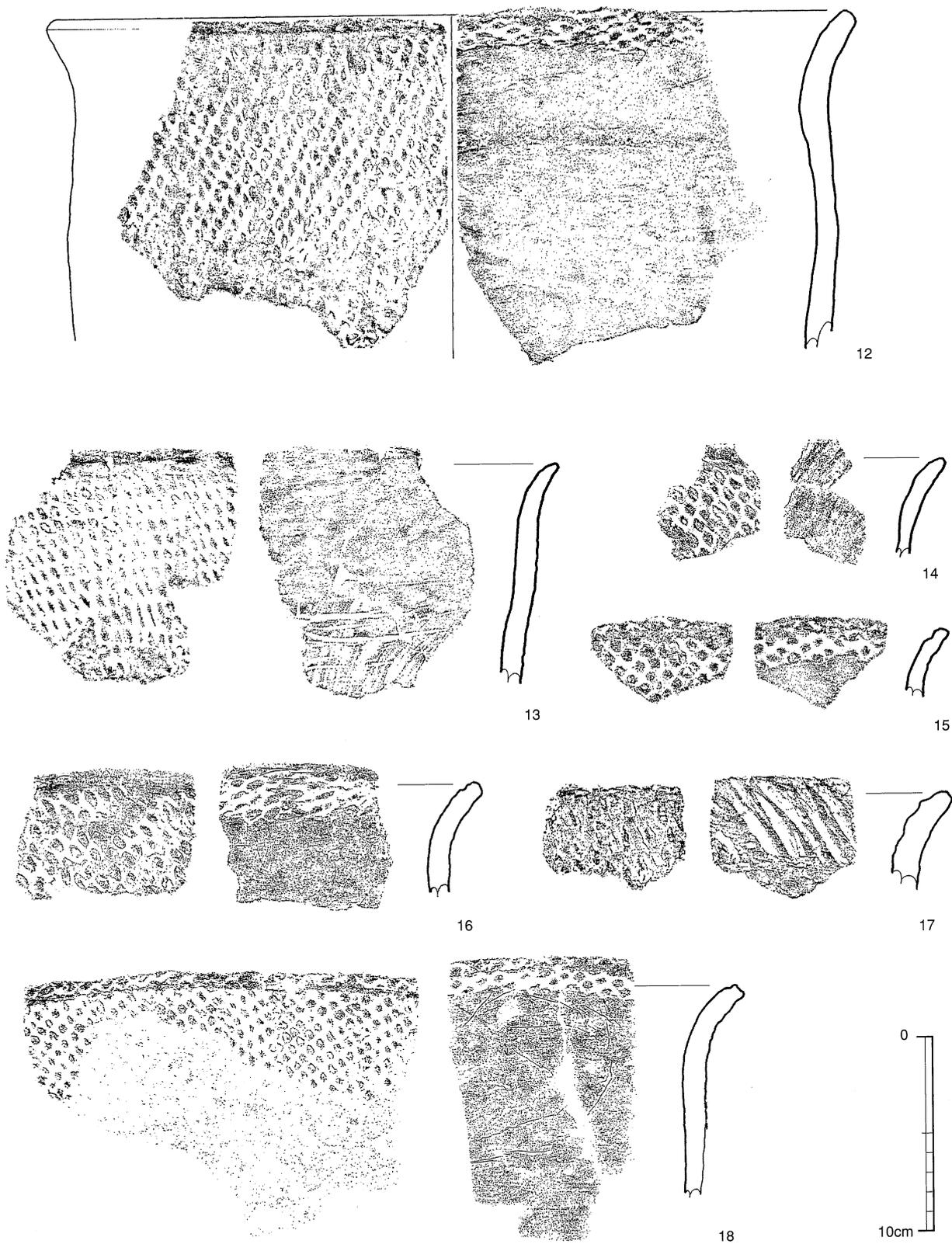
貝殻文系塞ノ神式に属する個体は38の1点のみである。口縁下部と見られ、貝殻縁による圧痕文を施文する。

また微隆起突帯を有する条痕文土器も、44の1点のみであるが、同じ特徴を有する条痕文土器が少量認められる。突帯は貼り付けではなく、器面を削りだした結果形成されるものである。

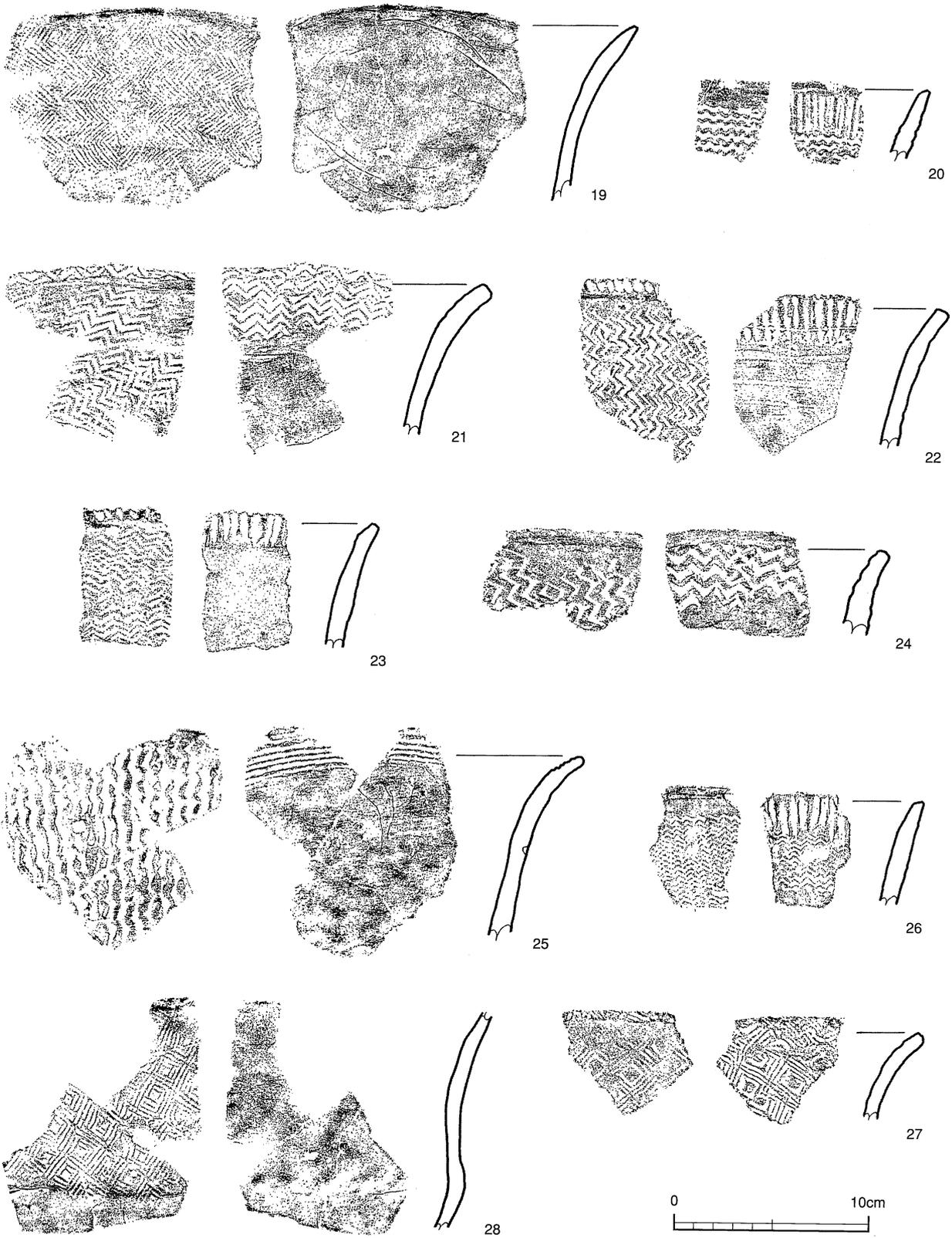
以上の他、Ⅵ～Ⅷ層中から一定量の無文土器が出土している。39～43がそれである。口縁部の形態のみ見ても、①外反するもの、②直口、③内湾するもの、と多様で、所属型式を推定することはできない。ただし、図化できていないが、口縁部に瘤状の突起を付す個体があり、何らかの手がかりとなる可能性があるであろう。



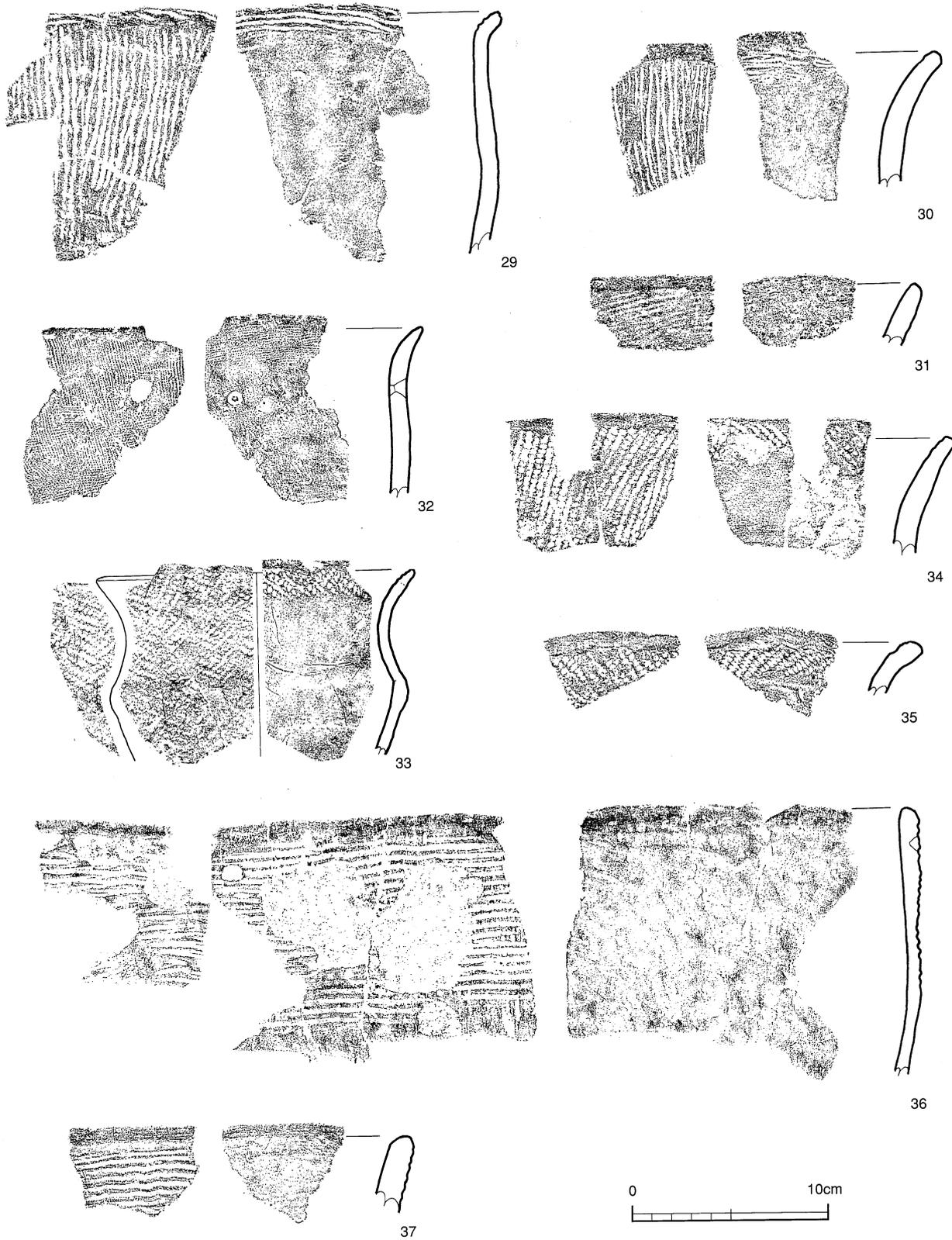
第33图 古城遺跡出土繩文土器実測図(1)



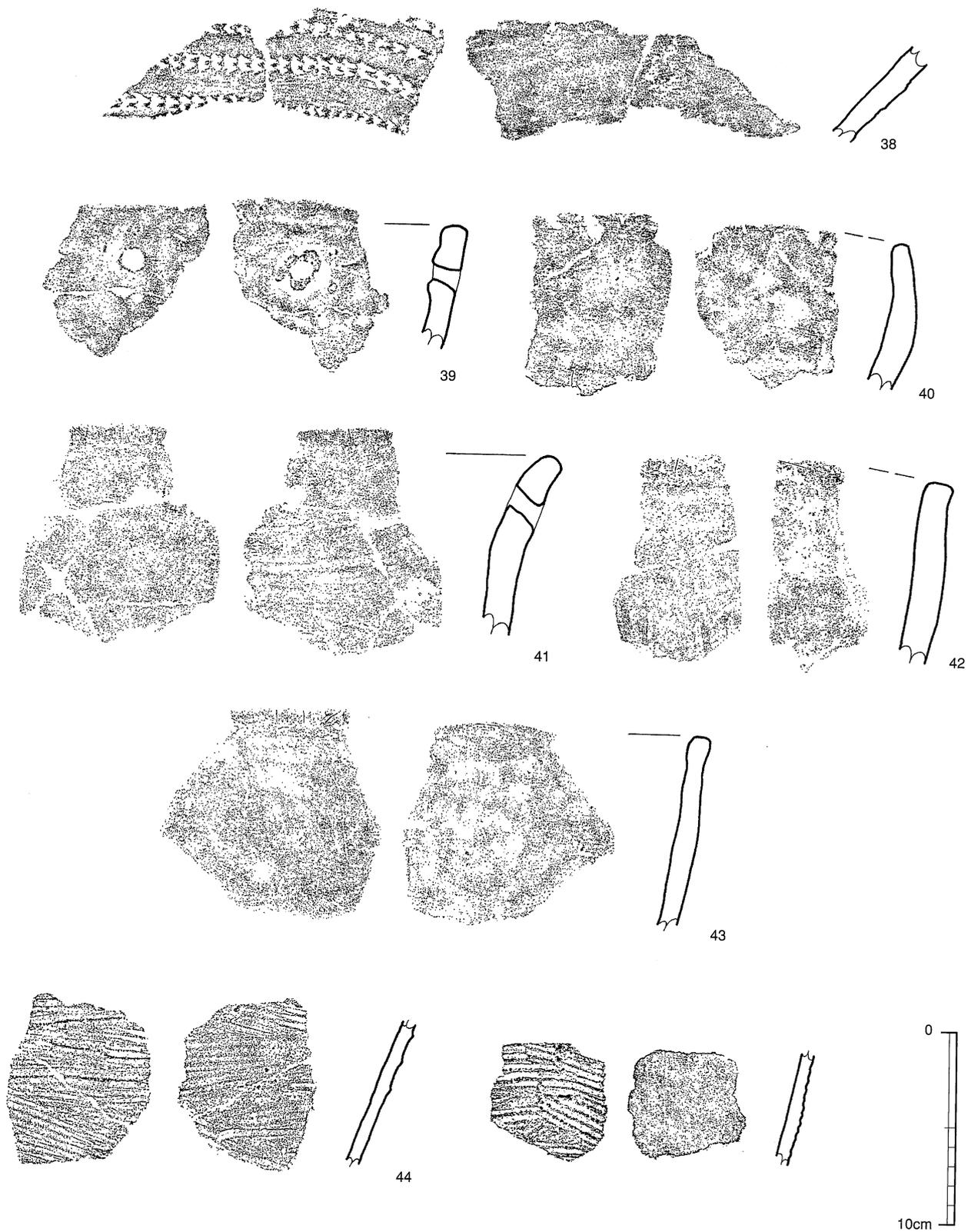
第34図 古城遺跡出土縄文土器実測図(2)



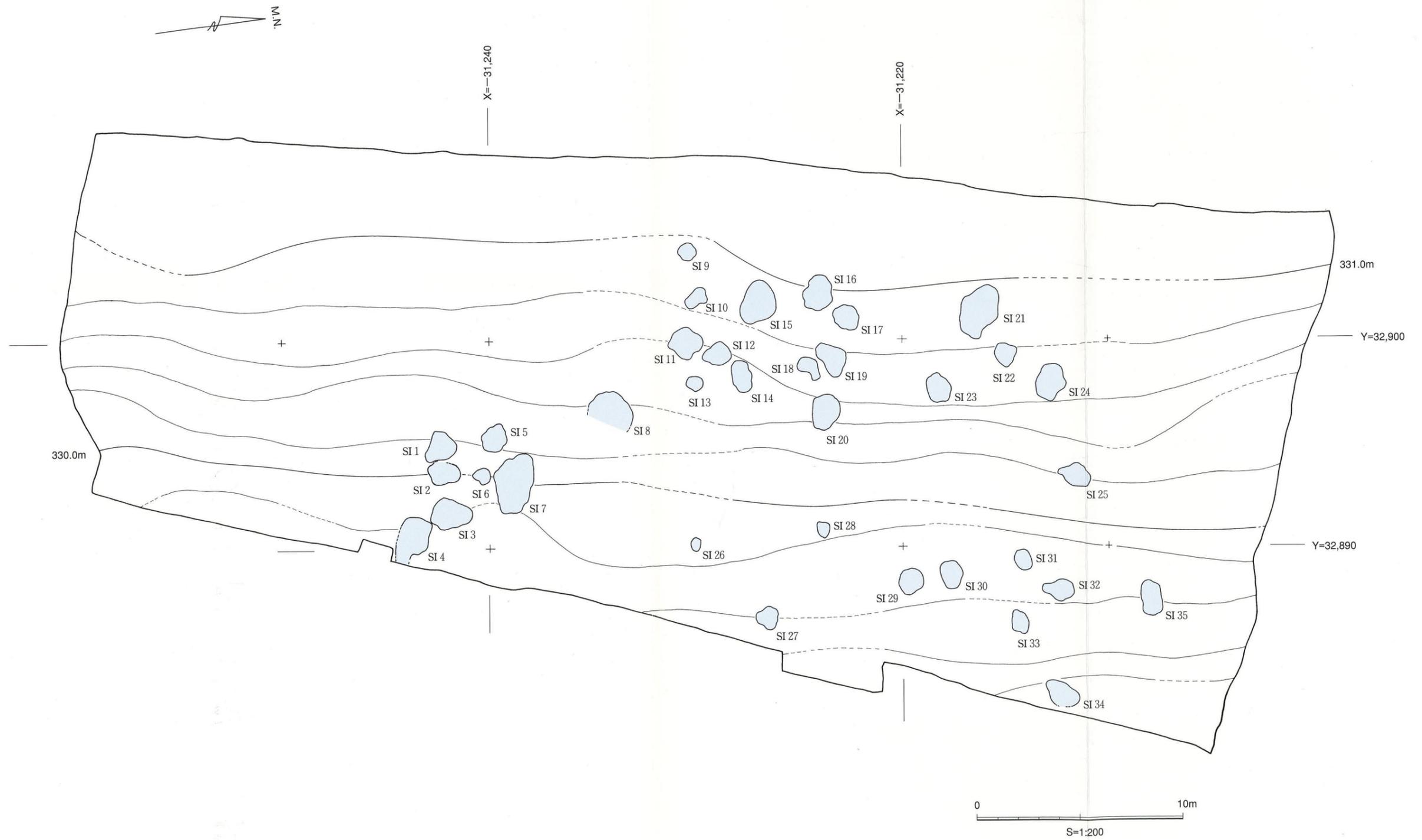
第35図 古城遺跡出土縄文土器実測図（3）



第36図 古城遺跡出土縄文土器実測図(4)



第37図 古城遺跡出土縄文土器実測図（5）



第38図 古城遺跡2区 縄文時代早期集石遺構分布図 (右図中の等高線はVI層上面)



第39図 古城遺跡3区 縄文時代早期集石遺構および礫の分布図（右図中の等高線はVI層上面）

表 10 古城遺跡縄文時代早期遺物観察表

No.	器種・部位	出土位置	出土層	文様・調整(外)	文様・調整(内)	色 調	備 考
1	深鉢・口縁部	1区	Ⅳ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	黄褐	
2	〃	2区	Ⅶ	押型文(楕円)	沈線文・ナデ	にぶい黄橙, 黄灰	
3	〃	2区	Ⅷ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	黄褐, 褐灰	
4	〃	2区	Ⅶ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	にぶい黄褐	
5	深鉢・口縁～ 胴部	3区	Ⅷ	押型文(楕円)	押型文(平行文)・沈線 文・ナデ	にぶい黄橙	
6	深鉢・口縁部	3区	Ⅶ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	明褐, にぶい褐	
7	〃	3区	Ⅷ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	にぶい褐	
8	〃	3区	Ⅵ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	にぶい黄褐, 灰褐	
9	〃	2区	—	押型文(楕円)	沈線文	暗褐, 褐	
10	〃	2区	Ⅶ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	にぶい黄褐	
11	〃	3区	Ⅵ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	にぶい黄橙, 灰黄橙	
12	深鉢・口縁～ 胴部	2区	Ⅵ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・工具 によるナデ	にぶい黄褐 明黄褐, にぶい黄橙	
13	深鉢・口縁部	2区	Ⅵ	押型文(楕円)	ナデ, 工具によるナデ	灰褐, にぶい赤褐	
14	〃	2区	Ⅵ	押型文(楕円)	工具によるナデ	暗褐	
15	〃	2区	Ⅵ	押型文(楕円)	工具によるナデ	暗褐	
16	〃	2区	—	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	黒褐, 暗褐	
17	〃	2区	Ⅵ	押型文(楕円)	沈線文・工具ナデ	にぶい褐, 灰黄褐, 橙	
18	〃	2区	Ⅶ	押型文(楕円)	押型文(楕円)・ナデ	灰褐, 黄褐, 明黄褐	
19	〃	3区	Ⅵ	押型文(山形)	ナデ	黒褐, 灰黄褐	
20	〃	—	—	押型文(山形)	沈線文・押型文(山形)	黒褐, 灰黄褐	
21	〃	2区	—	押型文(山形)	押型文(山形)・ナデ	黒褐, 灰黄褐 にぶい黄, 橙	
22	〃	2区	—	押型文(山形)	押型文(山形)・ナデ	褐灰, にぶい橙	
23	〃	3区	Ⅷ	押型文(山形)	沈線文・ナデ	灰黄褐, にぶい黄橙	
24	〃	3区	Ⅵ	押型文(山形)	押型文(山形)・ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄褐	
25	〃	2・3区	Ⅷ	押型文(山形)	押型文(平行文)・ナデ	灰黄, 暗灰黄	穿孔(非貫通)
26	〃	2区	Ⅵ	押型文(山形)	沈線文・押型文(山形)	にぶい褐, 灰黄褐	
27	〃	2区	Ⅵ	押型文(菱目)	押型文(菱目)	灰褐, にぶい赤褐	
28	深鉢・胴部	3区	Ⅵ	押型文(菱目)	ナデ	黒褐, 褐	
29	深鉢・口縁～ 胴部	2区	Ⅶ	捺糸文	捺糸文・ナデ	にぶい黄橙, 灰黄褐	口唇部にも施文
30	深鉢・口縁部	2区	Ⅵ	捺糸文	捺糸文・ナデ	褐, 灰黄褐	
31	〃	—	—	捺糸文?	捺糸文?・ナデ	にぶい黄橙	
32	〃	3区	—	捺糸文	捺糸文・ナデ	にぶい赤褐, にぶい褐	穿孔
33	深鉢・口縁～ 胴部	2区	Ⅵ	縄文(結束)	縄文・ナデ	にぶい黄橙	
34	深鉢・口縁部	2区	Ⅵ	縄文	縄文・ナデ	にぶい黄, にぶい黄橙	
35	〃	—	—	縄文	縄文・ナデ	にぶい黄橙, 暗褐	
36	深鉢・口縁～ 胴部	3区	Ⅵ	条痕文	丁寧なナデ	にぶい橙	推定口径18.0cm
37	深鉢・口縁部	2区	Ⅵ	条痕文	丁寧なナデ	灰黄褐, にぶい黄褐	
38	〃	2区	Ⅵ	貝殻圧痕文	ナデ	にぶい褐	
39	〃	2区	Ⅶ	ナデ	ナデ	赤褐	穿孔, 波状口縁か
40	〃	2区	Ⅵ	ナデ	ナデ	褐, 暗褐	
41	〃	2区	Ⅵ	ナデ	ナデ	褐	穿孔
42	〃	2区	Ⅵ	ナデ	ナデ	赤褐, にぶい黄褐	波状口縁か
43	〃	2区	Ⅵ	ナデ	ナデ	にぶい赤褐, 黄褐	
44	深鉢・胴部	2区	Ⅶ	条痕, 微隆起突帯	条痕	にぶい黄橙	

表11 古城遺跡縄文時代早期集石遺構一覽表

番号	遺構番号	調査区	層位	時期	出土遺物	サイズ 礫の範囲(m)	礫の 密度	掘込み の有無	掘込みの 深さ(m)	配石 有無	炭化物 有無	礫個数	備 考
1	SI1	2区	VI	縄文早期		1.58×1.42		○	0.356	×		—	
2	SI2	2区	VI	縄文早期		1.61×1.1+α		○	0.128	×		—	
3	SI3	2区	VI	縄文早期	土器	1.94×1.5	密	○	0.123	×		約90点	赤変した礫(凝灰岩)が多い
4	SI4	2区	VI	縄文早期	土器	2.1+α×1.4	散	○	0.173	×		—	一部攪乱により消失
5	SI5	2区	VI	縄文早期		1.38×1.19	散	○	0.258	×		—	
6	SI6	2区	VI	縄文早期		0.9×0.81	密	○	0.259	×		—	
7	SI7	2区	VI	縄文早期		3.12×1.88	密	○	0.24	×		—	
8	SI8	2区	VI	縄文早期		1.24×1.56		○	—	×		—	構成礫のすべてが花崗斑岩
9	SI9	2区	VI	縄文早期		0.92×0.84		○	—	×		—	構成礫は花崗斑岩(約5割)、砂岩
10	SI10	2区	VI	縄文早期		1.2×0.6		○	—	×		—	構成礫は花崗斑岩(約6割)、砂岩
11	SI11	2区	VI	縄文早期		1.52×1.4		○	—	×		—	構成礫は主に花崗斑岩、一部砂岩
12	SI12	2区	VI	縄文早期	土器	1.36×1.04		○	—	×		—	構成礫のすべてが花崗斑岩
13	SI13	2区	VI	縄文早期		0.82×0.74		○	—	×	○	69点	すべて破砕礫、凝灰岩で構成されている
14	SI14	2区	VI	縄文早期		1.54×1.0	散	○	0.135	×		約110点	ほとんどが砂岩で構成(4点のみ花崗斑岩)
15	SI15	2区	VI	縄文早期		2.18×1.64		○	—	×		—	構成礫のほとんどが10cm前後の花崗斑岩
16	SI16	2区	VI	縄文早期		1.76×1.44		○	—	×		—	構成礫のすべてが花崗斑岩
17	SI17	2区	VI	縄文早期		1.28×1.14		○	0.102	×		—	
18	SI18	2区	VI	縄文早期		1.02×0.66		○	—	×		—	花崗斑岩・砂岩等で構成
19	SI19	2区	VI	縄文早期		1.48×1.42		○	—	×		—	構成礫のほとんどが花崗斑岩
20	SI20	2区	VI	縄文早期		1.78×1.36		○	—	×		—	構成礫のほとんどが花崗斑岩
21	SI21	2区	VI	縄文早期		2.6×1.84		○	—	×		—	構成礫の約7割が花崗斑岩
22	SI22	2区	VI	縄文早期		1.03×1.0		○	0.201	×	○	—	ほとんどが砂岩で構成
23	SI23	2区	VI	縄文早期	石核、砥石	1.73×0.98		○	0.228	○	○	約250点	ほとんどが破砕礫(砂岩)で構成
24	SI24	2区	VI	縄文早期	土器、石核?	1.82×1.44	密	○	0.248	×	○	約180点	全体的に赤変が著しい。凝灰岩で構成されている
25	SI25	2区	VI	縄文早期		1.62×1.08	密	○	—	×		—	構成礫のほとんどが花崗斑岩
26	SI26	2区	VI	縄文早期	土器、剥片	0.7×0.48	散	○	0.110	×	○	21点	すべて破砕礫、凝灰岩で構成されている。 赤変しているものが少ない
27	SI27	2区	VI	縄文早期		1.1×1.08		○	0.186			138点	
28	SI28	2区	VI	縄文早期		0.72×0.64		○	0.169			61点	構成礫のほとんどが砂岩
29	SI29	2区	VI	縄文早期	剥片	1.28×1.18		○	0.236	×		約90点	構成礫(砂岩・花崗斑岩)の大半が赤変している。
30	SI30	2区	VI	縄文早期		1.34×1.03	密	○	0.274	×	○	約160点	ほとんどが破砕礫(花崗斑岩が多い)で構成
31	SI31	2区	VI	縄文早期		1.02×0.78	散	○	0.308	×		約40点	ほとんど赤変していない凝灰岩で構成されている
32	SI32	2区	VI	縄文早期		1.56×1.06	散	○	0.153	×	○	約200点	構成礫の約1/4が花崗斑岩
33	SI33	2区	VI	縄文早期		1.26×0.86	散	○	0.254	×		約140点	ほとんどが破砕礫(主に砂岩)で構成
34	SI34	2区	VI	縄文早期		1.8×1.08+α	散	○	0.207	×	○	約150点	構成礫の大半が砂岩、約3/4が赤変している
35	SI35	2区	VI	縄文早期		1.4×1.12		○	—	×	○	—	構成礫のほとんどが花崗斑岩
36	SI36	3区	VI	縄文早期	土器、石器	0.9×0.84	散	×		×		32点	
37	SI37	3区	VI	縄文早期		1.36×1.08		○	0.138	×		—	構成礫のほとんどが花崗斑岩
38	SI38	3区	VI	縄文早期		1.7×0.76		○	—	×		—	
39	SI39	3区	VI	縄文早期	石核?	0.98×0.6		○	0.098	×		約20点	構成礫の約1/4が花崗斑岩、他は砂岩。約1/2が赤変している
40	SI40	3区	VI	縄文早期	土器	3.44×2.56		○	0.270	×		約200点	構成礫のほとんどが花崗斑岩
41	SI41	3区	VI	縄文早期		0.6×0.54		○	0.075	×		約20点	構成礫の約半数が花崗斑岩。ほとんどが破砕礫。
42	SI42	3区	VI	縄文早期	土器	0.68×0.48		○	0.107	×		約20点	構成礫のほとんどが花崗斑岩(破砕礫)
43	SI43	3区	VI	縄文早期	石器?	2.03×1.3	散	○	0.120	×	○	123点	赤変した礫は掘り込み下部に多く認められる。花崗斑岩が多い
44	SI44	3区	VI	縄文早期		0.76×0.62	散	○	0.700	×		50点	
45	SI45	3区	VI	縄文早期	土器 炭化種子?	1.64×1.26	散	○	0.900	×	○	136点	
46	SI46	3区	VI	縄文早期	土器	1.46×1.44	密	×		×		158点	
47	SI47	3区	VI	縄文早期	土器	1.29×1.02	密	○	0.160	×		176点	
48	SI48	3区	VI	縄文早期	土器、剥片	1.4×1.32	密	×		×	○	162点	
49	SI49	3区	VI	縄文早期		1.66×1.2	散	×		×		約90点	

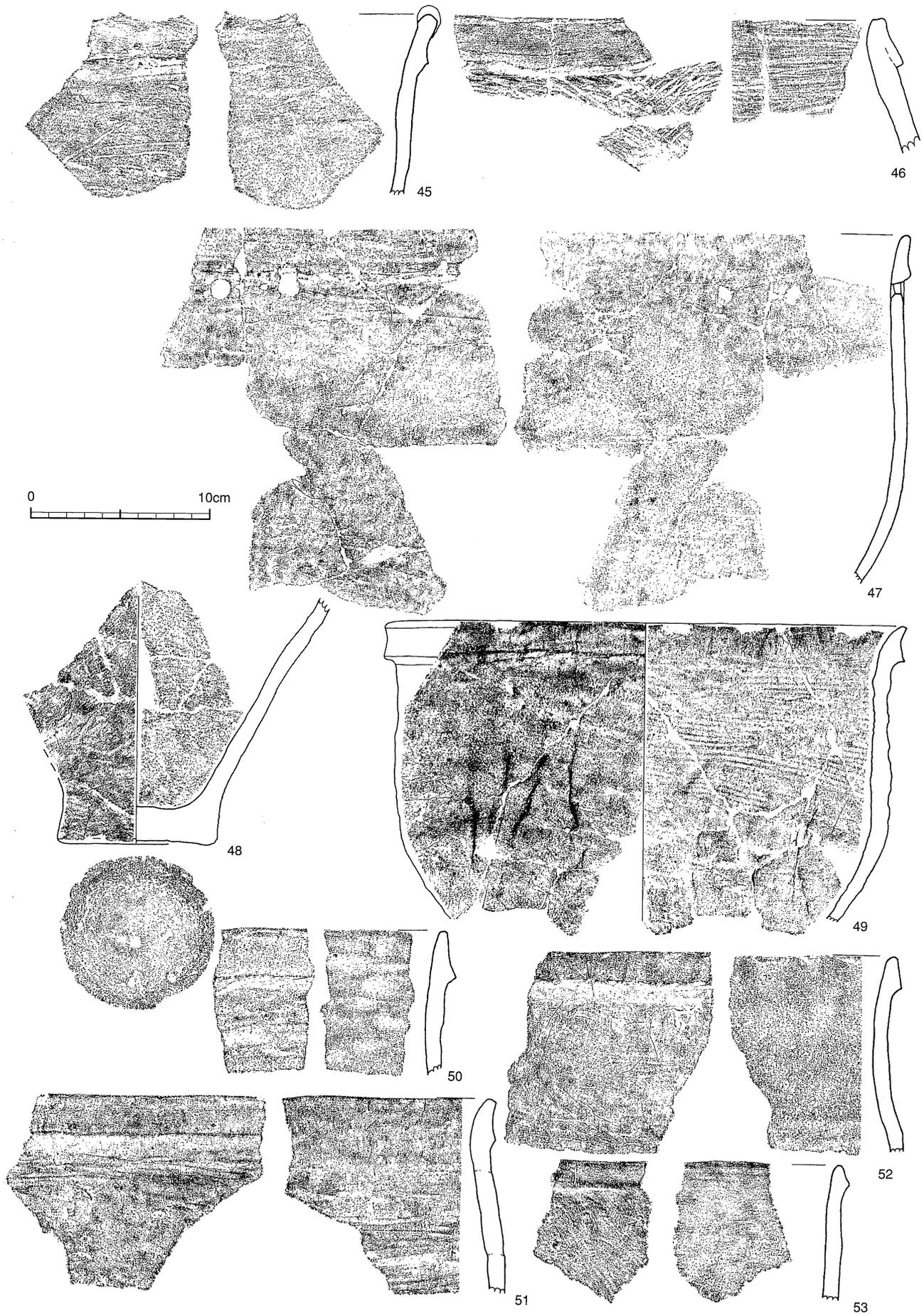
## 第5節 縄文時代晩期の遺物（土器 第40～43図 表12）

古城遺跡では、概要でふれたように後期から晩期の土器が多量に出土している。これらの土器の中から調査担当者が図化するために選んでおいた土器を概観する限りでは、後期の土器は前半と考えられる沈線文系の土器や中葉～後半の北久根山式の深鉢形土器口縁部などがごく少量、若干多いのは西平式に代表される磨消縄文土器系の口縁部で辛川式併行期・西平式期などがある。しかし、次の太郎迫式・三万田式・御領式などは極めて少ない。特に県内の黒色磨研土器にはよく見られる凹線文間に特徴的な稜線を持つ鳥井原式土器は殆ど見られない。今回図化できなかった土器を観察していないので正確さに欠けるが、存在したとしても少量であろうと考えている。

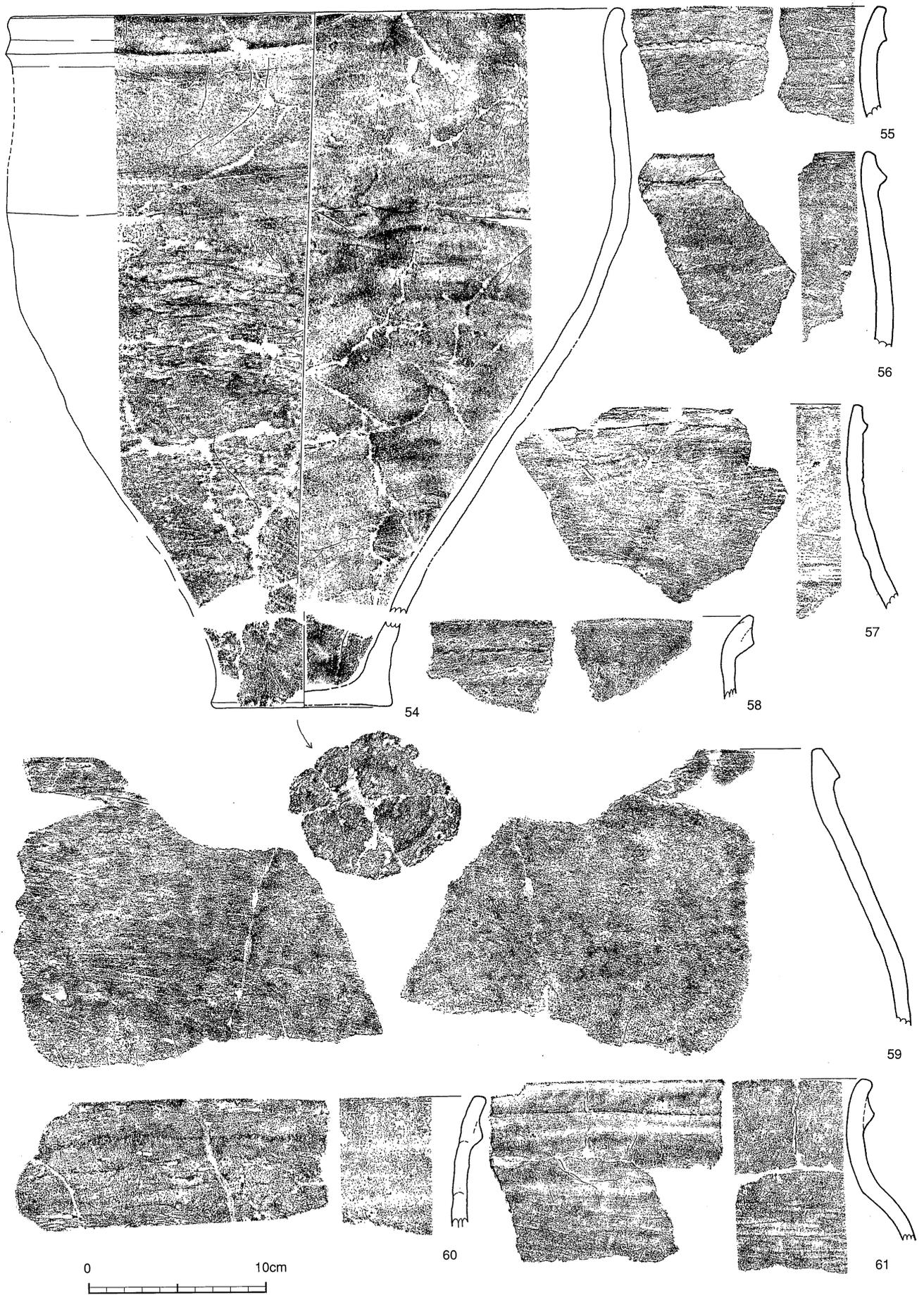
一方晩期の深鉢形土器では、前半の幅広の口縁部に多条の沈線文を施す土器（もしくは無文のまま）が少なく、中葉ぐらいと考えられる幅の狭い口縁部下端部を断面三角形に肥厚させた土器が多い。その中で明確な貼付突帯を持ついわゆる無刻目突帯文土器は比較的大きな破片が少ないように思われる。また、精製磨研の浅鉢形土器では、前半の口縁部が長く伸び口縁端部の内外に1条の沈線を施すものなどが少なく、肩部の丸く張ったいわゆる黒川式の浅鉢形土器が多く見られる。そこで本報告では、この量的に多い晩期の二者の土器のうち比較的大きな破片を中心に形態ごとに報告することとし、その他の土器は時間の制約上割愛する。では先ず遺構出土の土器、そしてIV層を中心とした包含層出土の土器について述べる。

古城遺跡では縄文時代の竪穴住居跡が1軒検出されている。第40図45は2区の縄文住居S A01出土の土器である。口縁部の下部が断面三角形に肥厚する形態で口唇部にリボン状突起が貼り付けられる。このほか同住居跡からは底部片が出土している。47・48は縄文時代の土坑S C01出土である。47は口縁部下端部が肥厚するもので補修孔と思われる焼成後穿孔が2か所と穿孔しようとして途中で止めたような未貫通孔が1か所見られる。49・54は同S C02出土の深鉢で口縁部が断面三角形に肥厚し口縁部をなすものと肥厚部分が突帯状に見えるものとが出土している。この口縁部に見えるか突帯に見えるかはやや曖昧で感覚的などころもあるが、詳細な出土状況は不明ながら大きな破片の両者が同一遺構から出土していることから両者は供伴する可能性もある。このほか46・50～53・55～67は包含層や弥生時代の竪穴住居跡などから出土した深鉢である。出土層位の分かっているものは殆どIV層出土であるが、59はVI層出土となっている。古城遺跡はV層上面でクラックが多く見られたというのであるいは乾燥した際に落ち込んだものかも知れない。これらの深鉢は口縁部が直口又は外反するものが多くわずかに内傾するものもある。調整は横ナデなどのナデ調整が施されるが、一部にナデの前に貝殻条痕を施すものも見られる。また、明確な突帯を有する65～67のように口縁部内面に後期の沈線の名残のようなごく細い沈線文を巡らすものも見られる。出土状況が不明なのでこれら二者の口縁形態の深鉢が供伴するものか否かは不明である。

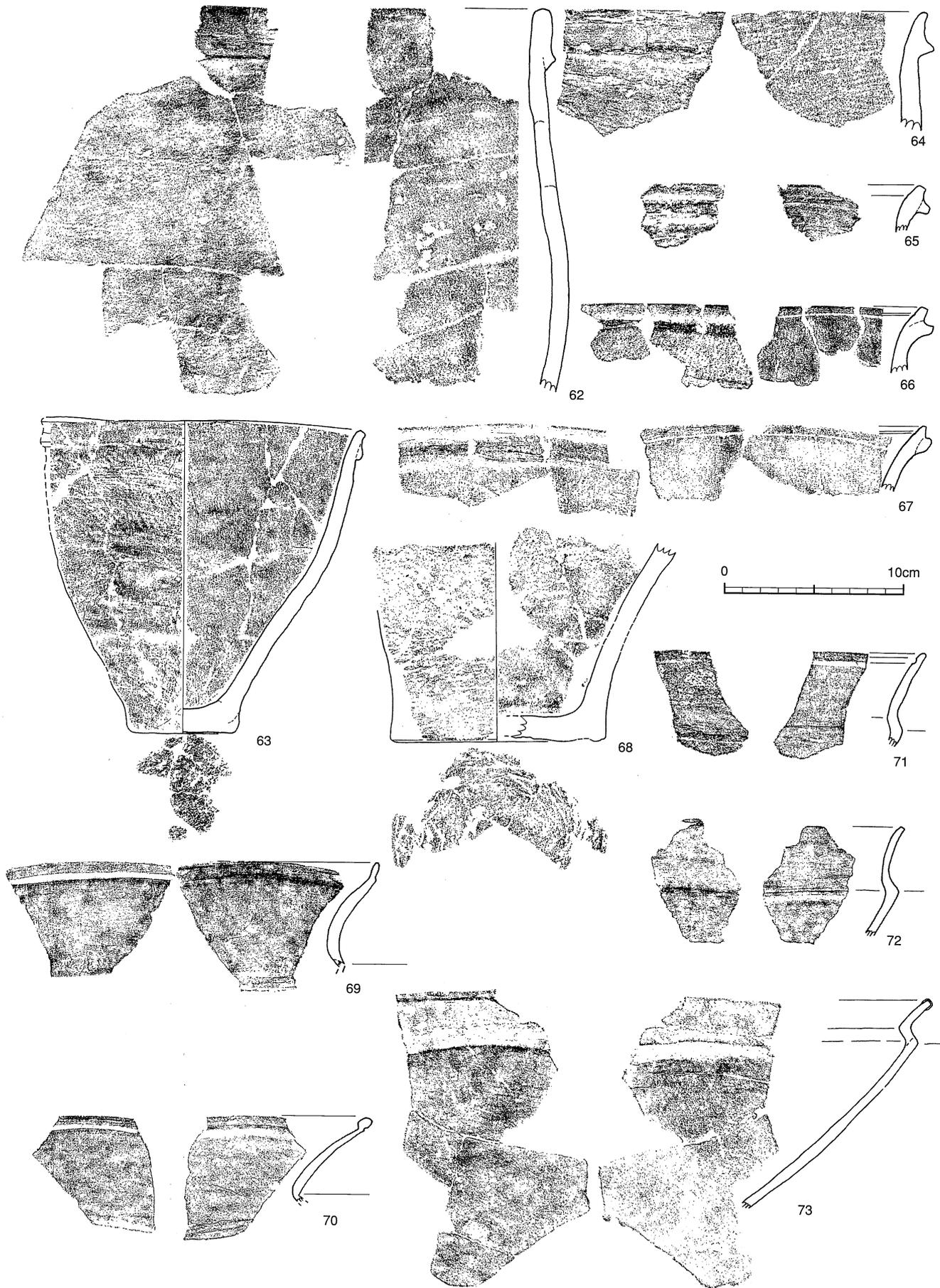
一方、浅鉢も出土状況がはっきりしないためこれらの深鉢とどれが供伴するのか不明だが、個体数が多いのは先述のように76～80・82のような浅鉢である。このほか69～75のような浅鉢もわずかだが出土している。これらの浅鉢はいずれも器壁の内外にミガキが施された精製磨研土器である。一般に69～71が古く76～80・82は新しいとされているが、古城遺跡での先後関係は不明である。



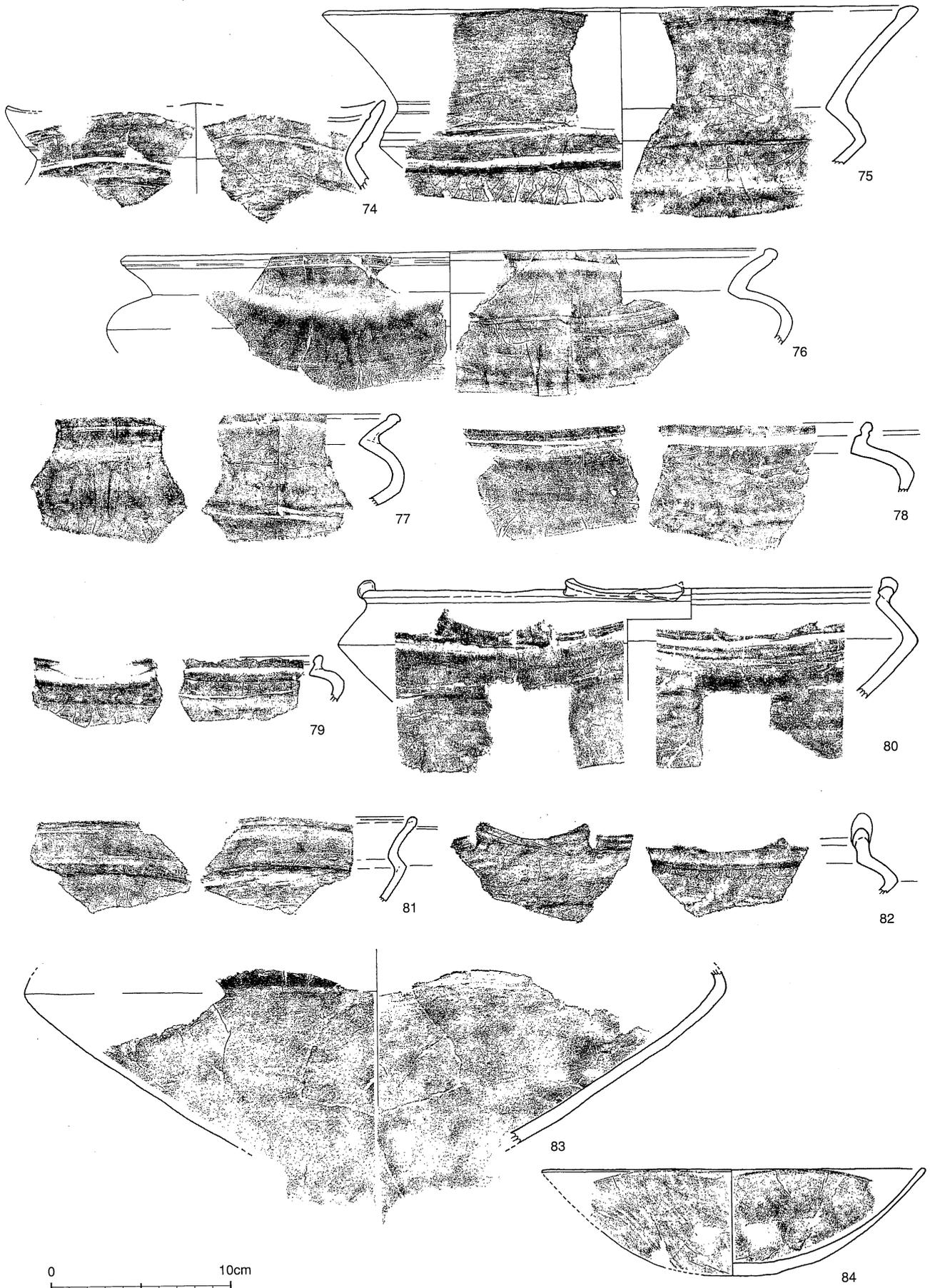
第40図 古城遺跡出土縄文土器実測図（6）



第41図 古城遺跡出土縄文土器実測図（7）



第42図 古城遺跡出土縄文土器実測図（8）



第43図 古城遺跡出土縄文土器実測図(9)

表 12 古城遺跡縄文時代晩期土器観察表

報告書番号	出土区	部位	文様	調整	色調		備考
					外面	内面	
45	2区 SA01	深鉢口縁部	口唇部にリボン状突起、無文の口縁帯	内外面とも横ナデ	黒褐	にぶい黄褐	
46	2区、3区SA23	深鉢口縁部	無文の口縁帯	外面 口縁帯横ナデ、下部横斜方向の条痕文 内面 横方向の条痕文、板ナデか	明褐 褐	赤褐	
47	2区 SC01	深鉢口縁～胴部下半	無文の口縁帯	内外面とも横ナデ	灰褐 黒褐	にぶい褐	2か所の円形の補修孔、未貫通孔が1か所。外面に部分的にスス付着
48	2区 SC01	深鉢底部		外面 斜め又は横方向のナデ、一部貝殻条痕文らしい斜方向の条痕ナデか 内面 横・斜方向の貝殻条痕文の上を部分的に横ナデ 底面 ナデ	にぶい赤褐	黒褐	内面の一部に炭化物付着、底径 8.5 cm
49	2区 SC02	深鉢口縁～胴部下半	無文の口縁帯	外面 横又は斜方向のナデ 内面 横・斜方向の貝殻条痕文の上を部分的に横ナデ	にぶい赤褐 黒褐	にぶい褐 黒褐	外面に部分的にスス付着、内面下部にわずかに炭化物付着
50	2区	深鉢口縁部	無文の口縁帯	内外面とも横ナデ	にぶい褐 にぶい黄褐	褐	
51	3区	深鉢口縁部	無文の口縁帯	外面 横ナデ 内面 横方向の貝殻条痕文のち上部ナデ	暗褐 黒褐	褐	外面下部にスス付着、内面上端部に炭化物付着
52	2区 IV層	深鉢口縁～胴部	無文の口縁帯	内外面とも横ナデ、外面の一部に横又は斜方向の貝殻条痕文が残る	黒褐	暗灰黄	外面にスス付着
53	2区	深鉢口縁部	無刻目突帯文	外面 横ナデ、斜方向のナデ 内面 横ナデ	黒褐	褐	
54	2区 SC02	深鉢口縁～底部	無刻目突帯文	外面 横ナデ、横又は斜方向の貝殻条痕文の上を横ナデ。下部は粗いナデ 内面 横ナデ、一部横方向の貝殻条痕文 底面 ナデ	明褐 にぶい褐色	褐	外面上部にスス付着、内面下部に炭化物付着
55	2区 IV層	深鉢口縁部	無文の口縁帯	内外面とも横ナデ	にぶい橙 黄灰	にぶい褐 褐灰	外面にスス付着
56	2区 IV層	深鉢口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	外面にスス付着
57	2区	深鉢口縁部	無刻目突帯文	外面 突帯横ナデ、下部は横方向の貝殻条痕文の上を横ナデ 内面 横ナデ、下部は横方向の条痕文	にぶい黄褐 黒	黒	
58	3区 IV層	深鉢口縁部	貼付の無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	橙	橙	
59	3区 VI層	深鉢口縁～胴部	無文の口縁帯	内外面とも横ナデ	黒褐	暗灰黄 黄褐	外面下部を中心にスス付着
60	2区 IV層	深鉢口縁部	貼付の無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄褐	にぶい黄褐	外面下部にスス付着
61	3区 SA19	深鉢口縁～胴部	貼付の無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	灰黄褐 黒褐	にぶい黄橙 黒褐	
62	2区 IV層	深鉢口縁～胴部	無文の口縁帯風	内外面とも横ナデ	にぶい赤褐・橙 橙	にぶい黄橙・橙 橙	外面下部にスス付着
63	2区 SA11+SA13	深鉢口縁～底部	貼付の無刻目突帯文	外面 横ナデ、粗い横ナデ 内面 横ナデ 底面 ナデ	黒褐 にぶい赤褐	黒褐 褐	外面上部にスス付着、内面下部に炭化物付着、口径17.5cm、底径5.65cm、器高17.65cm
64	2区 IV層	深鉢口縁部	無刻目突帯文	外面 横ナデ 内面 横方向の貝殻条痕文の後一部横ナデ	にぶい赤褐	灰褐	
65	2区 SA8	深鉢口縁部	貼付の無刻目突帯文、内面に細沈線文か	内外面とも横ナデ	橙	橙 浅黄橙	
66	2区 SA6+SA9	深鉢口縁部	無刻目突帯文、内面に1条の細沈線文	内外面とも横ナデ	明赤褐 黒褐	褐	
67	2区 SA6+IV層	深鉢口縁部	貼付の無刻目突帯文、内面に1条の細沈線文	内外面とも横ナデ	褐 黒褐	褐	
68	2区 IV層+SA9	深鉢底部	底面に沈線か	外面 斜方向のナデ、横ナデ 内面 横ナデ 底面 ナデ	明赤褐	明赤褐	外面に部分的にスス付着、内面に部分的に炭化物付着、底径約19cm いびつである
69	1区 IV層	浅鉢口縁部	1条の沈線文	内外面とも横方向のヘラミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	
70	2区 VI層	浅鉢口縁部	1条の沈線文	内外面とも横方向のヘラミガキ	黒褐	黒褐	
71	3区	浅鉢口縁～胴部	口縁部内面に1条の沈線文	内外面とも横方向のヘラミガキ	にぶい褐 黒褐	にぶい黄橙 褐灰	外面の一部にスス付着
72	2区 VI層	浅鉢口縁～胴部		内外面とも横方向のヘラミガキ	暗灰黄	黒褐 灰黄	
73	1区 III層+IV層	浅鉢口縁～胴部	口唇部にヒレ状突起の剥離痕と思われる土の膨らみ	内外面とも横あるいは斜方向のヘラミガキ	黒褐 明赤褐	暗赤褐	外面に部分的にスス付着
74	2区 SA5+SA6	浅鉢口縁～胴部	外面頸部の上に1条の沈線文、内面口縁部に1条の浅い沈線文	内外面とも横方向のヘラミガキ	灰黄褐 オリーブ黒	にぶい橙 褐灰	波状口縁
75	2区 IV層	浅鉢口縁～胴部	頸部にごく浅い2条の沈線文、胴部に1条の浅い沈線文	内外面とも横方向のヘラミガキ	にぶい赤褐 にぶい褐	褐 黒	推定口径33.0cm
76	2区 SA8	浅鉢口縁～胴部	1条の浅い細沈線文	内外面とも丁寧な横方向のヘラミガキ	黒褐 褐灰	黒褐 褐灰	推定口径36.4cm
77	2区	浅鉢口縁～胴部	1条の浅い細沈線文	内外面とも丁寧な横ナデもしくはミガキの風化したもの	明赤褐	明赤褐	
78	2区 SA7+SA14	浅鉢口縁～胴部	口縁部内外面に1条の沈線文	外面 横方向のヘラミガキ 内面 口頸部横方向のミガキ、胴部は横ナデ	にぶい橙 灰褐	暗灰黄 黒褐	
79	1区 IV層	浅鉢口縁～胴部	口縁部内面に1条の段落ち	外面 横方向の丁寧なヘラミガキ 内面 横方向のヘラミガキ	オリーブ黒	オリーブ黒	
80	2区 IV層+SA8	浅鉢口縁～胴部	内面に1条の沈線文、口唇部にリボン状突起	外面 丁寧な横方向のヘラミガキ 内面 粗い横方向のヘラミガキ	にぶい赤褐 灰褐	にぶい赤褐 褐灰	推定口径28.6cm
81	2区 SA6	浅鉢口縁～胴部	ごく浅い1条の沈線文	内外面とも丁寧な横方向のヘラミガキ	オリーブ黒	黒褐	
82	2区 SA14	浅鉢口縁～胴部	口唇部にリボン状突起	内外面とも丁寧な横方向のヘラミガキ	赤褐 褐	黒褐	
83	3区 IV層	浅鉢口縁～胴部下半		内外面とも横方向のヘラミガキ	暗赤褐 赤褐	暗赤褐 黒褐	推定胴部径38.8cm
84	2区IV層+3区IV層	浅鉢口縁～底部		外面 斜方向の貝殻条痕文の上を斜方向の粗いミガキ 内面 横又は斜方向に粗いミガキ	暗赤褐 黒褐	黒褐	外面の一部黒変、推定口径21.2cm、推定器高5.9cm

## 第6節 弥生時代以降の遺構と遺物

### 遺構

遺構としては、住居跡25軒、土坑4基、溝状遺構1条、道路状遺構1条のほか、柱穴が各区から検出された。住居や土坑は弥生時代中期末から古墳時代初頭の時期に、道路状遺構や多くの柱穴が中近世に属すると考えられる。

住居跡は1区の北隅から3区北側部分までの範囲に分布し、細かくは1～4号、5～23号、24・25号の3箇所に分かれる。また、331mから328mあたりのやや緩斜面の標高線に位置し、傾斜のきつい4区では検出されていない。住居は方形を基調とし、14号の70㎡を最大とし、20～30㎡(中型)、10㎡代(小型)に、柱穴は4本あるいは2本となる。主軸は大まかには、1類:西東からやや南に振れるもの(2・4・6・11・16・19・20・22・23)、2類:西東からやや北に振れるもの(5・9)、3類:西東から20近く北に振れるもの(12・13・24・25)の三つに分かれるが、当遺跡最大の14号は15°程度西東から南にずれている。1類は1・2区に、2類は2区南隅に、3類は2区北側から3区にかけて分布する。焼土については掘り込みをもたず床面のみが赤く焼けており10軒の住居跡で確認され、14号の大型住居以外にも5・8・23号など小型のものにも見られる。また、4・5・9・22号では一部に壁帯溝が検出されている。土坑は住居より規模が小さく約1m×約1.5mの長方形を呈し、焼土等も確認されず、出土遺物も少ないが、4号土坑から工字突帯をもつ在地系甕が出土している。7号住居についても規模から見て土坑に含まれる可能性が高い。溝状遺構は1区の中央に等高線に直交して東西に延びている。幅約2m、深さ1mを測る。道状遺構は2区14号住居周辺で硬化面が検出され、幅約2mを測る。柱穴は溝状遺構より北側にのみ分布する。ほかにK・L-10グリッドの2箇所焼土面が確認され、平地式の住居や消失した竪穴住居に伴う可能性もある。

### 出土遺物

出土遺物としては、遺構内や包含層中から弥生土器、土師器、須恵器、青磁等の陶磁器類、鉄鏃や刀子・鈍などの鉄製品、磨製石鏃・敲石などの石器、管玉などが出土している。

### 土器

古城遺跡では、26基の遺構から2000点程度の弥生土器が出土しているが、それらの多くは遺構への流れ込みの結果であり、完形に近いものは5点と非常に少ない。このため、形式分類という方式はとらず出土土器を形態・胎土・色調や文様などから時期別に分類しその特徴を記すことにする。遺物は中期末葉から後期前半、後期中葉～後半葉、終末～古墳時代前葉、6世紀代、13世紀代と大きく分かれ、中期末葉から後期前葉の遺物が多くを占めている。

**中期末葉から後期前半の遺物**として、在地系の甕は、厚手で胎土や色調が特徴的で、口縁部が断面三角形に近いもの(38)、L字をなすもの(82)、口縁部が外反し頸部下に3～4条の突帯で工字突帯をなす(3・83・84・102・104)、沈線になるもの(49)がある。これよりやや薄手で外面を丁寧に仕上げるものがあり口縁部下に刻目突帯を1条付し平底をなすもの(80)、くの字を呈するもの(5・41)がある。ほかに口縁部が内側に張り出す黒髪式の特徴を有し、口縁上面が平坦気味のもの(9・7・71・113)やくの字状をなすもの(2・20・27・36・68・114)、厚手で大型のもの(8)がある。また、くの字に強く屈曲し頸部下に浅い沈線を施すもの(79)、直口する口縁下に刻目突帯をもつ下城式(6・69・95・96)や凹線文が施された瀬戸内系の土器(116～118)も出土している。底部は在地系のものは突出気味

で不安定な平底 (39・40・81・106)、充実した底部 (59)、平底 (97)、やや上げ底気味 (98) や、黒髮式の甕底部としては脚状を呈し外面は細かなハケ目が施される (4・10・18)。壺類は形態や文様など特徴的なものが多く種類は豊富だが出土量としては、甕と比較し圧倒的に少ない。肥後系壺としては胴部中位にある刻目突帯部分のみを確認した (19・45) にすぎず非常に少ない。その他の壺類として、鋤先状口縁の上端に円形浮文をもつもの (26)、比較的薄手で大きく外方に開くもの (67)、口唇部に山形文をもつもの (85)、口縁部が下方に拡張されるもの (86・87)、小型の短頸壺 (74) などが出土している。そのほか複合口縁壺の胴部 (75) や丹塗りの長頸壺 (93)、瀬戸内あるいは中国地方の影響を受けたと考えられる頸部突帯下に沈線及び胴部に複数の櫛描波状文を施すもの (23・24・48・100・101) や胴部上半に数条の沈線が見られるもの (89~91) などとも同時期と考えられる。

後期中葉から後葉では、くの字状の口縁部を持つ甕 (35・77)、小さな平底になる在地の甕 (28)、複合口縁壺 (42~44)、外面ヘラミガキされ円形透かしを有する高坏あるいは鉢の脚部と推定されるもの (119) などあるが量的には少ない。

終末から古墳時代前半の遺物は、甕が、口縁部が外方にのび、丸底を呈するもの (33)、口縁部が長く外方にのび長胴になるもの (109)、やや薄手で外反するもの (53)、タタキを有するもの (120)、布留式の影響を受けたもの (52) があり、在地系甕の底部は尖底 (107・108) となる。

6世紀代としては須恵器杯蓋 (121)、須恵器甕 (122・123) のみで同時期の土師器については確定できなかった。そのほか13世紀代として同安窯系青磁 (125) や東播系こね鉢 (126~128) などが出土している。

このように、出土量からみて本遺跡の中心となる中期末葉から後期前葉では下城式土器などの東九州系、肥後系、瀬戸内系、在地系の粗製甕で構成されているが、時代が下るにつれ土器の出土量は減少している。これに比例し遺構の数も中期末葉から後期前半を中心に営まれ、後期中葉~後半葉以後は僅かな住居で集落を構成していると考えられる。出土遺物からみた各住居の時期は下記のように推定される。

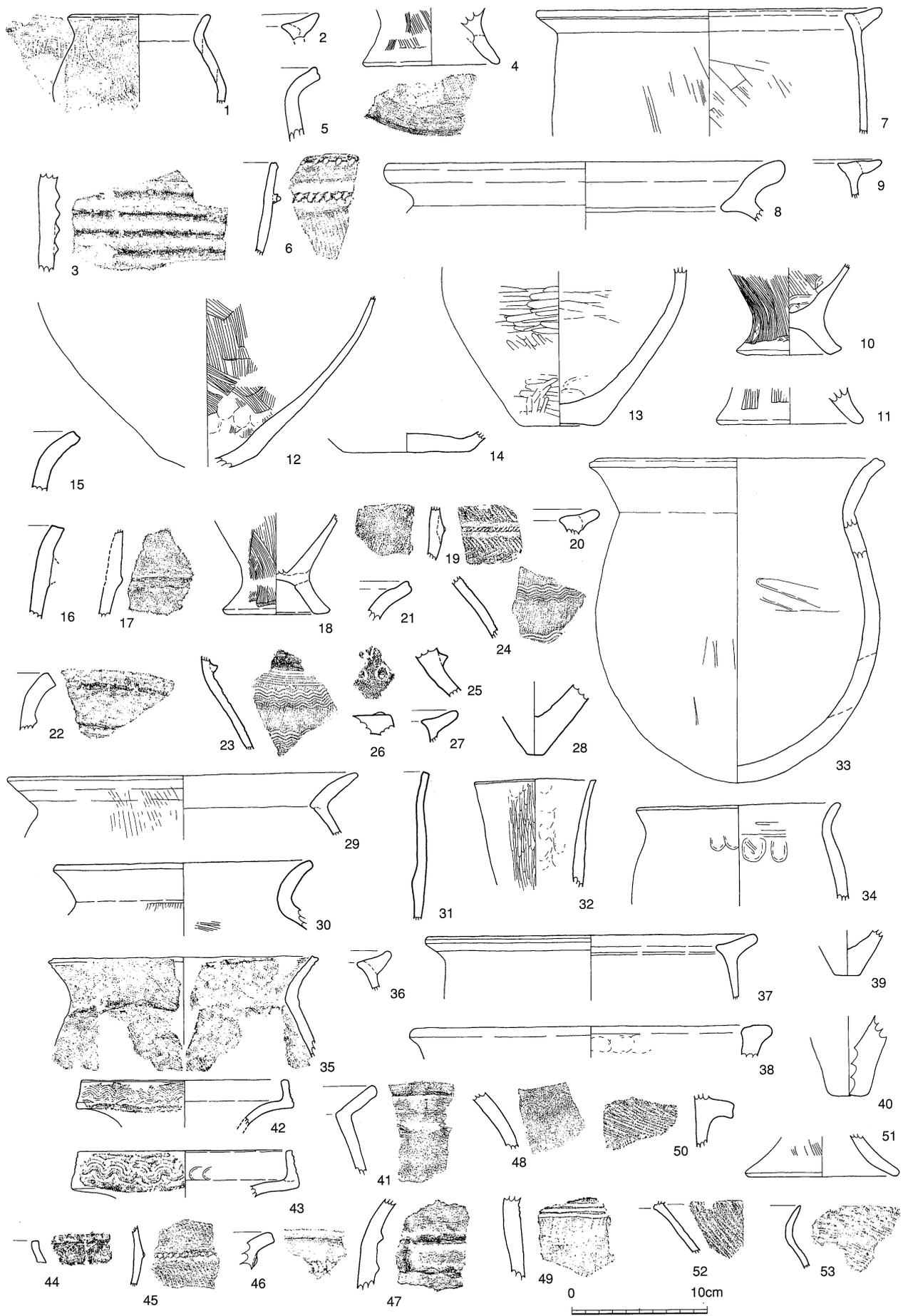
中期末~後期初頭 SA 6・8・10・15?・19・22・23?・24

後期中葉~後葉 SA 7・11・14・16?

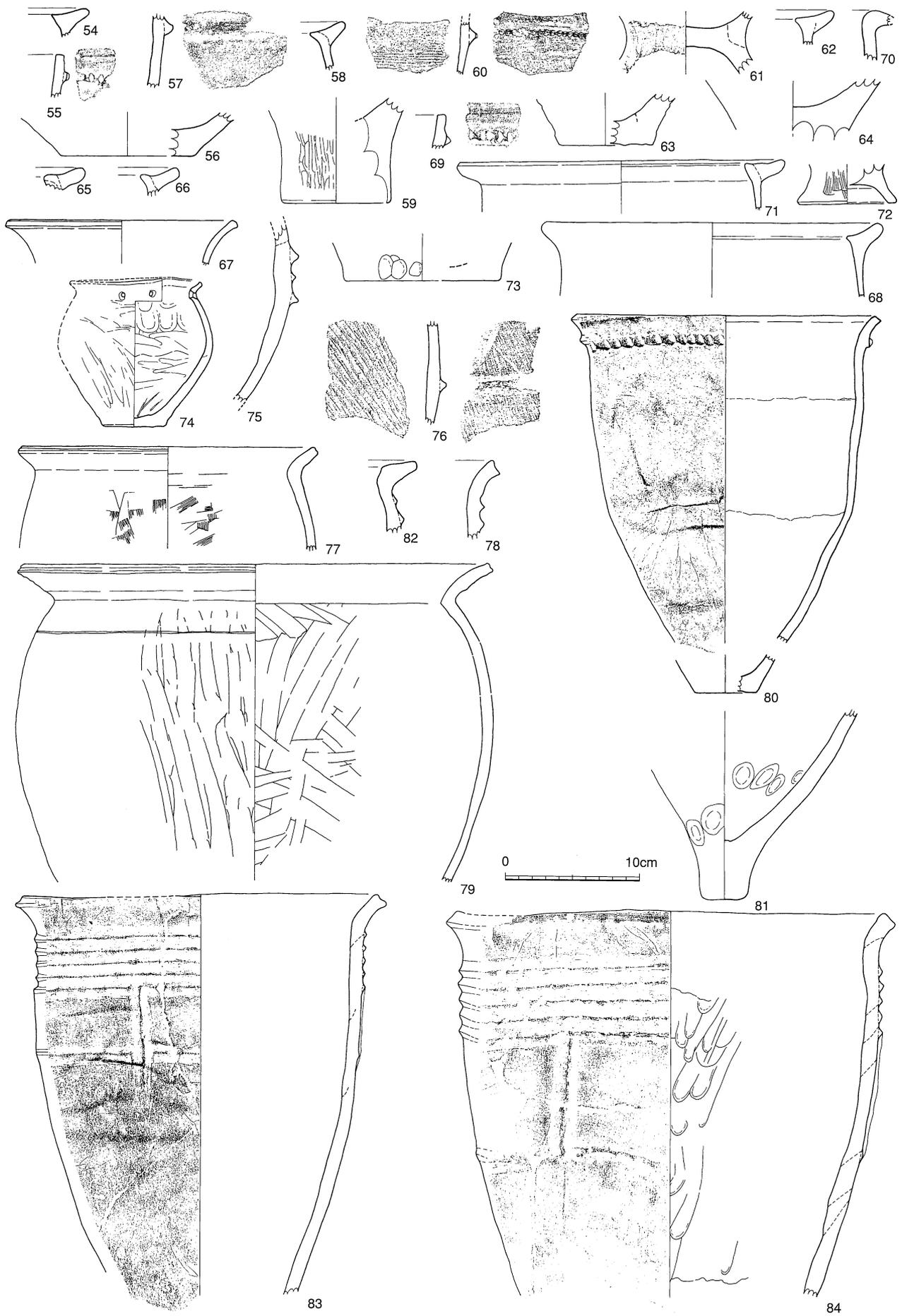
終末~古墳前半 SA 5・9・12

集落は、中期末~後期初頭では限られた箇所重複することなく散漫に9軒±αが分布し、22号・23号や24・25号など同時期と考えられる2軒の住居が主軸をそろえて位置している状況も推定される。後期中葉~後葉および終末~古墳時代前半になると3~4軒に減少し、2区の北側にまとまっていく傾向が認められる。

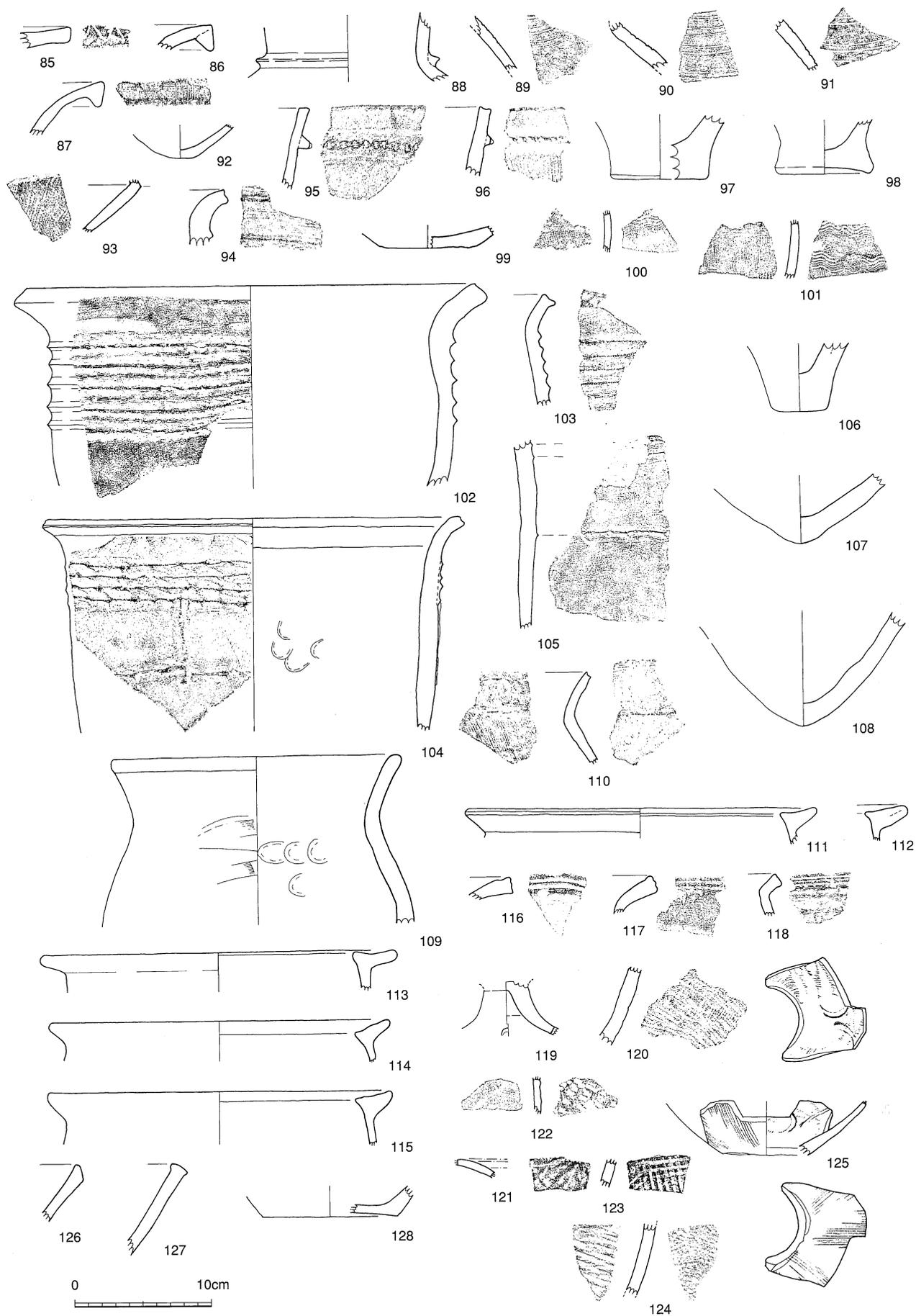
出土遺物や住居の規模からみると、中期末~後期初頭では、規模に拘わらず管玉 (22・23号) や鉄鏃 (24号)、刀子 (19号) を有する住居が存在する。一方後期中葉~後葉では、面積最大の14号住居で多量の土器や鉄鏃・鉞や鉄片のほか、磨製石鏃・その未製品・磨製石斧などの石器も豊富に出土しており住居の優位性や特異性が看取される。なお、磨製石鏃やその未製品については、時期及び住居の規模に関係なく出土しており、各住居で磨製石鏃の製作が行われていたことが考えられる。



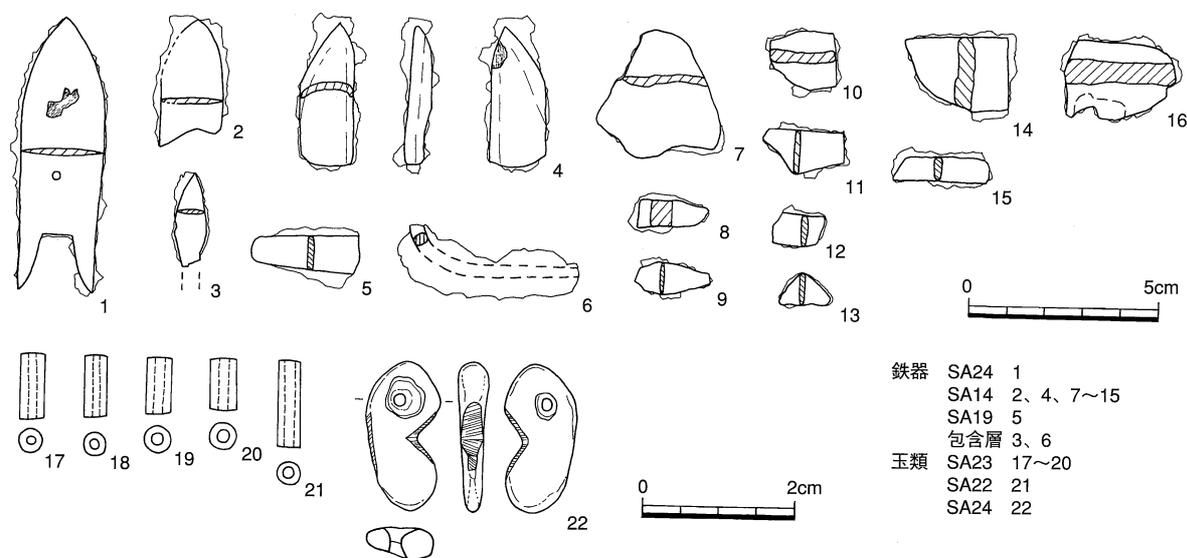
第44图 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（1）



第45图 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図(2)



第46图 古城遺跡出土弥生時代以降土器実測图(3)



- |    |      |          |
|----|------|----------|
| 鉄器 | SA24 | 1        |
|    | SA14 | 2、4、7~15 |
|    | SA19 | 5        |
|    | 包含層  | 3、6      |
| 玉類 | SA23 | 17~20    |
|    | SA22 | 21       |
|    | SA24 | 22       |

第47図 古城遺跡出土弥生時代鉄器及び玉類実測図

#### 鉄器 (第47図 1~16)

S A24の第2層より出土し、長さ7.8cm、幅2.2cm、厚さ0.2cmの大型の無茎三角鎌(1)は基部がまっすぐで両端は脚状になり、やや外開きの逆刺状である。中心軸から少しずれたところに直径0.2cmの円形の透かし穴を1つ持ち、一部に木質が残存している。S A14より出土し、長さ3.4cm、幅1.6cm、厚さ0.2cmの小型の無茎三角鎌(2)は基部のえぐりがやや深く両端が脚状になり逆刺状である。片側の脚は短い。3区のIV層より出土し、残存長さ2.5cm、幅0.8cm、厚さ0.2cmの柳葉鎌(3)は鎌身部のみ残存している。S A19からは残存長さ2.9cm、幅1.0cm、厚さ0.2cmの刀子(5)の柄の部分のみ出土している。S A14より出土した鉈(4)は長さ3.8cm、幅1.5cm、厚さ0.2cmで、身部の断面は刃部と同様の浅い三日月形を呈し、一部に木質が付着している。刃と柄とが機能的に分化していない状態で、刃の研磨を繰り返して短くなっても繰り返し形の変わらない刃がつくられる構造になっていると考える。鉄片はS A14(7~15)と2区の調査区一括(16)から出土している。鉄片の重さが0.3~2.27gと軽いものが大半であるのに対し14は5.78g、16は8.63gと重く、厚みもあるために铸造品の可能性もある。不明鉄器(6)は錆がかなりひどいく不鮮明であるが、観察した結果、比較的新しいものではないかと考える。

#### 玉類 (第47図 14~19)

玉類は住居埋土中から管玉5点、勾玉1点出土している。管玉は碧玉製で17~20が23号住居、21が22号住居出土。17は現存長0.9cm、重さ0.1g、18は現存長0.8cm、重さ0.1g、19は現存長0.75cm、重さ0.1g、20は現存長0.65cm、重さ0.1g、18は現存長1.5cm、重さ1.1gを測る。22は24号住居出土で、黒褐色を呈す極細粒砂岩製で穿孔は両側から行われており現存長1.95cm、重さ0.7g。

表13 古城遺跡弥生時代以降土器観察表

報告書 番号	出土区	遺構	器種 部位	調 整	胎 土	色 調		備 考
						外 面	内 面	
1	1区	SA1	壺 口縁~胴部	外面 やや斜方向の粗いハケ目の後横方向のナデ 内面 粗い斜・横方向のナデ	微細な無色光沢粒 4mm以下の柱状黒色光沢粒、 灰白色、白色半透明粒	黄褐 暗褐	黄褐	外面にスス付着
2	1区	SA1	壺 口縁	外・内面 横方向にナデ	1mm以下の柱状光沢粒、灰白色 微細な透明光沢粒を多く含む	にぶい黄褐 黄灰	灰黄	黒変あり
3	1区	SA3	壺 胴部	外・内面 ナデ	5mm大の灰白色粒を数個 2mm以下の黒色光沢粒、 1mm以下の褐・灰白色粒を含む	にぶい褐	灰黄褐	外・内面に僅かにスス付着 4条突帯 粗製甕
4	2区	SA4	壺 脚部	外面 斜方向にハケ目あと横方向にナデ 内面 横方向のナデ	4.5mm以下の浅黄色粒 1.5mm以下の柱状で黒色 光沢粒、微細な光沢粒	にぶい黄褐	にぶい黄褐	外面 スス付着の痕跡あり 内面 スス付着?
5	2区	SA1	壺 口縁	外・内面 横ナデ	6mm以下の灰白色粒 2mm以下の黒・透明柱状の光 沢粒	黒褐	にぶい褐	全体が黒変
6	2区	SA6	壺 口縁部	外面 ハケ目あと横ナデ 内面 丁寧なナデ	3mm大の白色不透明粒 1.5mm以下の白色、 茶褐色、黒色鋭光沢で角柱状の粒	黒 明黄褐	明黄褐	外面 スス付着 内面一部黒変 刻み目突帯 下城式
7	2区	SA6	壺 口縁~胴部	外・内面 斜方向にハケ目あと横方向にナデ	3mm以下の黒く光る柱状を多く含む	にぶい黄褐	にぶい黄褐	外・内面 スス付着
8	2区	SA6	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ	2.5mm以下の灰白 1mm以下の半透明、 微細な黒色光沢粒を含む	灰黄褐	にぶい黄褐	外・内面 うすくスス付着
9	2区	SA6	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ	1.5mm以下の灰白色光沢粒、半透明、褐色粒 微細な光沢粒	にぶい橙	にぶい橙	外・内面全体にスス付着 の痕跡あり
10	2区	SA6	壺 脚部	外面 横方向のナデ	1mm以下の柱状の黒色光沢粒、灰白色粒	にぶい黄褐	にぶい黄褐	外面 赤変? 内面 炭化物付着 外・内面全体に黒変の痕跡あり
11	2区	SA6	壺 脚部	外面 工具による横ナデの上に縦方向のハケ目 内面 工具による横ナデ	3mm以下の灰白、黒、光沢のある細粒を含む	にぶい橙 褐灰	にぶい黄褐	全体が黒変している
12	2区	SA6	壺 胴部~底部	外面 ナデ 内面 ハケ目。指押さえナデ(底面)	1.5mm以下の灰白色粒、浅黄褐色粒微細な透明光沢 粒を多く含む	にぶい黄褐	褐灰 灰黄褐	外面 スス付着 全体に黒変、風化気味
13	2区	SA6	壺 胴部~底部	外面 横方向のヘラミガキ(上部)、横・縦方向の ヘラミガキ(下部) 内面 粗いナデ(上部)、横方向の指ナデ(下部)	4mm以下の灰色、褐色、白灰、黒灰の粒 1.5mm以下の黒色光沢粒、微細な透明光沢粒を多く 含む	橙 黄褐	灰黄 黒褐	外面 部分的に風化著しい 外・内面 黒変
14	2区	SA6	壺 底部	外・内面 ナデ	4mm以下の褐灰、半透明、黒色、にぶい黄褐の粒 1mm以下の灰白色粒、光沢粒を含む	にぶい黄褐	黄灰	外面 スス付着
15	2区	SA8	壺 口縁部	外面 横ナデ 内面 横ナデ、ナデ	5.5mm大の灰色の粒、2.5mm大の灰白色の粒 微細な無色透明、黒色の光沢粒を多く含む	オリーブ黒	褐	外面 スス付着?
16	2区	SA8	壺 口縁	外面 横・斜方向のナデ 内面 横方向のナデ	1mm以下の灰の粒を多数含む	にぶい橙	にぶい橙	突帯(剥離)
17	2区	SA8	壺 胴部	外・内面 ナデ	4mm以下の灰白、灰黄、灰褐色、黒色光沢粒を含む	にぶい褐	にぶい褐	内面 上部風化 突帯
18	2区		壺 底部	外面 ハケ目、横ナデ 内面 ナデ、横ナデ	0.1mm以下の黒色、白色の砂粒を多く含む	灰黄褐	黒褐・黒 褐灰	
19	2区	SA9	壺 胴部	外面 横ナデ 内面 横ナデ、横ナデの後に社方向にナデ?	2mm以下の灰白粒、黒褐色、灰褐色の粒 微細な光沢のある透明の粒	にぶい黄褐	橙	刻み目突帯
20	2区	SA9	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ	2.5mm以下の透明光沢粒、柱状黒色光沢粒、 灰・白・乳白色の粒を多く含む	浅黄 黄灰	浅黄・橙 黒褐	外面 黒変ぎみ 内面 赤変?
21	2区	SA9	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ	1mm以下の灰白、褐、黒色、透明、半透明光沢粒	にぶい橙	にぶい黄褐	外面 少しスス付着
22	2区	SA10	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ 口縁に粗いナデ調整あり	6mm以下の灰白色粒、2.5mm以下の灰色、茶褐色、 黒色光沢、透明光沢、柱状透明光沢粒を含む	にぶい褐色	にぶい褐色	外面 スス付着 黒変
23	2区	SA10	壺 頸部	外面 縦方向のハケ目 内面 粗いナデ	3mm以下のにぶい黄褐、柱状黒色光沢粒、透明光沢 な微細粒を含む	にぶい黄褐	にぶい黄褐	内面 炭化物付着 頸部三角突帯 櫛歯直線文と櫛歯波状文
24	2区	SA11	壺 胴部	外面 縦方向のハケ目 内面 ナデ	2mm以下の柱状黒色光沢粒、透明光沢粒を含む	にぶい黄褐 黒	にぶい黄褐	櫛歯直線文と櫛歯波状文
25	2区	SA11	壺 頸部	外面 全体的に風化著しく調整が不明瞭。突帯部分は 横ナデ 内面 横方向に指ナデか	3.5mm以下の灰白粒、1mm以下の灰褐色、微細な透 明の光沢粒	にぶい黄褐	橙	全体的に風化著しい 三角突帯
26	2区	SA11	壺 口縁	外・内面 横ナデ	5mm以下の灰褐色の岩片、4mm以下の不透明の灰白 の鉱物粒、2mm以下の灰白及び灰褐色の砂粒	橙	橙	円形浮文
27	2区	SA11	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ	6mm大の灰白色粒、1mm以下の褐色、灰白色、 黒色、透明光沢粒	にぶい黄褐	にぶい黄褐	一部スス付着
28	2区	SA11	壺 底部	外面 縦方向のナデ 内面 ナデ。指押さえ?	5mm大の褐色 4mm大の灰色粒 3mm以下の灰、褐、淡黄、黒色粒 1mm以下の淡黄、黒色光沢、透明光沢粒	黄褐 暗黄	にぶい黄褐	
29	2区	SA11	壺 口縁~胴部	外面 斜方向にハケ目あと横方向にナデ 内面 横方向にナデ	8mm以下の白色粒を多く含む、2mm以下の灰色、 黒色光沢粒を少し含む	にぶい橙	にぶい橙	外面 一部分にスス付着 黒変
30	2区	SA11	壺? 口縁	外面 横方向のナデ。ハケ目の上からナデ 内面 横方向のナデ	4mm以下の灰白色粒、1mm以下の褐色粒、黒色光沢 粒を含む	にぶい黄褐 にぶい橙	灰黄褐	外面 一部スス付着 内面 全体的にスス付着
31	2区	SA11	壺 口縁	外面 横方向のナデ 内面 ナデ	4mm大の灰白色粒、2mm以下の灰白色粒を多数含む	にぶい黄褐	黄褐	外・内面 スス付着
32	2区	SA11	長頸壺 口縁	外面 横方向のナデ、縦方向のミガキ 内面 横方向のナデ 指オサエ	4mm以下の灰白色粒、3mm以下の橙色粒を含む	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
33	2区	SA9	壺	外面 丁寧なナデ、横ナデ 内面 ナデ	3mm以下の灰色、黒色、肌色、褐色、白色、灰白色、 黒色光沢粒、透明光沢粒を含む	にぶい黄褐 黒	にぶい黄褐 褐黒褐	外面 スス付着 内面 炭化物付着
34	2区	SA12	口縁~胴部	外面 横・斜方向のナデ 内面	2mm以下の灰白、褐色粒	橙	橙	外面 うすらすスス付着
35	2区	SA10	壺 口縁~頸部	外面 斜方向のハケ目の後ナデ 内面 指押さえの後斜方向のハケ目	5mm以下の褐色粒、4mm以下の灰白色粒を含む	にぶい黄褐	浅黄橙	外・内面 スス付着
36	2区	SA10	壺 口縁	外・内面 横方向のナデ	1mm以下の黒色鋭光沢粒、微細な灰白、 褐色粒を含む	灰黄褐	にぶい黄褐	外・内面 スス付着
37	2区	SA10	壺 口縁~胴部	外面 横方向のナデ 内面 斜方向のナデ、斜方向のハケ目の後、横方向の ナデ	3mm以下の茶色、2mm以下の黒、茶、褐色粒を多く 含む	明黄褐	明黄褐	外面 スス付着 内面 少しスス付着
38	2区	SA10	壺 口縁	外面 横ナデ 内面 指オサエ	3mm以下の灰白、橙、灰、褐色粒 微細な透明光沢粒を含む	にぶい褐 褐灰	にぶい黄褐	スス付着 粗製甕
39	2区	SA10	壺 底部	外・内面 指ナデ	3mm以下のにぶい褐色、黒褐色、乳白色の粒 1mm以下の柱状黒色光沢粒、透明光沢粒を含む	にぶい黄褐	にぶい赤褐	粗製甕
40	2区	SA10	壺 底部	外面 ナデ 内面 粗いナデ	7ミリ以下の灰色の粒 3mm以下の褐色、黒色光沢の粒 1.5mm以下の透明光沢の粒を含む	にぶい褐	にぶい黄褐	内面 炭化物付着 粗製甕
41	2区	SA10	壺 口縁~胴部	外・内面 斜方向のハケ目の上からナデ。横方向のナデ	2mm以下の茶、灰白色粒 1mm以下の半透明光沢粒	灰黄褐	にぶい黄褐	外面 全体にスス付着

42	2区	SA10	複合口縁壺口縁~頸部	外・内面 横ナデ	3mm以下の黒褐色及び灰白の砂粒 2mm以下の灰白で光沢のある鉱物粒 微細な透明で光沢のある鉱物粒	黄橙	黄橙	風化している。 一部黒変あり。 柳描波状文
43	2区	SA10	複合口縁壺口縁~頸部	外・内面 横ナデ	6mm以下の灰褐色、明褐色の岩片 4mm以下の赤褐色、黒褐色の砂粒 微細な透明で光沢のある鉱物粒	浅黄橙	浅黄橙	全体的に風化 柳描波状文
44	2区	SA10	複合口縁壺口縁部	ナデと思われるが風化気味	3mm以下の黒褐色の砂粒 2mm以下の灰色の砂粒	浅黄橙	浅黄橙	柳描が見えるが全体的に 風化している
45	2区	SA10	壺胸部	外面 斜方向の粗いハケ目の後に横ナデ 内面 横ナデ	3mm以下の乳白色の粒 1mm以下の光沢のある透明な粒、 黒い光沢のある粒	暗灰黄	にぶい黄橙	外面 スス付着 内面 炭化物付着 刻目貼付突帯
46	2区	SA10	壺口縁	外・内面 横方向のナデ	4mm以下の茶褐色の粒 2mm以下の灰色、乳白色、黒褐色の粒	にぶい褐	褐灰	スス付着痕か 頸部刻目
47	2区	SA10	壺口縁	外・内面 横ナデ	5mm大の褐と灰の粒、2mm以下の灰・灰白、 1mm以下の黒と透明の柱状の光沢粒を含む	褐 黒褐	にぶい赤褐	粗製礫
48	2区	SA10	壺胸部	内面 斜方向のハケ目。やや斜方向のナデ	1mm以下の淡黄・灰・茶色・透明粒を含む	にぶい橙	黄褐	浅い柳描直線文と 柳描波状文
49	2区	SA10	壺頸部付近	外面 縦（一部横）方向のハケ目の上をナデ 内面 横方向のナデ	3mm以下の茶、灰白色粒 2mm以下の黒色光沢粒	にぶい黄褐	にぶい黄褐	外面 全体にスス付着 内面 一部スス付着 3条の沈線
50		SA10	壺胸部	外面 横ナデの上を縦方向にハケ目。横ナデ 内面 斜方向にハケ目	1mm以下の灰白の細粒を含む	にぶい黄橙	にぶい黄橙	外面 一部黒変 台形突帯
51	2区	SA10	壺脚部	外面 やや斜方向のハケ目。横方向のナデ 内面 横方向のナデ	1mm以下の褐色粒を含む	にぶい黄橙	浅黄	外・内面 少しスス付着
52	2区	SA10	壺頸部	外面 斜方向にハケ目 内面 横方向にナデ	3mm以下の灰白・灰色粒を多く含む	にぶい黄橙	にぶい橙	外面 スス付着の痕跡あり 布留式系
53	2区	SA10	壺口縁	外面 斜方向のタタキの上から縦方向のナデ 内面 横方向のナデ	6mm以下の黒褐色粒を多く含む 3mm以下の灰・褐色粒を含む	暗灰黄	浅黄	外・内面 スス付着
54	2区	SA16	壺口縁	外・内面 横方向のナデ	2mm以下の柱状で黒色光沢粒 1mm以下の茶褐色粒 0.5mm以下の透明光沢粒を多く含む	にぶい黄橙 黒褐	にぶい黄橙 黄灰	スス付着。部分的に黒変
55	2区	SA18	壺口縁	外面 縦方向のハケ目 内面 横方向のナデ	2mm以下の透明な光沢粒 1mm以下の半透明、灰白色の粒	にぶい黄橙	にぶい黄褐	外面 スス付着 刻目突帯 下城式
56	3区	SA19	壺底部	外面 不定方向にミガキ 内面 工具による粗いナデ	5mm以下の黒褐色の粒、4mm以下の灰白の粒 2mm以下の赤褐色の粒	にぶい黄橙	にぶい黄橙	
57	3区	SA19	壺胸部	外面 横ナデ。縦ナデの後ミガキ 内面 斜方向の粗いナデ	2mm以下の灰白色、黒褐色の粒	にぶい赤褐	にぶい黄橙	貼付突帯
58	3区	SA19	壺口縁	外・内面 横方向のナデ	1mm以下の灰白色、褐色粒	暗灰黄	浅黄	スス付着
59	3区	SA19	壺底部	外面 ミガキ 内面 ナデ	7mm以下の灰白色、褐色粒。 3mm以下の柱状の黒色光沢粒 微細な透明光沢粒を多く含む	にぶい褐	にぶい赤褐	外面 スス付着
60	3区	SA20	壺胸部	外面 横ナデ。斜方向にハケ目。ハケ目の後に横ナデ。 内面 横ナデ。横方向にハケ目か。	9mm以下の灰褐色の礫 6mm以下の灰白で光沢のある粒	にぶい黄褐	にぶい褐	外面 スス付着 刻目突帯
61	3区	SA20	壺底部	外面 縦方向の板状工具によるナデ（工具痕あり） 内面 斜方向の板状工具によるナデ（工具痕あり） 指頭痕。ナデ	6mm以下の乳白色の粒 3.5mm以下の灰色の粒	にぶい橙	褐灰	
62	3区	SA12	壺口縁	外・内面 横方向にナデ	2mm以下の黒色光沢粒、1.5mm以下の褐色粒 1mm以下の灰白色粒、0.5mm以下の透明光沢粒	にぶい橙	にぶい橙	
63	3区	SA12	壺底部	外面 粗いナデ 内面 ナデ	8ミリ以下の灰色、白く光沢のある礫 5.5mm以下の褐色粒 1.5mm以下の黒色の粒	橙 にぶい橙	褐灰	
64	3区	SA12	壺底部	外・内面 ナデ	4.5mm以下の灰白粒。 2mm以下の柱状で黒色光沢粒 1mm以下で金色に光る粒	灰黄褐	褐灰	外面 スス付着 内面 炭化物付着
65	3区	SA22	口縁	外・内面 横方向のナデ	2mm以下の白色、黒色光沢粒、 1.5mm以下の透明光沢粒 微細な茶褐色、白色光沢粒を多く含む	にぶい黄橙 黒褐	にぶい黄橙	外面 黒変
66	3区	SA22	口縁	外・内面 横方向のナデ	2mm以下の灰白、褐、黒色粒 1mm以下の黒色光沢粒	にぶい橙	にぶい橙	外面 全体的にスス付着 内面 うすくスス付着
67	3区	SA22	壺口縁~頸部	外面 横ナデ 内面 ミガキか	1mm以下の褐色、赤色の砂粒を含む	浅黄橙	浅黄橙	
68	3区	SA22	壺口縁	外・内面 横方向のナデ	2.5mm以下の柱状黒色光沢粒、 2mm以下の茶褐、鈍灰色の粒 微細な透明光沢粒を多く含む	明黄褐 褐灰	にぶい黄橙 褐灰	部分的に薄い黒斑
69	3区	SA23	壺口縁	外・内面 横ナデ	5mm程度の灰白粒 灰白の1mm以下の微粒	にぶい褐	にぶい黄褐	口唇部付近少く黒変。 全体的に薄く黒変。 刻目突帯
70	3区	SA23	壺口縁部	外面 粗い横ナデか 内面 丁寧なナデか	3mm以下の灰白及び黄灰の粒 1mm以下の黒色光沢の粒	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
71	3区	SA23	壺口縁	外面 粗い横方向のナデ 内面 横方向のナデ	2mm以下の褐色粒 1mm以下の黒灰褐色粒	明黄褐	明黄褐	外・内面 スス付着
72	3区	SA23	壺脚部	外面 ナデ 内面 横ナデ	5mm程度の灰白粒1コ 2mm以下の灰白・灰・褐の粒	にぶい黄橙	にぶい黄	全体的にスス付着 粘土のつなぎ?あり
73	3区	SA23	壺底部	外面 ミガキ風ナデ 内面 ミガキ風ナデ	4.5mm以下の灰色の粒 3mm以下の赤褐色、黒褐色の粒を含む	黄灰		外・底面 粘土のつなぎ 目あり
74	3区	SA24	壺口縁~底部	外面 縦・横・斜方向のミガキ 内面 指ナデ。ミガキ。工具痕あり	3mm以下の灰白色、黒色粒 2mm以下の赤褐色粒	黄橙	黄橙	頸部に2箇所穿孔
75	3区	SA24	壺胸部	外面 粗いナデ。横ナデ。斜方向に粗いナデ。 内面 斜方向にナデ	6mm以下の灰白粒、3mm以下の灰褐色、赤褐色粒 1mm以下の透明で光沢のある粒	褐灰	にぶい褐	外面 全体的にスス付着 内面 一部炭化物がみら れる3条の三角突帯
76	3区	SA24	壺胸部	外面 横方向にナデ。斜方向にハケ目。 内面 斜方向にハケ目	7mm以下の白色、5mm以下の粉っぽい白色(軽石?) 2mm以下の灰色の粒を多く含む	にぶい橙	にぶい橙	貼付突帯
77	3区	SA24	壺口縁~胸部	外面 横ナデ。単位不明瞭だがハケ目。その後ナデか。 内面 横方向のハケ目?単位不明瞭だがハケ目	5mm大の灰白粒1コ 2mm以下の灰白の粒を多く含む	にぶい黄橙 黒褐	暗灰黄 黒褐	全体的に黒変している
78	3区	SA24	壺口縁	外・内面 横方向のナデ	3mm以下の灰色粒 2mm以下の褐色、黒色光沢粒を含む	にぶい褐	灰黄褐	突帯 粗製礫
79	3区	SA24	壺口縁~胸部	外・内面 横方向のナデ	7mm以下の灰白色粒、4mm以下の白色粒、 2mm以下の白色、柱状黒色粒、微細な光沢粒を多く含む	明褐色	にぶい黄橙	外・内面 黒変 頸部下に浅い沈線
80	3区	SA24 十四層	壺口縁~底部	外面 丁寧なナデ。斜方向のミガキ	2mm以下の灰色の砂粒が多く見られる	黒褐 にぶい褐	にぶい褐	外面スス付着 内面 炭化物付着 刻目突帯 粗製礫
81	3区	SA24	壺胸部~底部	外面 縦方向の粗いナデ。縦方向にミガキ 内面 粗いナデ	7mm以下の灰褐色の粒、5mm以下の灰白の粒 2mm以下の柱状黒色光沢粒を含む	褐	褐	外面 一部スス付着 内面 炭化物付着 粗製礫
82	3区	SA25	壺口縁~胸部	外面 横方向にナデ 内面 ナデ	4mm以下の褐色粒 2mm以下の白色、柱状黒色光沢粒 1mm以下の透明光沢粒を多く含む	にぶい赤褐	にぶい赤褐	外面 黒変。一部にスス 付着の痕跡あり 粗製礫
83	4区	SC4	壺口縁~底部 付近	外面 ナデ 内面 横方向にナデ	6mm以下のにぶい褐色の石粒 1mm前後の黒色光沢粒や微細な茶褐色の砂粒を含む	にぶい褐	にぶい褐	外面 全体にスス付着 内面 黒く変色している 工字突帯
84	4区	SA25	壺口縁~胸部	外面 横ナデ。縦方向に工具ナデ。縦方向にナデ。 内面 斜方向に指ナデ。所々斜方向に工具ナデ。	8mm以下の濁白色粒、6mm以下の青みがかった灰色粒、 5mm以下の灰色粒、 4mm以下の薄茶色粒、透明、柱状の光沢粒を多く含む	赤褐	にぶい赤褐 極暗赤褐	外面 薄く黒変 内面 黒変、炭化物付着 工字突帯

85	2区		壺口縁	外面 ナデ 内面 粗いナデ	5mm以下の灰色の粒 4mm以下の橙の粒	にぶい橙	橙	口唇部に山形文
86	2区		壺口縁	外・内面 横ナデ	3mm以下の灰白の光沢のない好物料 1mm以下の透明な光沢のある鉱物粒及び赤褐色の砂粒	にぶい橙	にぶい黄橙	
87	3区	IV層	壺口縁	外・内面 ナデ	2mm以下の黒色、灰褐色の粒 微細な光沢粒を含む	橙	にぶい橙	拡張部に縦方向の沈線
88	3区	IV層	複合口縁壺頸部	外面 横方向のナデ 内面 丁寧なナデ	2.5mm以下の赤色の岩片? 灰褐色、赤褐色の砂粒 2mm以下の黒色で光沢があり、1.5mm以下の灰白で光沢があり、1mm以下の半透明で光沢のある鉱物粒	橙	橙	外面 スス付着 頸部三角突帯
89	3区	IV層	壺胴部	外面 縦方向にハケ目状のナデの後沈線、その後斜方向のナデ 内面 丁寧なナデと思われる	6mm以下の灰白で不透明の光沢のある粒 2mm以下の赤褐色の砂粒	にぶい褐	にぶい褐	内面 一部剥離。部分的に風化している
90	3区		壺頸部~胴部	外面 斜方向のハケ目状のナデの後沈線、その後横方向及び斜方向に丁寧なナデ? 内面 横方向に丁寧なナデ	3mm以下の灰白の粒や1mm以下の透明で光沢のある粒及び赤褐色の砂粒を含む	灰黄褐	にぶい褐	数条の沈線
91	3区	IV層	壺胴部	外面 縦方向にハケ目状のナデの後沈線、その後斜方向のナデ 内面 丁寧なナデと思われる	3~4mm大の灰・黒褐色粒を3個 2mm大の乳白・淡黄色粒 1mm以下の乳白・淡黄・褐色粒	にぶい黄橙	浅黄 暗灰黄	数条の沈線
92	3区	IV層	壺底部	外・内面 丁寧なナデ	2mm以下の黒色・褐色・茶色・肌色等の粒、ガラス質に光る細粒	灰黄褐	にぶい黄褐 褐	全体的にナデ調整は丁寧であるが、器面に凹凸は残っている
93	3区		長頸壺屈曲部	外面 横方向のミガキ 内面 横方向のナデ。ハケ目の後に部分的に横ナデ	1mm以下の黒色・褐色・灰白粒、透明で光沢のある粒	褐	灰	丹塗り
94	2区	IV層	壺(突帯付)口縁	外面 工具による横ナデ 内面 工具による横方向のナデ	5mm大の灰色の粒 3mm以下の黒のガラス上の粒を多数 1mm以下の灰白の粒を含む	明赤褐	褐灰	内面 全体が黒変
95	2区		口縁~胴部	外面 斜方向のハケ目の後、ナデ 内面 指ナデ。斜方向のナデ	9mm以下の薄青灰色の粒や6mm以下の赤褐色の粒 4mm以下の乳白色光沢粒 2mm以下の透明・黒色光沢粒を多く含む	にぶい褐	にぶい黄褐 灰黄褐	内面 黒変。スス付着痕 刻目突帯(工具痕?) 下城式
96	1区	IV層	壺口縁部	外面 横ナデ。ナデの後ハケ目? 内面 ハケ目?の後、丁寧なナデ	0.5mm以下の白色、茶褐色、白色半透明の粒	にぶい褐	黒褐	外面 スス付着 内面 黒変 刻目突帯 下城式
97	3区	IV層	壺底部	外面 ハケ目、一部指なで	4mm以下のにぶい黄褐色粒 2mm以下の灰白色、透明黒色粒、透明白色粒を含む	橙	にぶい黄褐	内面 炭化物付着
98	2区		壺底部	外面 ナデ、横方向のナデ 内面 縦方向の指押さえナデ	2mm以下の柱状の黒色光沢粒、灰白色粒 微細な透明光沢粒を多く含む	にぶい黄橙	にぶい褐	外面 一部スス付着か
99	2区	SA7	壺胴部	外面 風化にて調整不明。ミガキか 内面 丁寧なナデ	3mm以下の灰・灰白・橙・灰黄色・黒色光沢粒を含む	明赤褐	黒褐	内面 内黒
100	3区	IV層	壺胴部	外面 縦方向のハケ目の後、樹描波状文あり 内面 縦・横方向に工具痕あり	5mm以下の灰白の粒や4mm以下の柱状黒色光沢粒 1.5mm以下の透明光沢粒を含む	褐灰 にぶい黄橙	にぶい黄橙	外面 黒変あり 樹描波状文
101	3区	IV層	壺胴部	外面 指頭痕あり 内面 縦・横方向に工具痕あり。指頭痕あり	4mm以下のにぶい黄褐の粒 微細な透明光沢粒を含む	にぶい黄橙	にぶい黄褐	内面 炭化物付着 樹描波状文
102	3区		壺口縁~胴部	外面 横ナデ。縦方向のナデ 内面 横ナデ。ナデ	5mm以下の灰白色、灰色の粒 2mm以下の黒色鋭光沢で角柱状の粒	にぶい黄褐	赤褐	外面 わずかにスス付着 5条突帯 粗製
103			壺口縁	外面 横方向のナデ 内面 ナデ	5mm以下の灰白色粒 2mm柱状の黒色光沢粒、透明光沢粒を含む	にぶい赤褐	褐色	
104	4区	SC4	壺(突帯付)口縁~胴部	外面 横方向のナデ。斜方向のハケ目 内面 横方向のナデ。	5mm大の灰白、褐色粒 3.5mm以下の黒色光沢粒 3mm以下の灰・褐、灰白色粒	黒褐色	褐	外面 スス付着 5条突帯 粗製
105	4区	SC4	壺胴部	外面 横ナデ。縦方向のナデ。 内面 斜方向のナデ	3mm以下の黒色鋭光沢で角柱状の粒 2mm以下の灰白色、透明な光沢のある粒	明褐	にぶい褐	内面 全体スス付着 工字突帯 粗製
106	2区		壺底部	外面 縦ナデのようであるが風化著しい 内面 粗いナデ	2mm以下の黒色光沢で角柱状の粒、半透明の光沢のある粒、黒褐色の粒 1mm以下の灰褐色	灰黄褐	黒褐	外面 全体的にスス付着 工字突帯 粗製
107	2区		壺底部	外面 粗いナデ 内面 ナデ。指押さえあり	3mm以下の灰白色、褐色、乳白色の粒 2mm以下の柱状黒色光沢粒、透明光沢粒を含む	褐	にぶい褐	外・底面 風化著しい 内面 炭化物付着 粗製
108	3区		壺胴部~底部	外面 ナデ 内面 ナデ、粗いナデ	3.5mm以下の褐色の粒 1.5mm以下の乳白色、透明光沢粒を含む	にぶい褐 にぶい黄橙	にぶい褐	外面 一部スス付着
109	2区		壺口縁~胴部	外面 横ナデ。単位ははっきりしないがハケ目か。 内面 横ナデ。指頭痕あり	2mm以下の灰白の粒、黒・透明の柱状のガラス上の粒を含む	にぶい褐	灰黄褐	外面 全体が黒変
110	2区	SA12	壺口縁~胴部	外面 ナデ。ハケ目 内面 ハケ目	8mm以下の灰黄、灰褐、褐色、黒色粒 微細な透明光沢粒を含む	黒褐	浅黄橙 灰黄褐	外面 粘土継目 口縁スス付着
111	2区		口縁	外・内面 ナデ	2mm以下の黒色光沢粒 0.5mm以下の褐色、灰白色粒	浅黄橙	浅黄	
112	2区	IV層	口縁	外・内面 ナデ	微細な灰白、褐、黒色粒	にぶい黄橙	にぶい黄橙	外・内面 スス付着
113	3区		口縁	外・内面 ナデ	4mm以下の褐色粒や2mm以下の乳白色粒 1.5mm以下の黒色光沢粒 微細な透明光沢粒を多く含む	灰黄	浅黄橙	外・内面 スス付着
114	3区	IV層	壺口縁	外・内面 横方向のナデ	2mm以下の黒色粒、茶褐色粒、柱状の黒色光沢粒 1mm以下の透明光沢粒を含む	浅黄橙 黒褐	にぶい黄橙	
115	3区	IV層	口縁~頸部	外面 横方向のナデ 内面 横方向のナデ。風化しているがナデと思われる	2mm以下の白色透明粒、黒色柱状粒 1mm以下の黒、乳白色、灰色を含む	浅黄	にぶい黄褐	外面 部分的にスス付着 内面 部分的にスス付着 黒変あり
116	2区	IV層	壺口縁部	外面 横ナデ 内面 丁寧な横ナデ	2mm以下の黒い粒 1mm以下の白色粒、茶褐色粒、半透明の光沢のある粒	黒褐	にぶい黄褐	外・内面 スス付着
117	2区	IV層	壺口縁部	外・内面 横ナデ	2mm大の黒曜石 0.5mm以下の無色透明光沢、黒色光沢の粒	黒	にぶい黄橙	外面 スス付着 凹線文 瀬戸内系
118	2区	IV層	壺口縁部	外・内面 横ナデ	2mm以下の灰褐色、灰白色の粒	にぶい黄橙	明黄褐	凹線文 瀬戸内系
119	2区		高杯? 脚部	外面 縦方向にヘラミガキ 内面 丁寧なナデ	2mm以下の黒褐色、茶褐色の粒	浅黄 オリーブ黒	橙 浅黄橙	外面 ススわずかに残る 凹線文 瀬戸内系
120	2区	IV層	胴部	外面 斜方向のタタキ 内面 ナデ	8mm大の褐色粒を少量と3mm以下の褐、灰白粒を多数含む	橙	にぶい黄橙	
121	2区	IV層	蓋体部	外・内面 回転ナデ	1~2mm大の淡黄色粒 微細な透明光沢粒	にぶい黄橙	灰	外面 一部スス付着
122	2区		胴部	外面 格子目叩き 内面 ナデ	微細な粒	灰	にぶい黄褐	
123	2区	SA11	壺胴部片	外面 格子目タタキ 内面 平行タタキ	精良	にぶい黄褐	灰白	外面 少しスス付着
124	2区		胴部	外面 平行タタキ(不定方向) 内面 平行タタキ(斜方向)	2mm以下の灰白の粒を含む	灰	暗灰黄	

## 第7節 石器

出土石器は530点について図化・掲載している。未図化資料は、チャート製剥片・碎片が大半を占め、膨大な量を占めている。石器の掲載は、整理の都合上、以下のようにになっている。

- 1～372 : アカホヤ火山灰上位の包含層(Ⅲ・Ⅳ層)・遺構出土分
- 373～489 : アカホヤ火山灰下位の包含層(Ⅵ・Ⅶ層)・遺構出土分
- 490～530 : 攪乱や表面採集など、出土位置の明確でないもの

1～372は、縄文時代早期の遺物も含まれる可能性があるものの、土器から推して縄文時代後期から晩期、弥生時代中期から後期に相当しよう。373～489は縄文時代早期に相当する。各石器の出土位置・出土層位については、表14の計測表に明記している。

### アカホヤ火山灰上位の包含層(Ⅲ・Ⅳ層)・遺構出土分

1～54は磨製石鏃である。平面形は紡錘形や三角～五角形、長楕円形がある。基部はゆるく凹むものが多い。整形に伴う研磨は様々で、刃縁は明確に研ぎ出されている。重量は、最も軽量な0.5gから最も重量のある3.9gのもの、8倍近い開きがある。石材は、赤色頁岩・緑泥片岩・黒色頁岩(オリーブ色頁岩)がある。赤色頁岩製は2・45の2点で、大半は緑泥片岩・黒色頁岩(オリーブ色頁岩)製である。

55～123は磨製石鏃の素材あるいは未製品である。製作工程に応じて、石器形態にバリエーションがある。素材剥片は横長剥片が多い。原材の節理構造を活かして剥離されたものが多い。

124～126は磨製石鏃素材剥片が剥離された石核である。外縁から中心に向かい、節理を活かしながら、素材剥片が剥離される。磨製石鏃の未製品・石核ともに、緑泥片岩・黒色頁岩(オリーブ色頁岩)製で占められる。赤色頁岩製のものはない。

127～135・165・171はⅢ・Ⅳ層中から出土した打製石鏃である。チャート製で小形のものが多い。136～164・166～170・172～182は、アカホヤ降灰以後に形成された遺構の埋土中から出土した打製石鏃である。大半はチャート製で、一部、姫島産黒曜石や安山岩、水晶が利用される。平面形態は様々にあり、重量は0.3～2.0gまでのものが多く、一部、3.0gを超えるものがある。

183・184は尖頭器である。いずれも流紋岩製である。183は使用によるものか、先端から剥離がある。基部は欠損でなく、打面を残す。素材剥片が縦長に近い不定形剥片であったとわかる。184は基部側を欠損する。右側面の先端側には大きく平坦面が残る。最終的に尖頭部を作出予定であり、何らかのアクシデントで基部が欠損、廃棄されたものであろう。

185～200は打製石鏃の未製品と推定されるもの、201～214・221は削器、215～217は楔形石器である。打製石鏃未製品・削器・楔形石器には、いくつか、器種分類が明確でないものが存在した。

打製石鏃未製品と推定されるものには製作の各工程の資料がある。191・192・198・199などは、かなり早い工程の資料である。194の裏面は稜の一部が摩滅している。189は基部付近に突出部が残ることから未製品とした。188などととも、製作の最終工程であろう。

削器は、チャート製のものと、安山岩・凝灰岩製のものが半数ずつ程度ある。201は石鏃未製品の可能性が残る。210・213は打製石斧に多い石材製であり、打製石斧の調整剥片などを削器の素材とした可能性がある。211は超大形の削器で、刃部の作出は粗い。214は、下端に刃部が作出される。正面右の

剥離は整形に伴うものである。

215～217は典型的な楔形石器である。216は石鎌未製品の可能性が残る。

218～220は石匙である。黒曜石製は小さく、チャート製は大形である。刃縁は、218・219が直線的で鋭く、220は搔器の刃部に似て、面的である。220は、つまみの作出も弱い。

222～228は石錐、229～234は搔器である。すべてチャート製。228は石錐と搔器、両方の機能をあわせもった可能性がある。

235・236は黒曜石製の縦長剥片である。これらのほか、図示していないが、チャート製剥片には様々な形態がある。237はチャート製の微細剥離ある剥片である。縦長剥片を素材とする。

238～265は石核である。243は黒曜石、254は安山岩、255は凝灰岩製であるほかは、すべてチャート製である。243は礫面を打面とし、かなり小形の剥片が剥離されたものである。254・255からは、大形の不定形剥片が剥離される。チャート製のものは、厚みのある剥片素材のものが多く、縦長に近い不定形剥片が剥離される。

266は石器全体の一部しか残っていない。ゆるい凹面はやや摩滅しており、図中トーン部分には黒色の付着物がある。

267は黒曜石の原石である。礫面の特徴から佐賀県伊万里市の腰岳産のものと思われる。正面に数回の剥離痕があり、試し割りでもしたのか。

268～273は敲石、274～277は磨石である。268・269はチャート製。268は残核を転用したものである。269は敲打の衝撃で剥落が生じている。272はゴルフボール状の礫を素材とし、全面に敲打痕が残る。271は棒状の礫素材で、端部が剥落する。270・273は楕円礫を素材とし、周縁部に顕著な敲打痕、正面の平坦面にわずかな敲打痕が残る。

278～280は砥石である。278・279は扁平、280は大形の楕円礫を素材とする。278は表裏面ともに顕著な磨面をもち、光沢がある。右側面にもゆるい磨面がある。279も表裏面ともに顕著な磨面をもち、とくに表面には線状の擦痕がある。裏面は濃い褐色に変色している。280は表裏面に磨面がある。

281はゆるい凹面をもち、明確に使用痕と言える部分は見当たらない。石皿か。

282～362は打製石斧である。平面形は、短冊状のもの、涙滴形のもの、縦に長い二等辺三角形のもの、長楕円形のもの、肩を有するものなどがある。整形は、まず大きな剥離で成形し、その後、側縁や刃部を中心に細かく調整し行なう場合が多い。319～332は基部側のみ、333～344は刃部側のみ、345～349・352の胴部のみのもものなど、打製石斧の半数近くは全形をとどめていない。

356・357は、厚さ1cmとうすい。356は、両側縁に抉りがある。357は上端に平坦面をもち、対して、下端面は尖っている。石鎌になろうか。358・359・361・362は、基部に抉りをもち、下端部が先細りになる一群である。359・362は結晶片岩・片岩を素材とし、厚さ1cmと、石器全体の大きさに対し、非常にうすい。

363～370は磨製石斧である。363は蛇紋岩製で、小破片であるため、全形は復元できない。364もまた欠損が著しい。裏面にも平坦な研磨面があり、断面かまぼこ形の石斧に復元される。365は基部のみである。全面に敲き潰した痕跡がアバタ状に残される。磨製石斧の未製品であろう。366は小形である。側面は左右とも平坦面がある。367は刃部のみである。使用の衝撃によるものか、裏面は長軸方向に大きく剥落している。368は、側面を中心にアバタ状の敲き潰し痕が残る。367は刃部、そして欠損部付近

の両側面が、ほかの部分と風化度合いが異なり、黒色をしている。刃部のそれは石斧の対象物によるもの、両側面のそれは石斧を柄に装着した痕跡であろう。370は、刃部を用いた敲石として転用されている。

371は円盤状石器とした。扁平な煎餅様の砂岩礫を素材とする。下端部の剥離のある箇所は、表裏面ともに赤変している。

372は砂岩の扁平な礫を素材とする石錘である。3ヶ所に打ち欠きがある。石錘はこの1点のみである。

#### アカホヤ火山灰下位の包含層（Ⅵ・Ⅶ層）・遺構出土分

373～433は打製石鏃である。大半がチャート製で、安山岩製が3点、姫島産黒曜石製が1点ある。409・410・426は、平面形が相似関係にある。脚部は、抉りの深いものが目立つ。434は、尖頭部が明確に作り出されることから、尖頭器とした。

435～449は打製石鏃の未製品である。製作工程の早い段階にあるものについては、削器などとの区分が不明確なものがある。444は石英製であるが、打製石鏃に石英製のものはない。447は安山岩製で、横長剥片素材とわかる。

450・451は楔形石器である。両端部の潰れは顕著でない。

452は石匙である。素材剥片は「凸」の字形で、剥片形状をそのまま活かしている。

453～463・465は削器である。縦長剥片を素材とするものが多い。チャート・安山岩・ホルンフェルス・流紋岩と、石材は多様である。460は異質である。流紋岩の三角柱状の剥片を素材とし、ほかの削器と比べ、石器全体が異様に長い。

464・466は石錐である。464の錐部は、断面凸レンズ状である。466は錐部に幅があり、またその断面は台形となる。使用による磨耗は464・466ともに観察されない。

467・468は搔器である。チャート製は大形、黒曜石製は小形である。

469は打面再生剥片である。右側面が旧作業面となる。470・471は微細剥離ある剥片である。図示していないが、ほかに大量のチャート製剥片・碎片がある。剥片形状とその数量は、不定形剥片が圧倒的多数を占め、縦長剥片が一定量認められる。

472～476は石核である。472は凝灰岩製、そのほかはチャート製である。472は、かなり厚みのある大形剥片を素材とし、礫打面から、横長に近い不定形剥片が剥離される。473・474・476は厚みのある不定形剥片を素材とし、外縁から中心に向かって、不定形剥片が剥離されたものである。

477～484・486～488は敲石、485は凹石、489は磨石である。敲石は、ゴルフボール状の礫を素材とするものが多い。重量は、50g前後、100g前後、約150gのものに分かれる。487は磨痕をあわせもつ敲石である。485は裏面にもわずかな凹みをもつ。

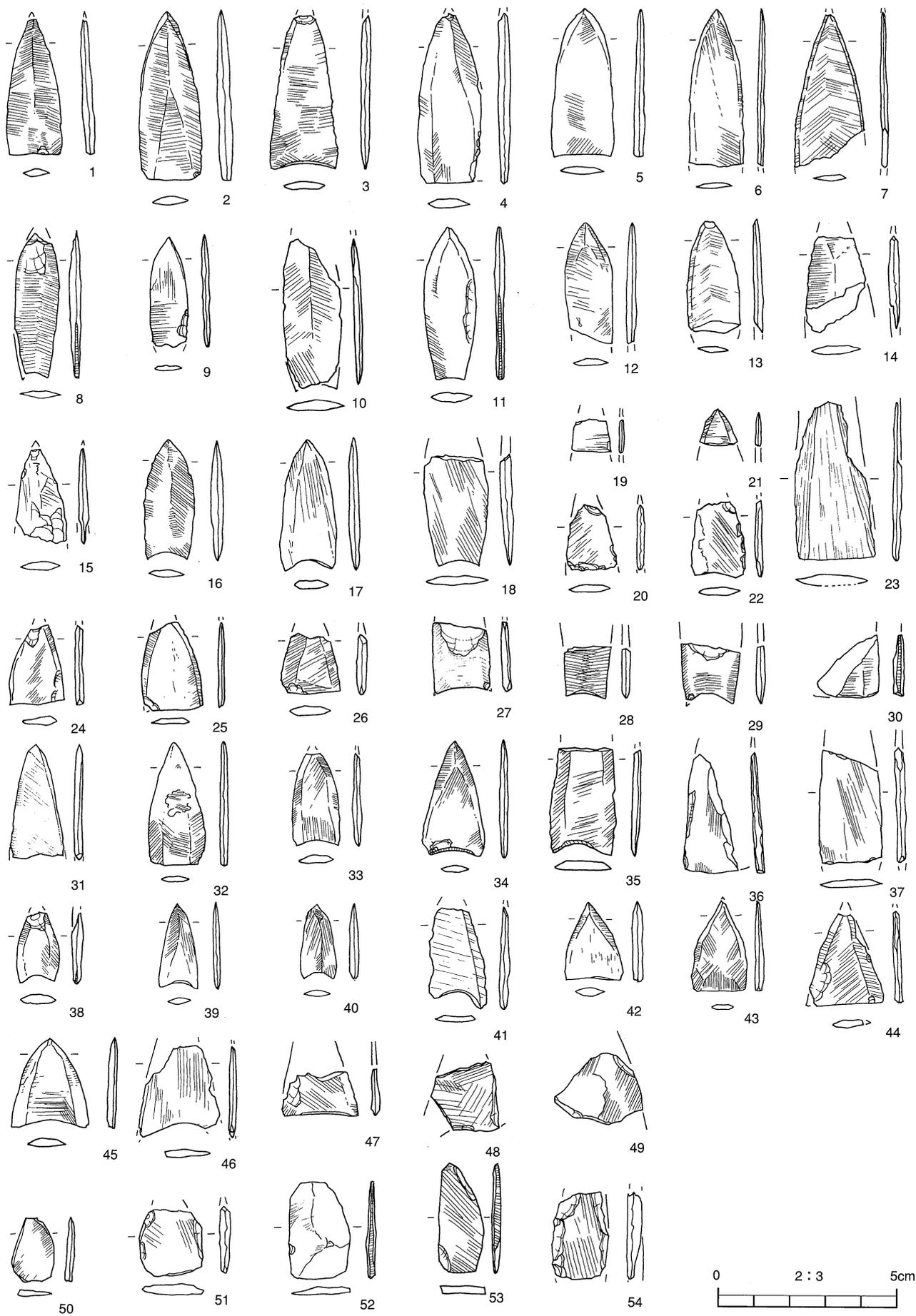
490～530は攪乱から出土したもの、表面採集されたもの、出土位置が明確でないものである。515は異形石鏃である。チャート製の縦長剥片素材。いわゆる異形局部磨製石鏃（トロトロ石器）のように、表裏面に見られる研磨、または磨耗は残されず、稜がやや磨耗しているか、といった程度である。

そのほか、打製石斧の素材を剥離した石核も出土している。

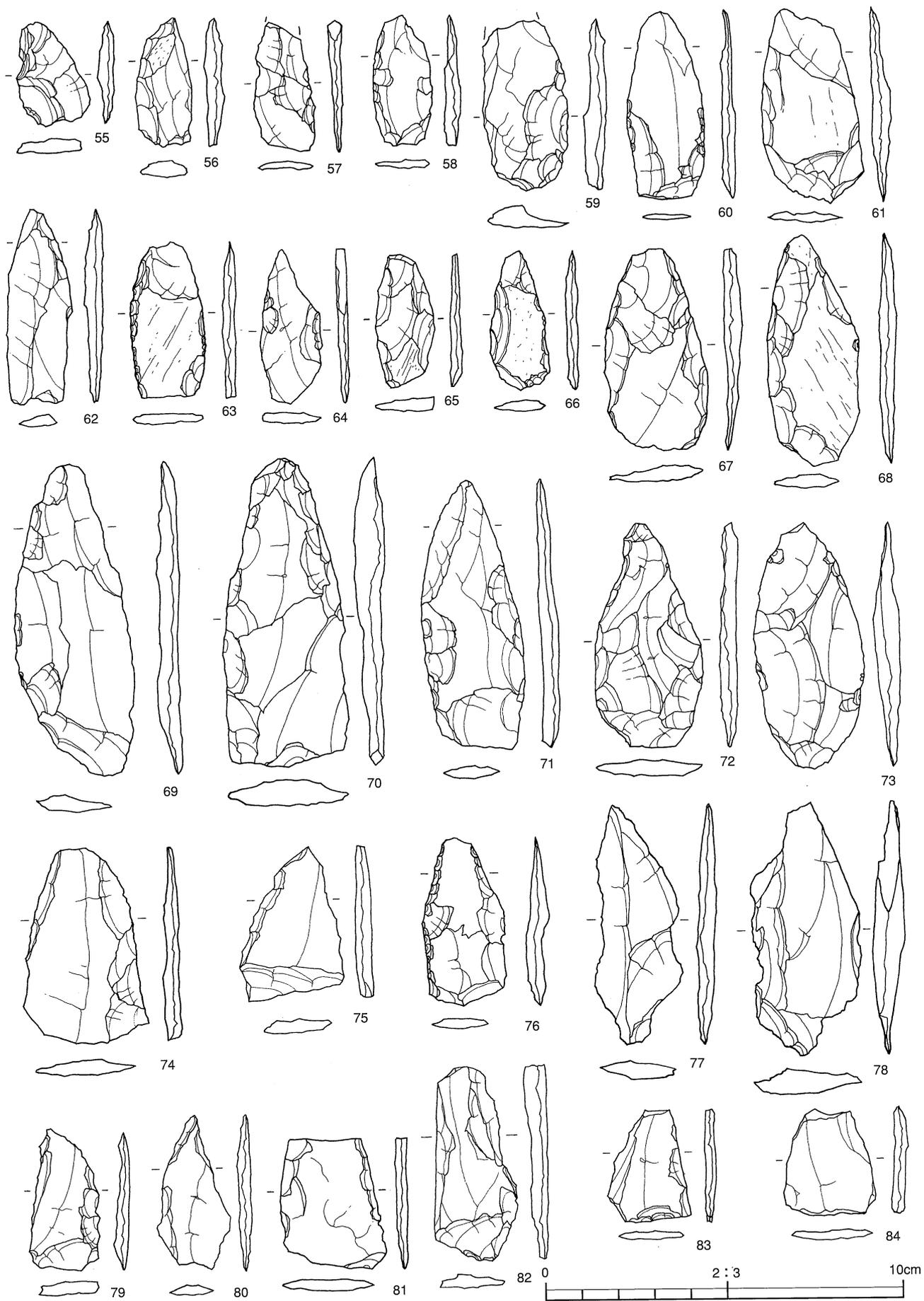
小結

今回の報告では、石器を大きくアカホヤ火山灰上下に分け、器種ごとに報告した。そこで、遺構別・地層別に器種構成を示して結びとしたい。

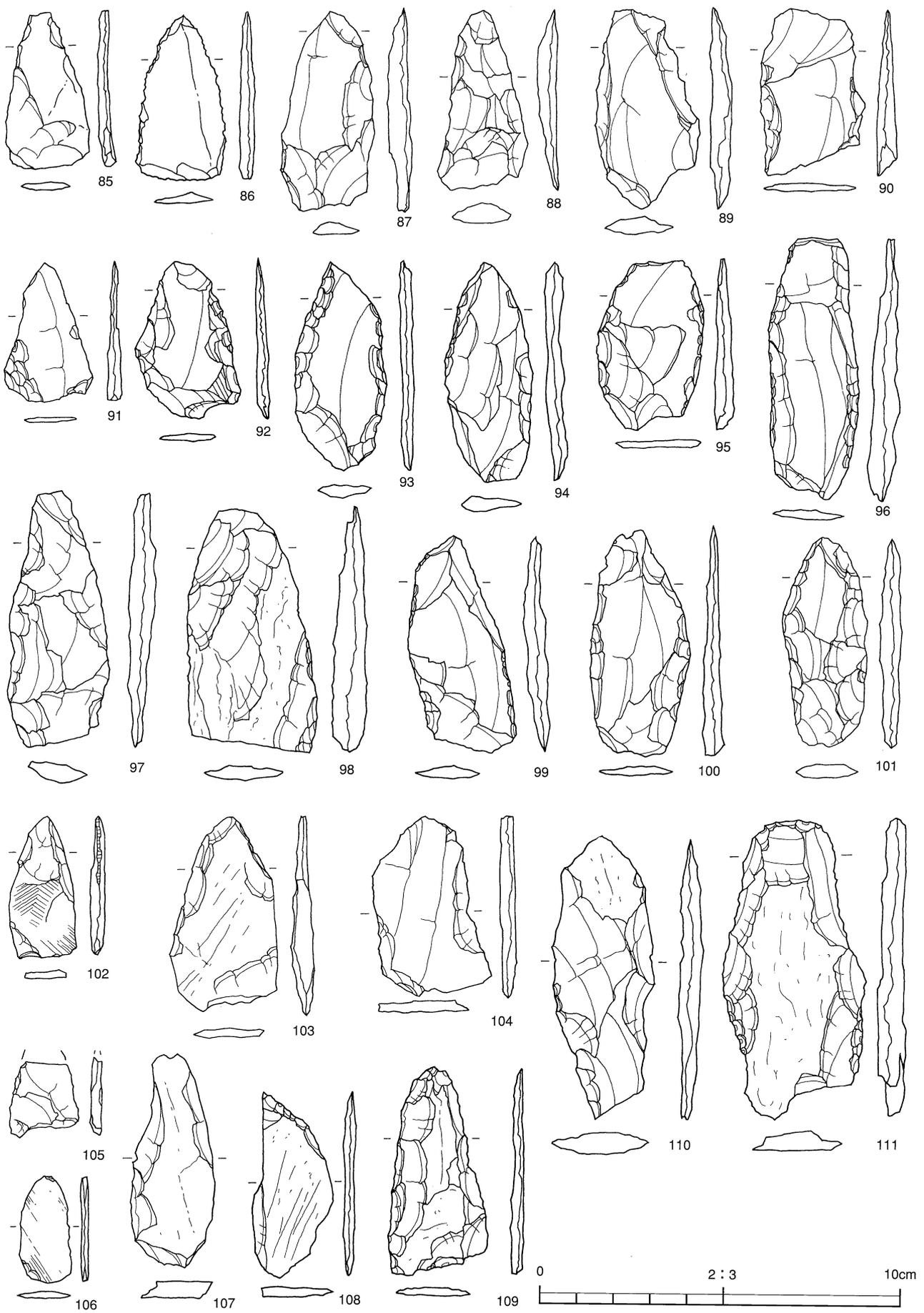
遺 構	石器組成 (磨製石鏃関連でG=緑, B=黒, R=赤, O=オリーブ色を示す)
1区SE1	打製石鏃・同未製品・削器
1区SA1	打製石斧
2区SA4	磨製石鏃G・同未製品G・打製石斧
2区SA5	打製石斧
2区SA6	石鏃・打製石斧・敲石
2区SA7	磨製石鏃未製品G・石鏃・同未製品・石錐・打製石斧・磨石
2区SA8	磨製石鏃G・R・B・同未製品G・B・石鏃・石錐・削器・Ob剥片・打製石斧・敲石
2区SA10	Ob剥片・打製石斧・石斧転用敲石
2区SA11	磨製石鏃G・同未製品B・石鏃・搔器・石核・打製石斧
2区SA12	磨製石鏃G・B・同未製品G・B・石鏃・削器・搔器・楔・打製石斧・敲石
2区SA13	磨製石鏃B
2区SA14	磨製石鏃R・同未製品B・石鏃・石核・打製石斧
2区SA16	石鏃・同未製品・石錐・削器・搔器・打製石斧・磨製石斧・砥石・石匙・石核
2区SA17	削器・石核・打製石斧
2区SA18	磨製石鏃G・同未製品G・B・石鏃・同未製品・石匙・打製石斧
3区SA19	石鏃・同未製品・石錐・楔・打製石斧・敲石
3区SA20	磨製石鏃未製品G・石核・打製石斧
3区SA21	磨製石鏃G・石鏃・打製石斧
3区SA22	磨製石鏃G・同未製品G・石鏃・同未製品・石錐・打製石斧・砥石
3区SA23	磨製石鏃G・石鏃・石錐
3区SA24	磨製石鏃G・同未製品G
4区SC3	打製石斧・台石
1区Ⅲ層	石鏃
1区Ⅳ層	石鏃・削器
2区Ⅳ層	磨製石鏃B G・同未製品G・石鏃・石鏃未製品・削器・尖頭器・石錐・石核・黒曜石原石・磨石・石皿・打製石斧・磨製石斧・台石
3区Ⅳ層	磨製石鏃G・B・同未製品G・B・同石核O・G・石鏃・打製石斧
4区Ⅳ層	削器・打製石斧
2区SI4	円盤状石器
2区SI6	磨製石鏃O・石鏃・石匙
2区SI7	石鏃
2区SI11	磨製石鏃石核・石鏃・石核
2区SI19	石鏃
2区SI20	石核
2区SI25	削器
2区SI27	削器・石核
2区SI30	削器
2区Ⅵ層	磨製石鏃G・石鏃・石鏃未製品・削器・搔器・打面再生剥片・石核・打製石斧・敲石・台石・石皿
3区Ⅵ層	石鏃・同未製品・石錐・削器・楔・石核・凹石
2区Ⅶ層	磨製石鏃G・石鏃・石匙・楔・削器・微細剥離剥片・石核・打製石斧・敲石・磨石
2区Ⅷ層	石鏃未製品・石核・敲石
3区Ⅸ層	石鏃・尖頭器・削器・搔器・石核・敲石



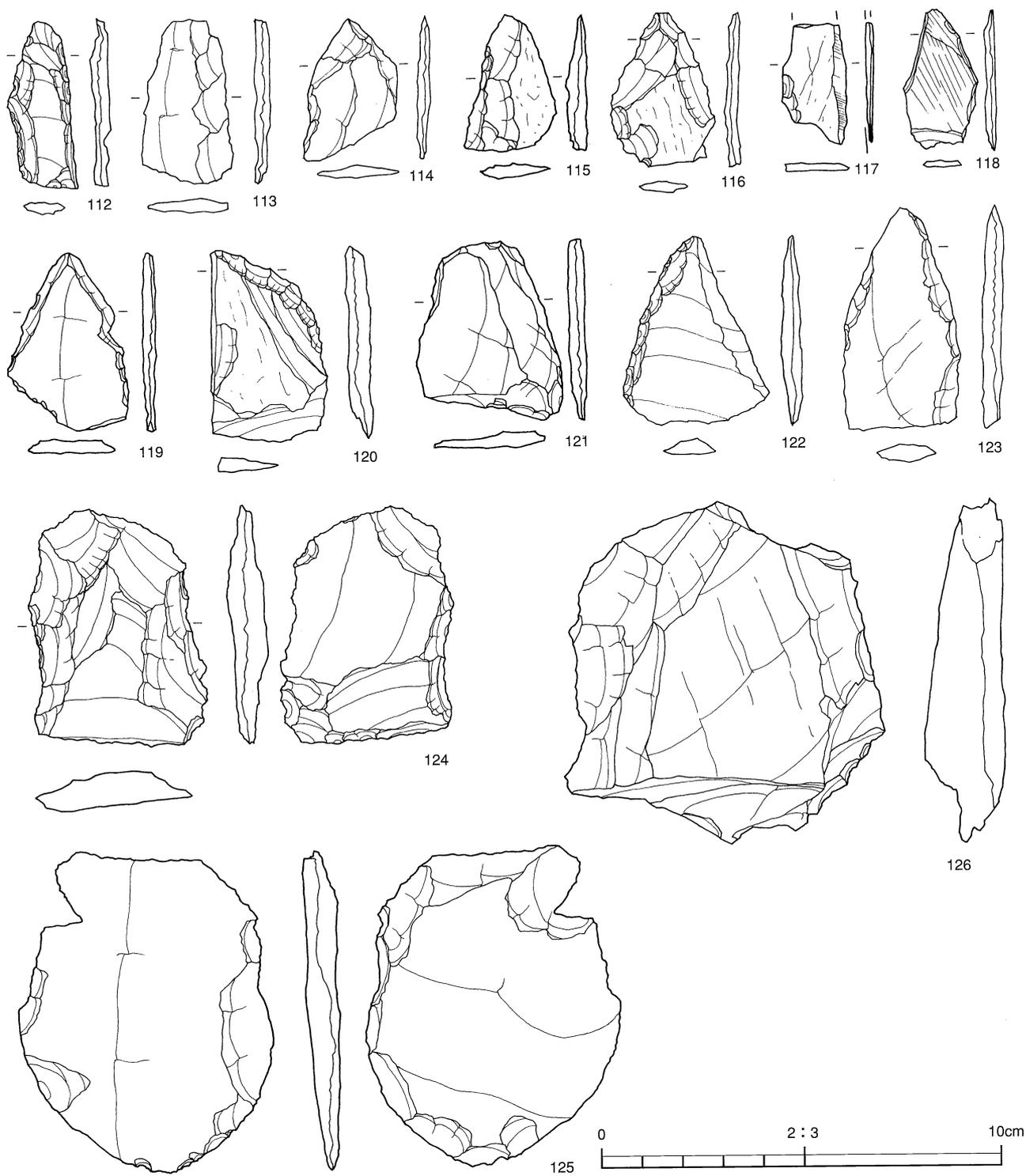
第48图 古城遺跡出土石器実測図(1)



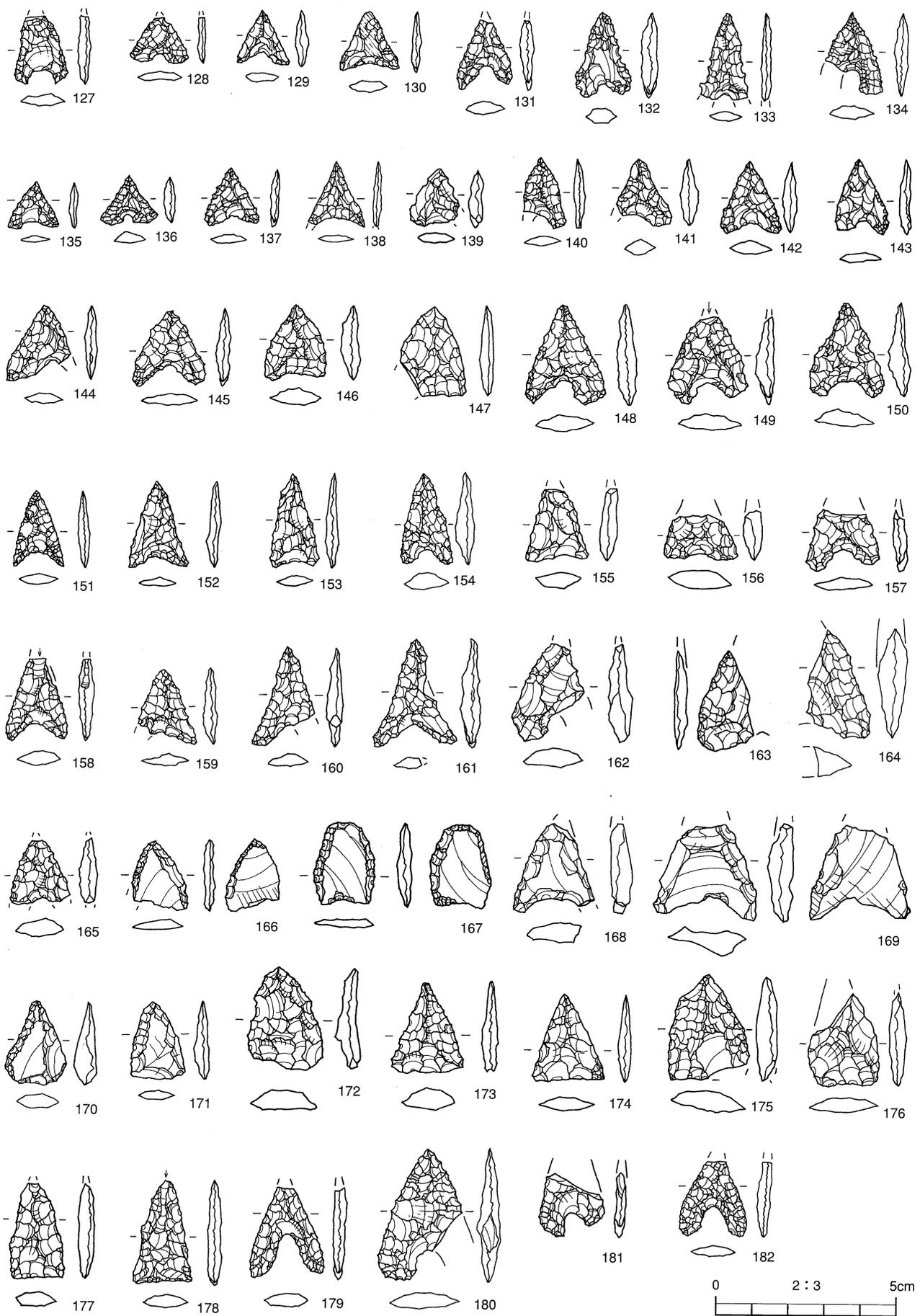
第49图 古城遺跡出土石器実測図 (2)



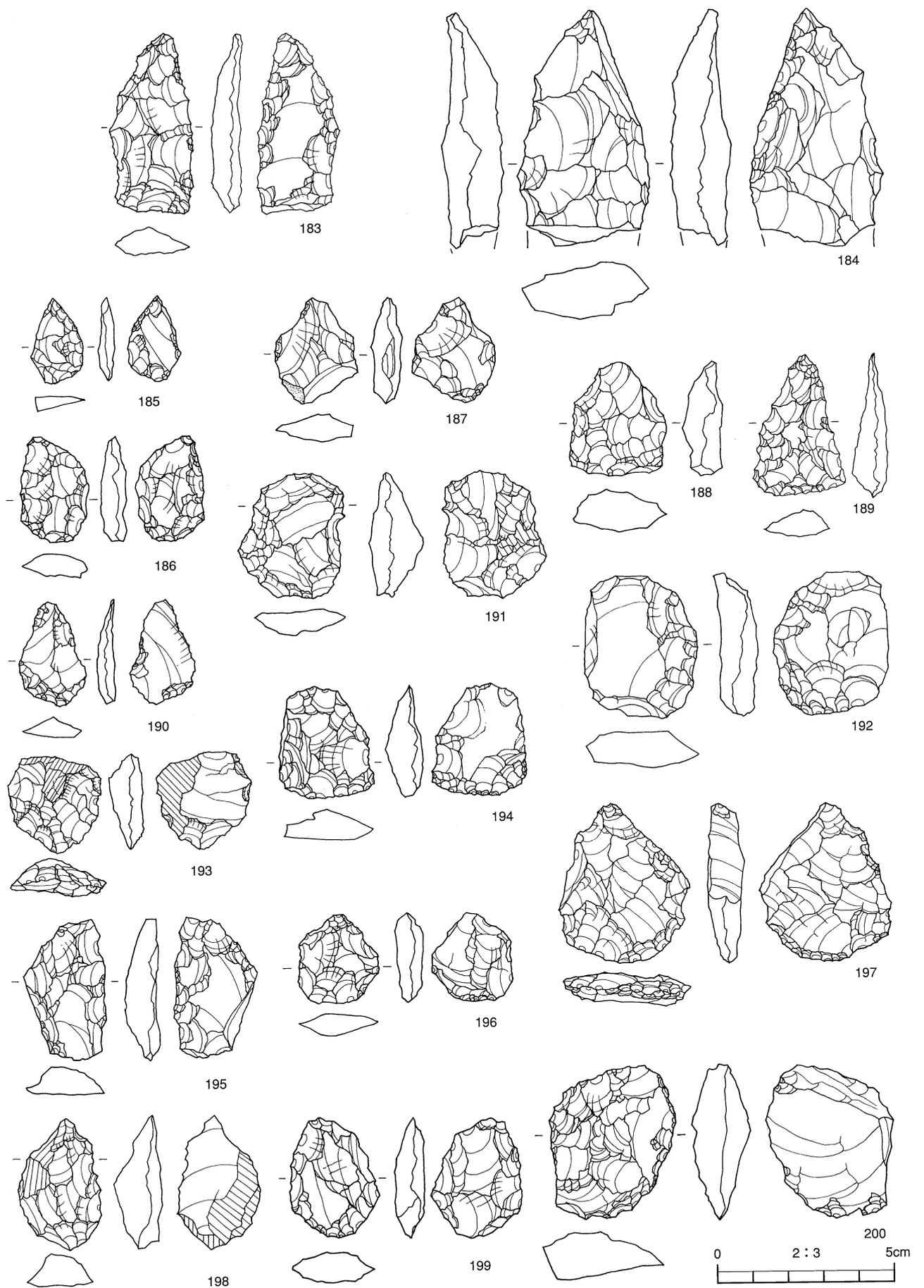
第50图 古城遺跡出土石器実測図 (3)



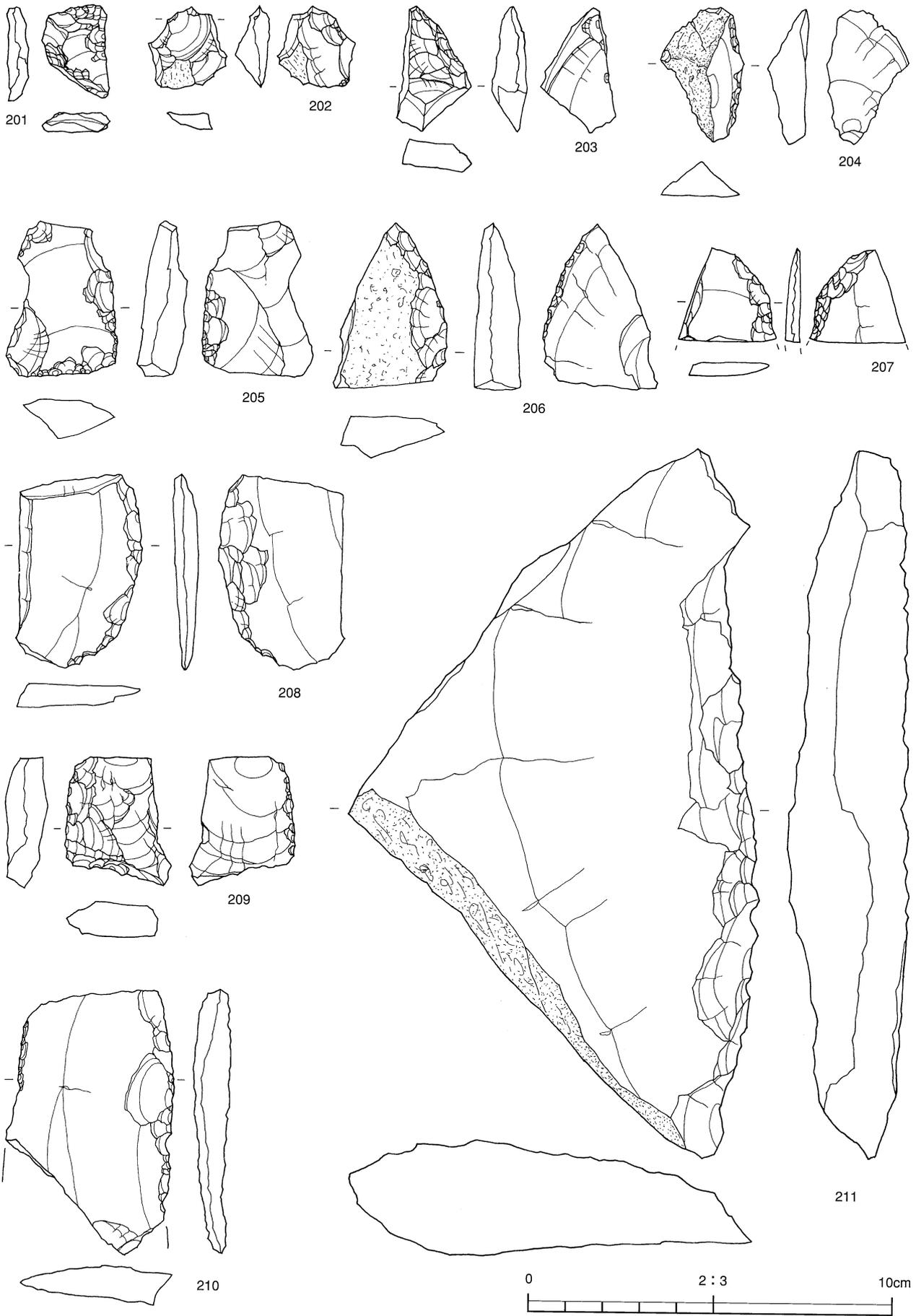
第51图 古城遺跡出土石器実測図(4)



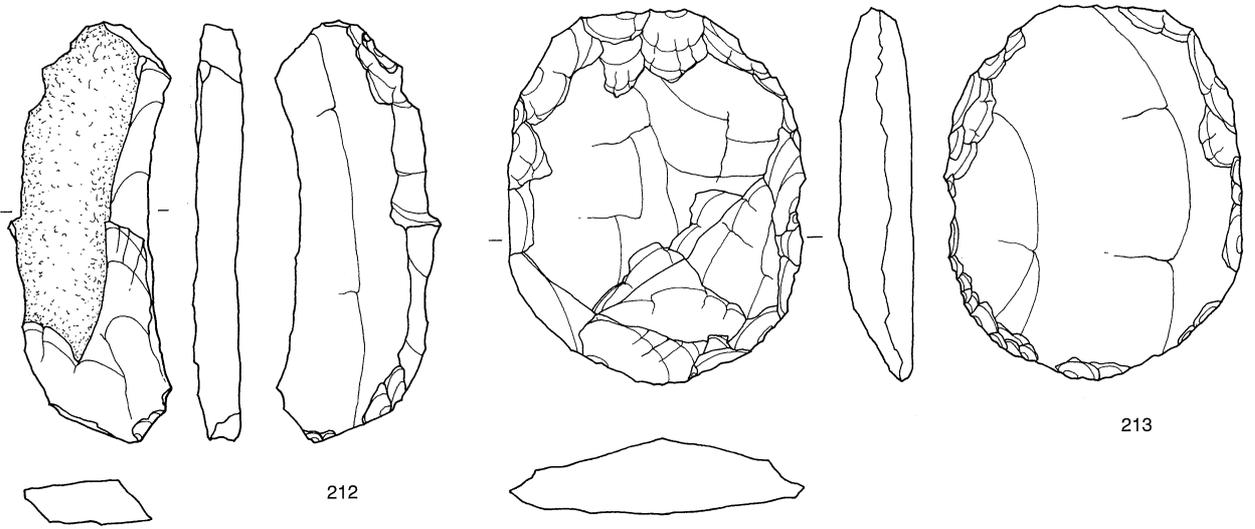
第52图 古城遗迹出土石器实测图(5)



第53图 古城遺跡出土石器実測図(6)

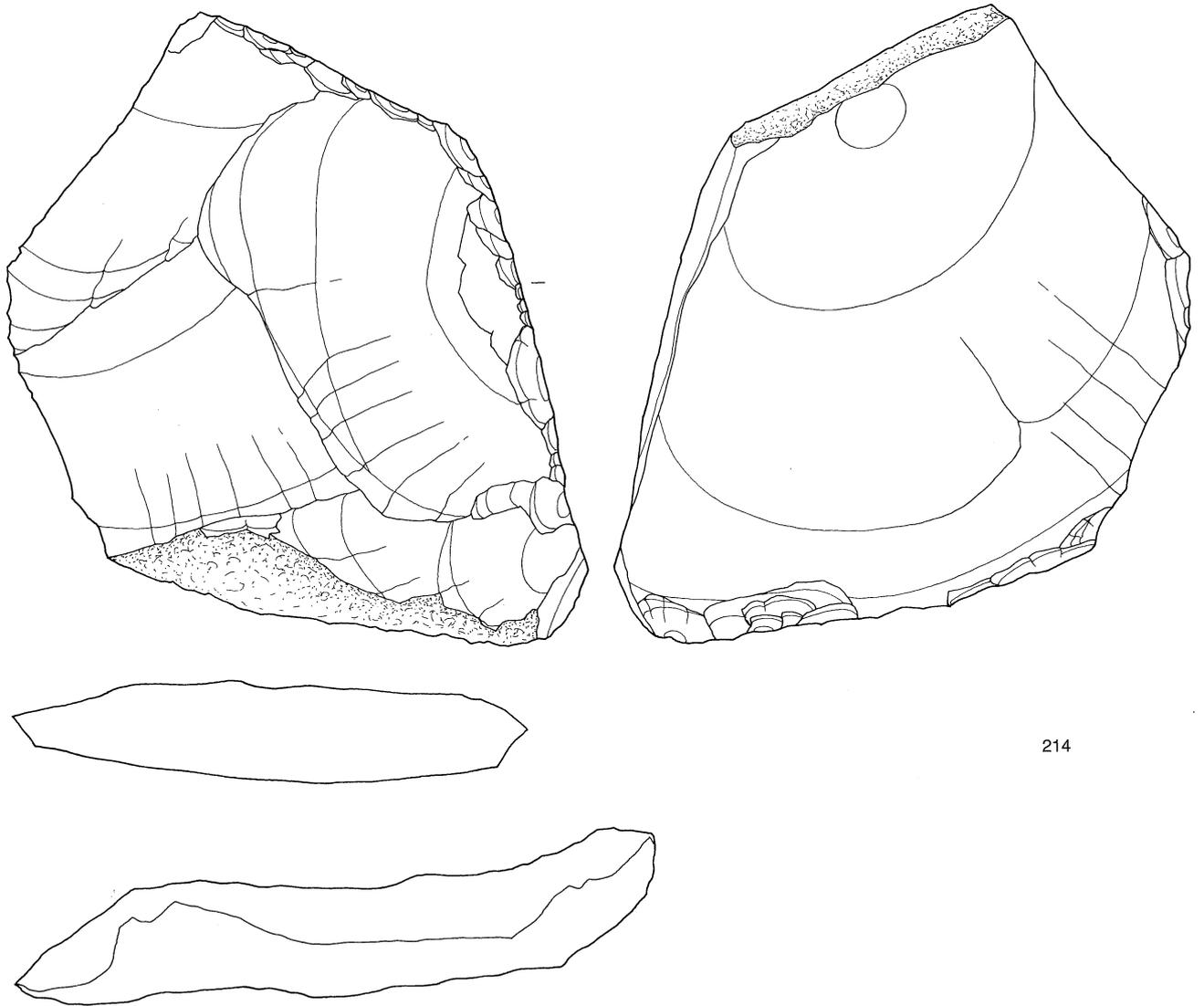


第54图 古城遺跡出土石器実測图 (7)

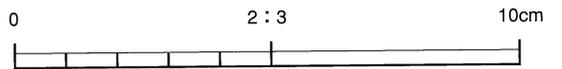


212

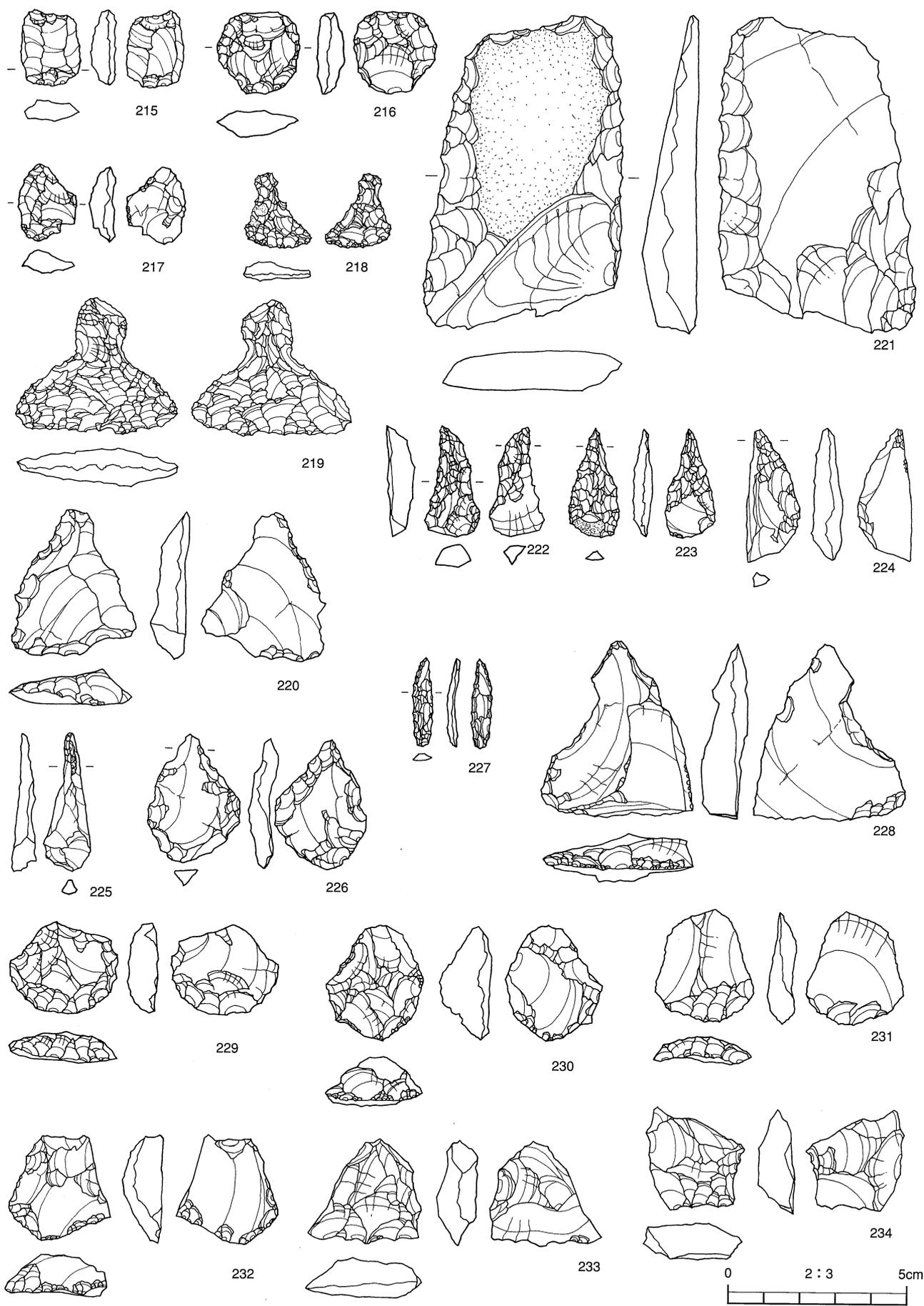
213



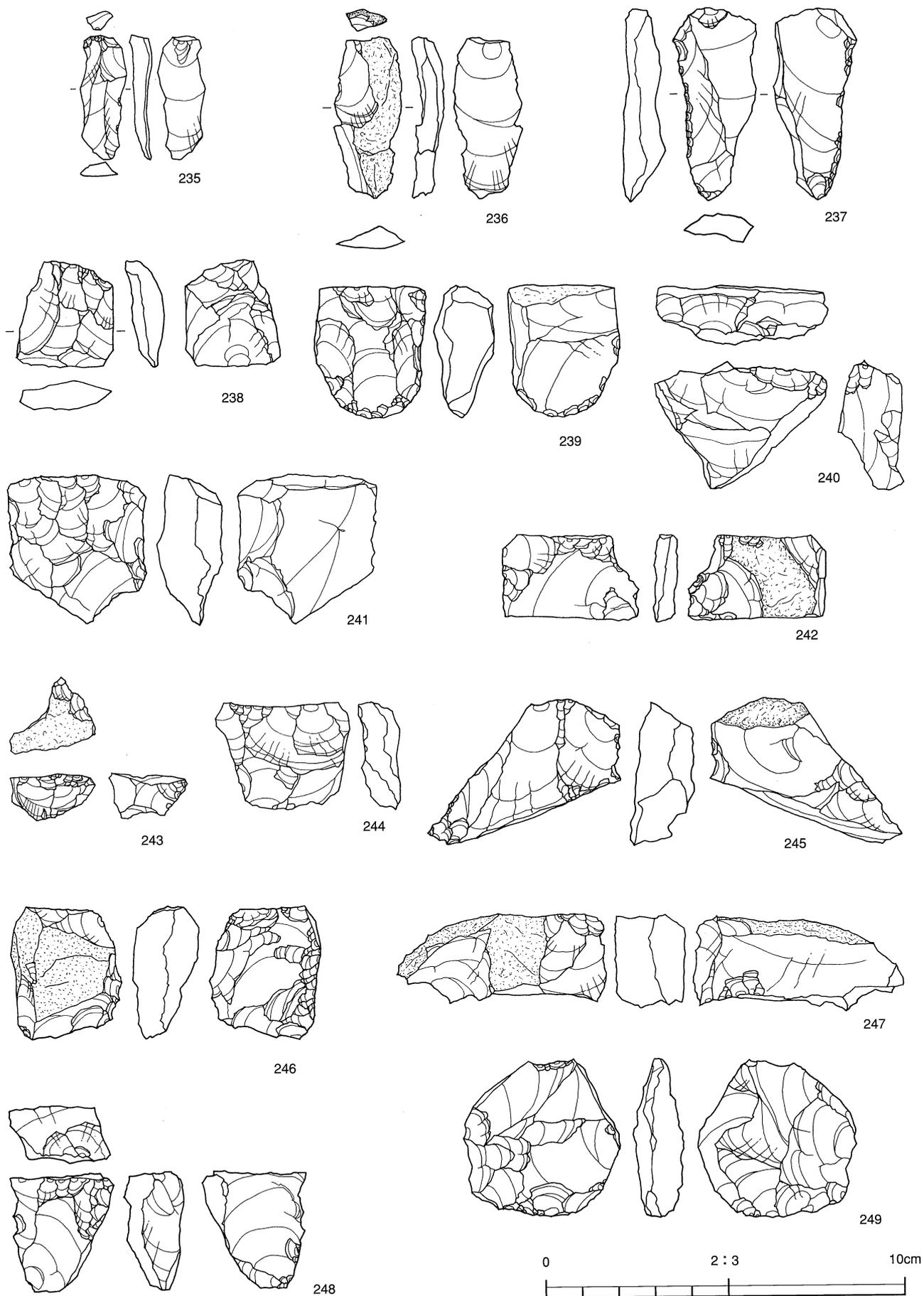
214



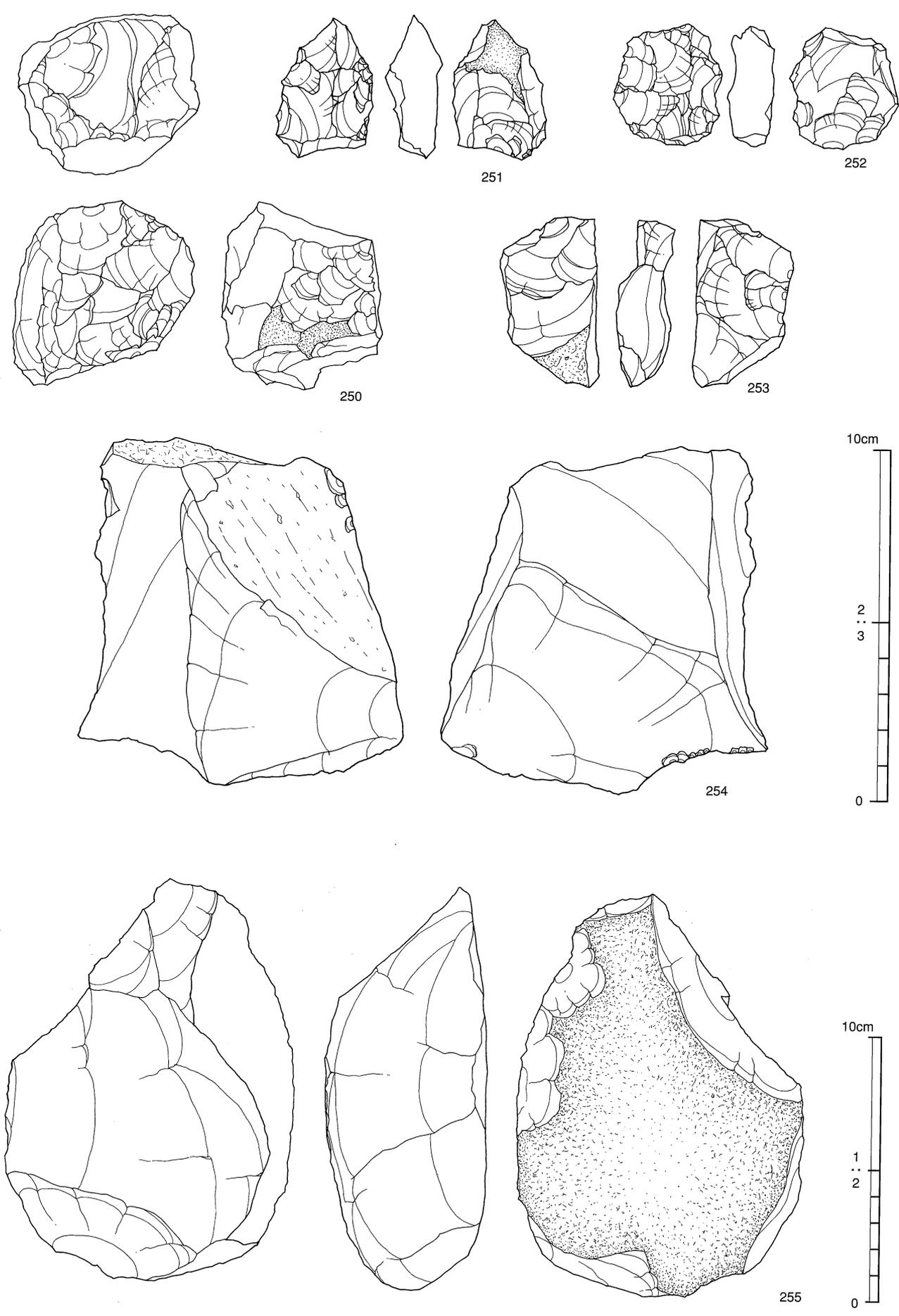
第55图 古城遺跡出土石器実測図(8)



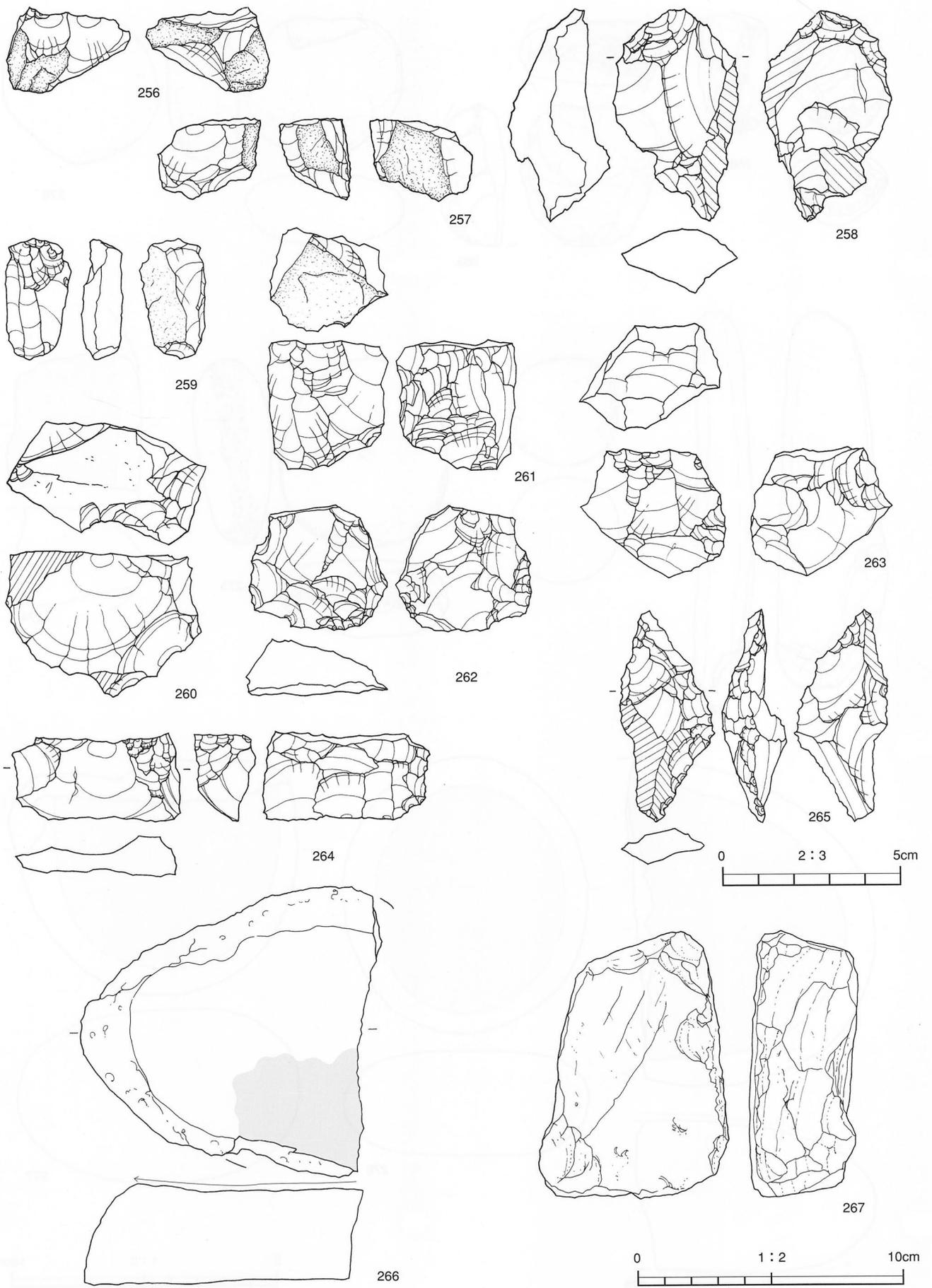
第56图 古城遺跡出土石器実測图 (9)



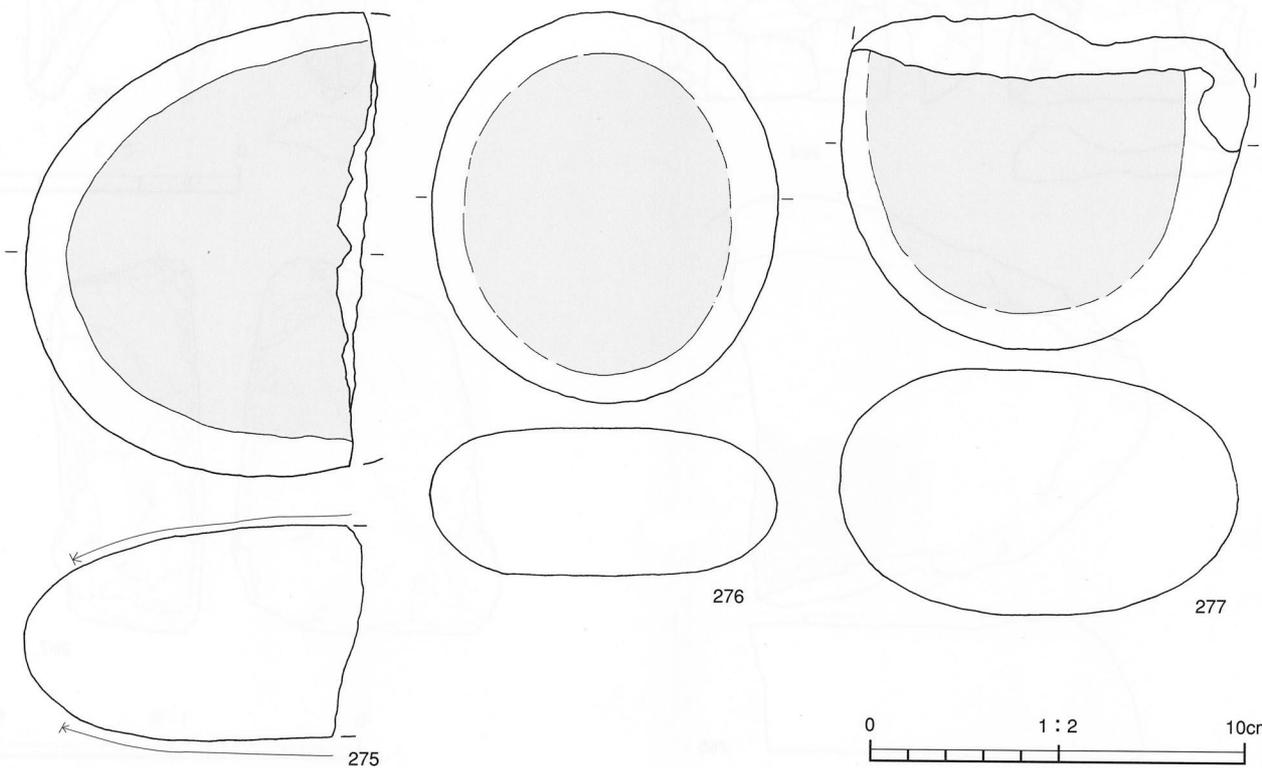
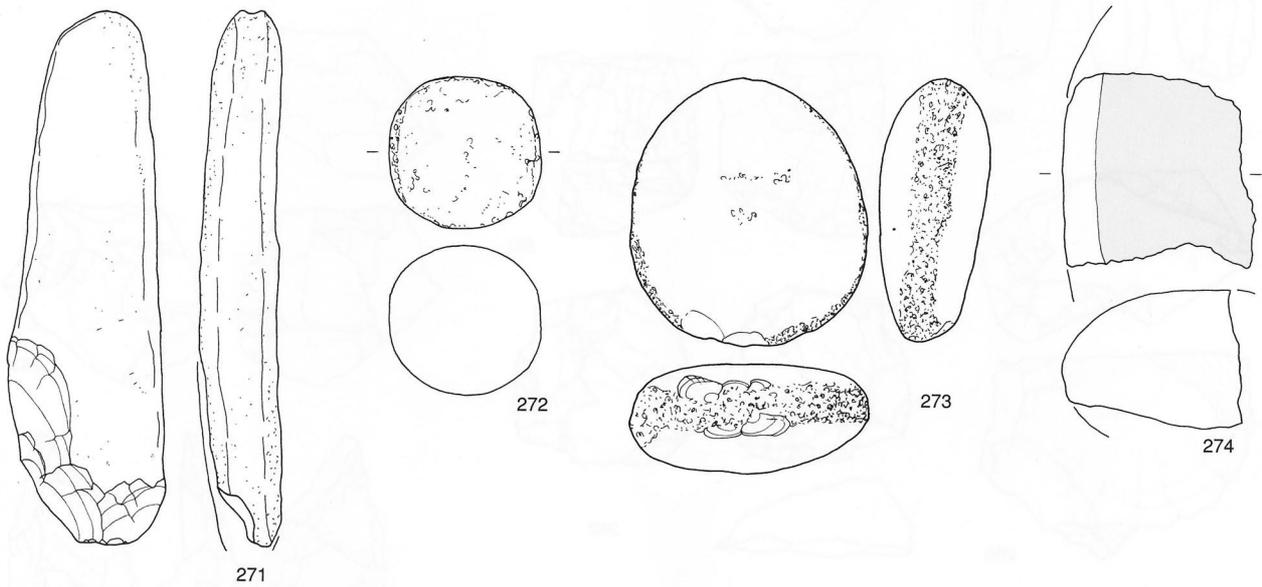
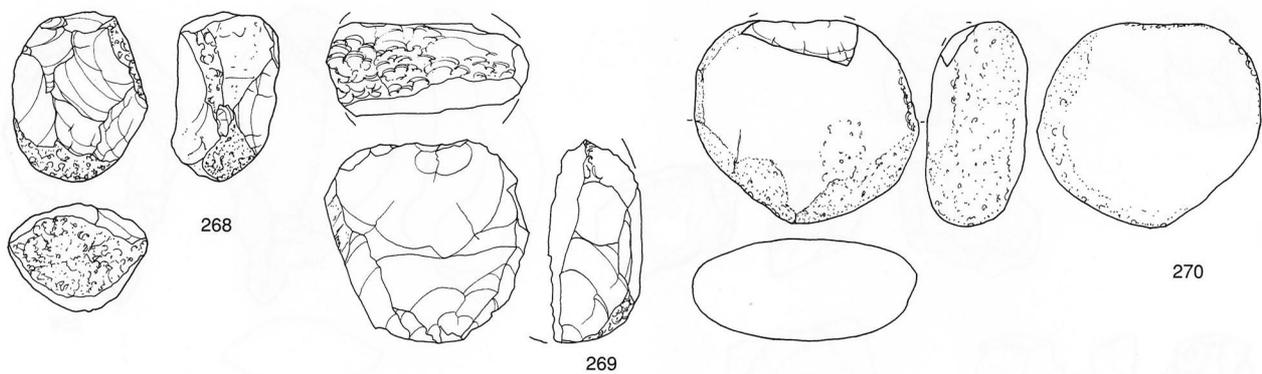
第57图 古城遺跡出土石器実測図（10）



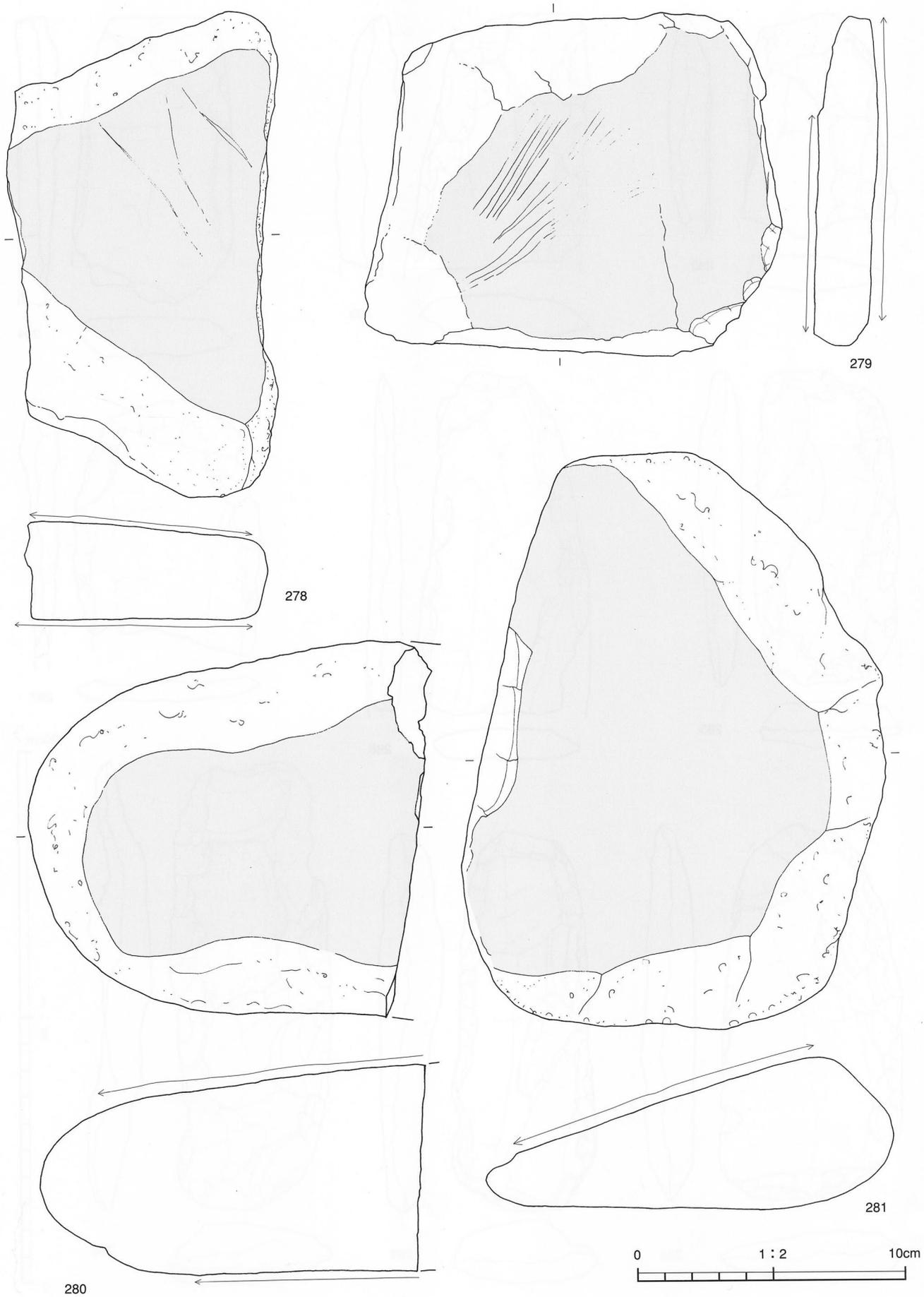
第58图 古城遺跡出土石器実測図(11)



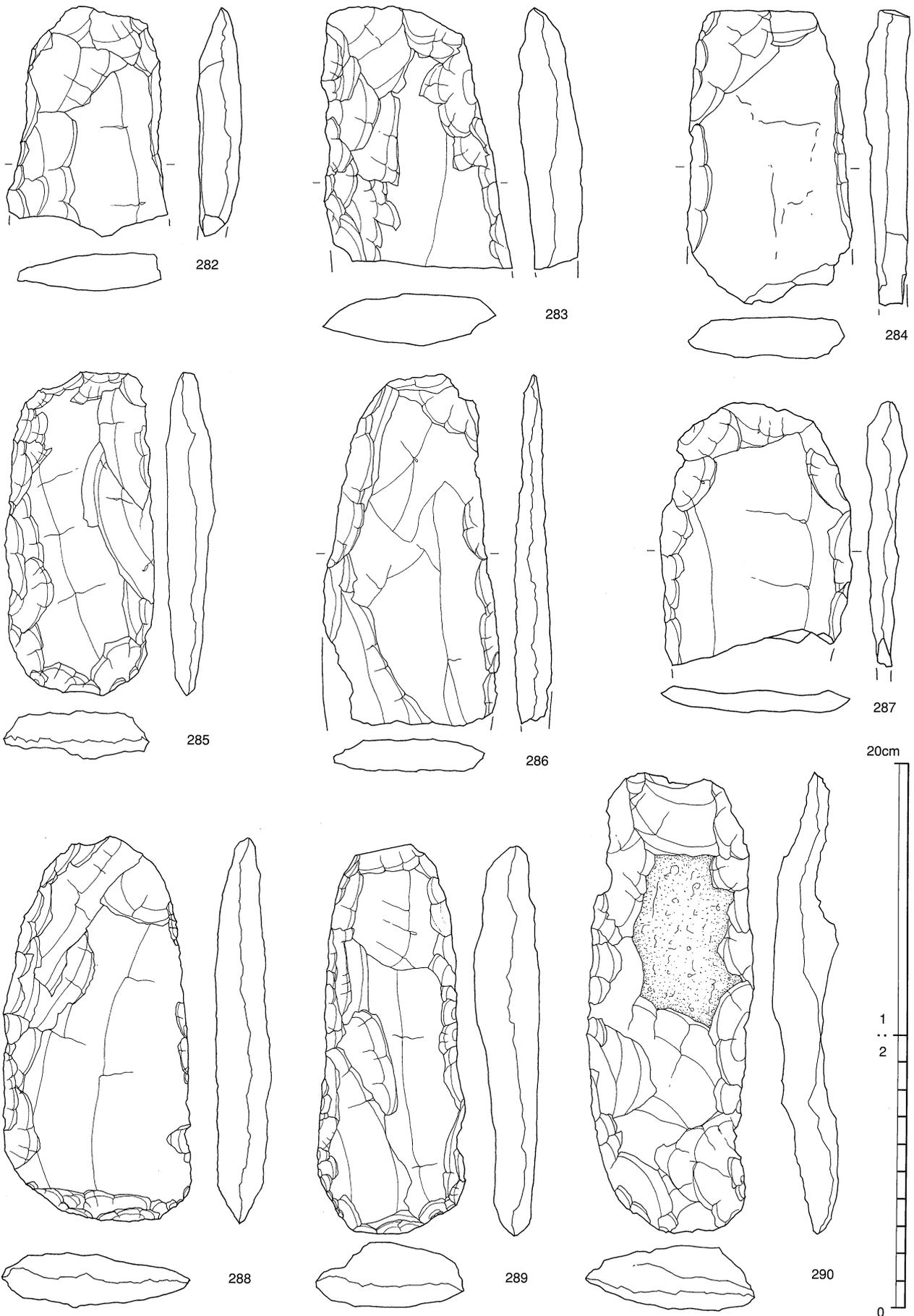
第59图 古城遺跡出土石器実測図（12）



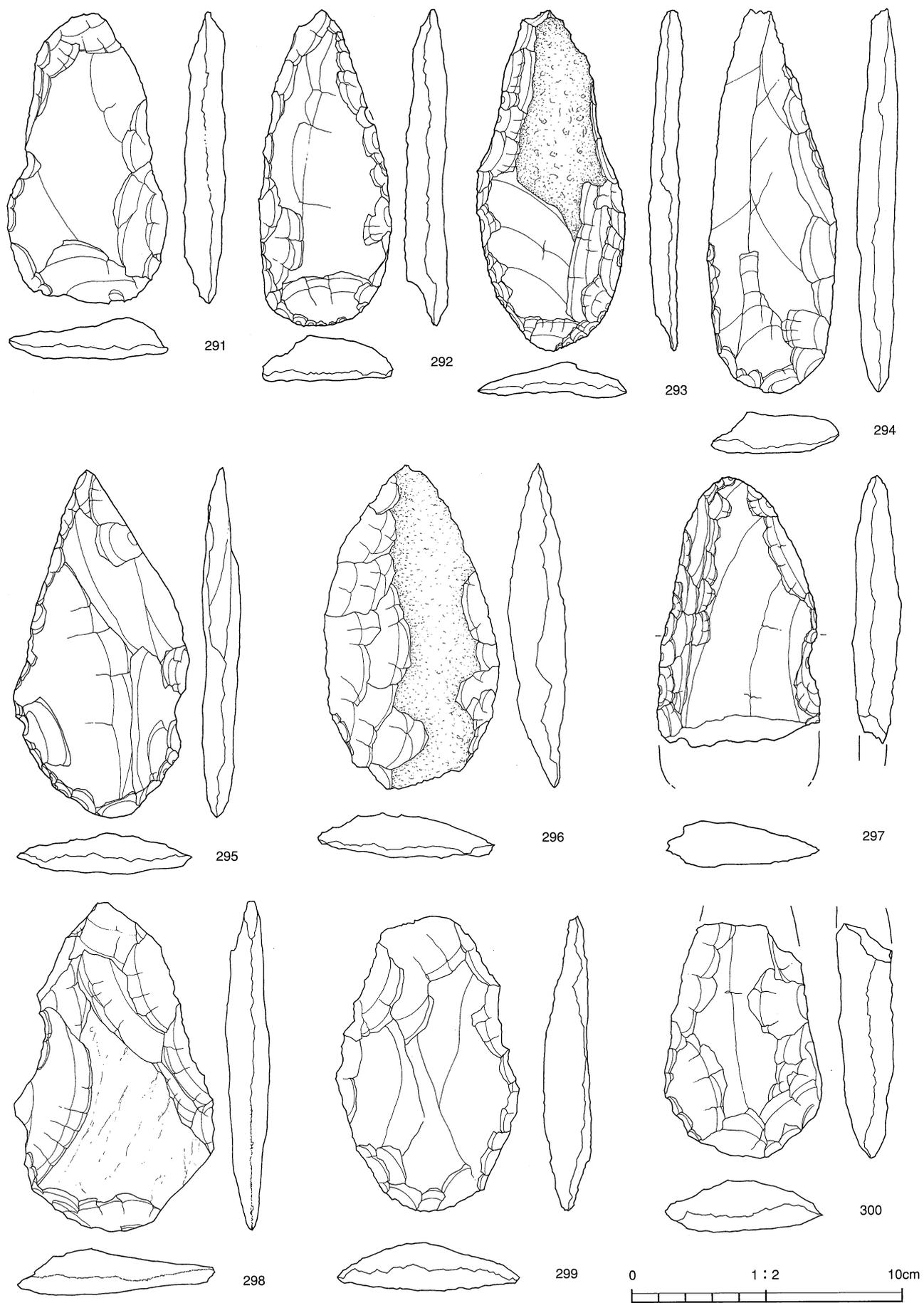
第60图 古城遺跡出土石器実測図 (13)



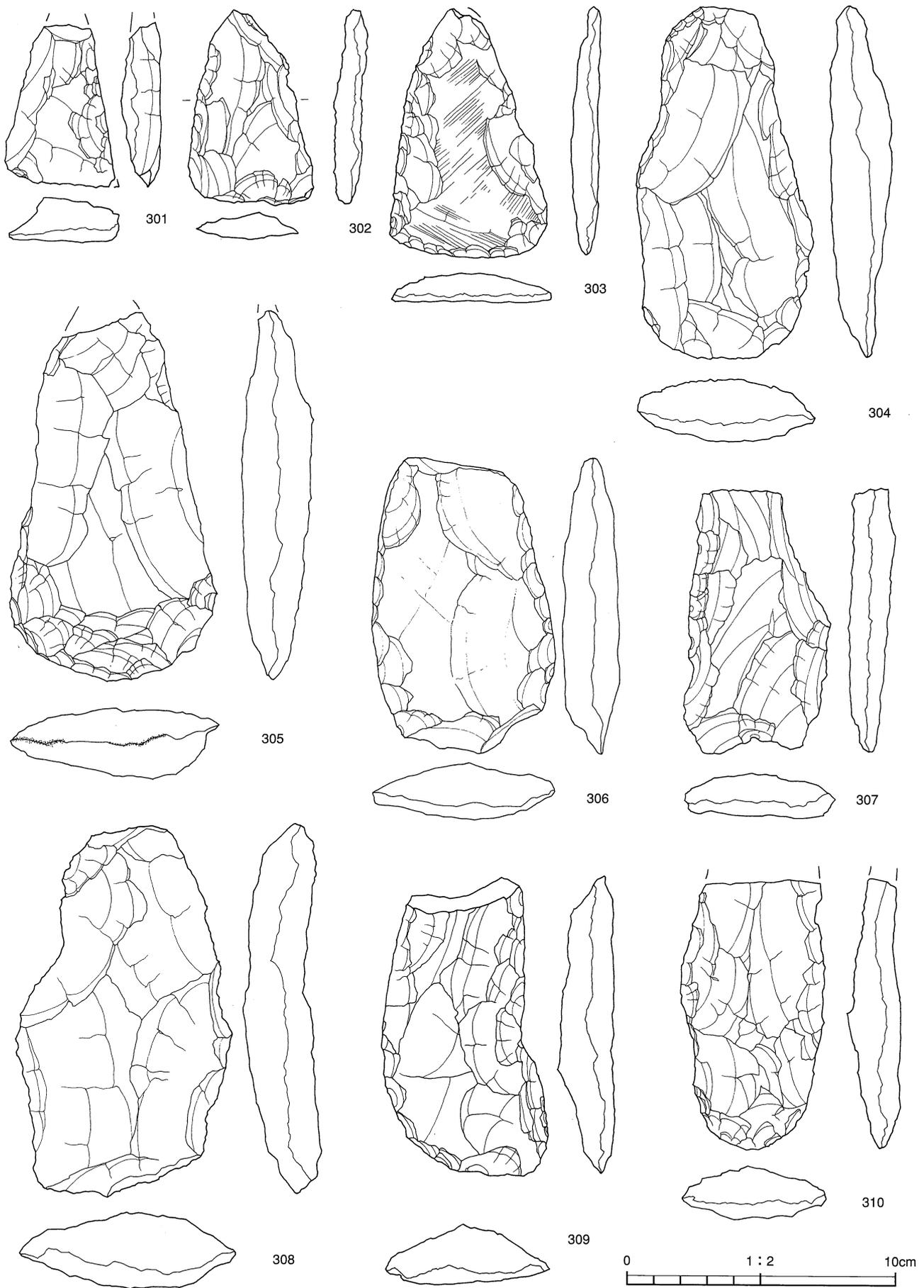
第61図 古城遺跡出土石器実測図（14）



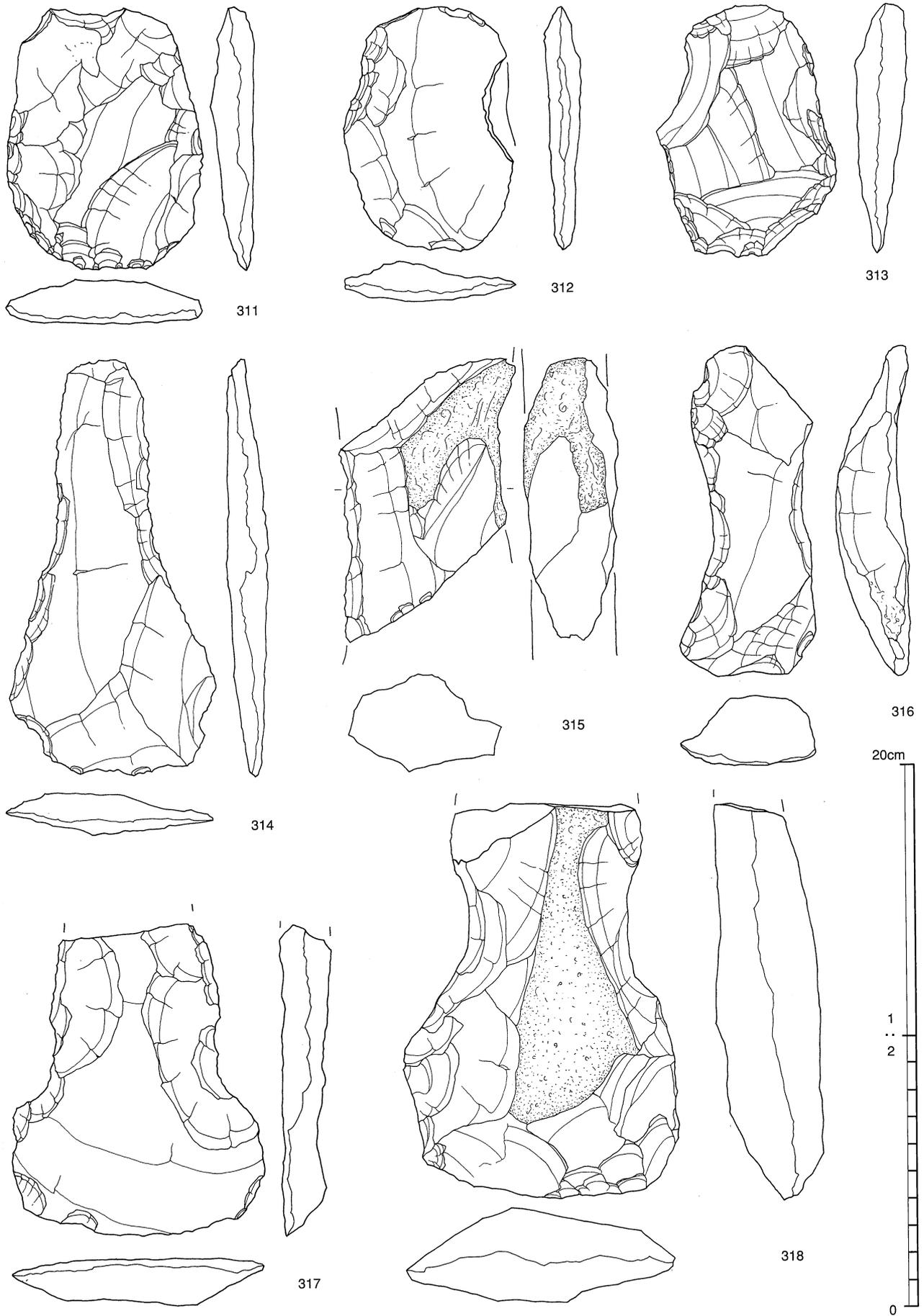
第62図 古城遺跡出土石器実測図 (15)



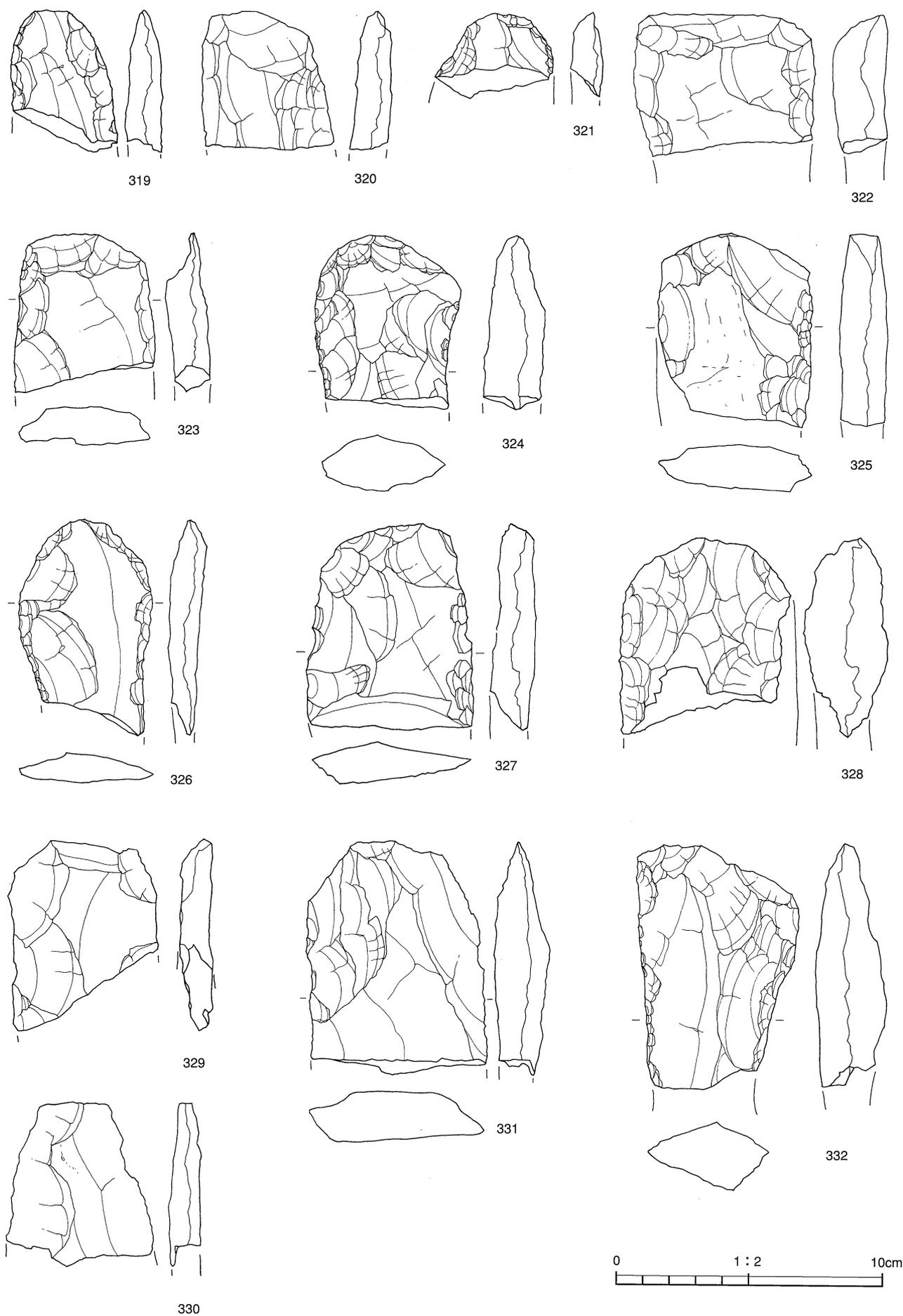
第63图 古城遺跡出土石器實測圖 (16)



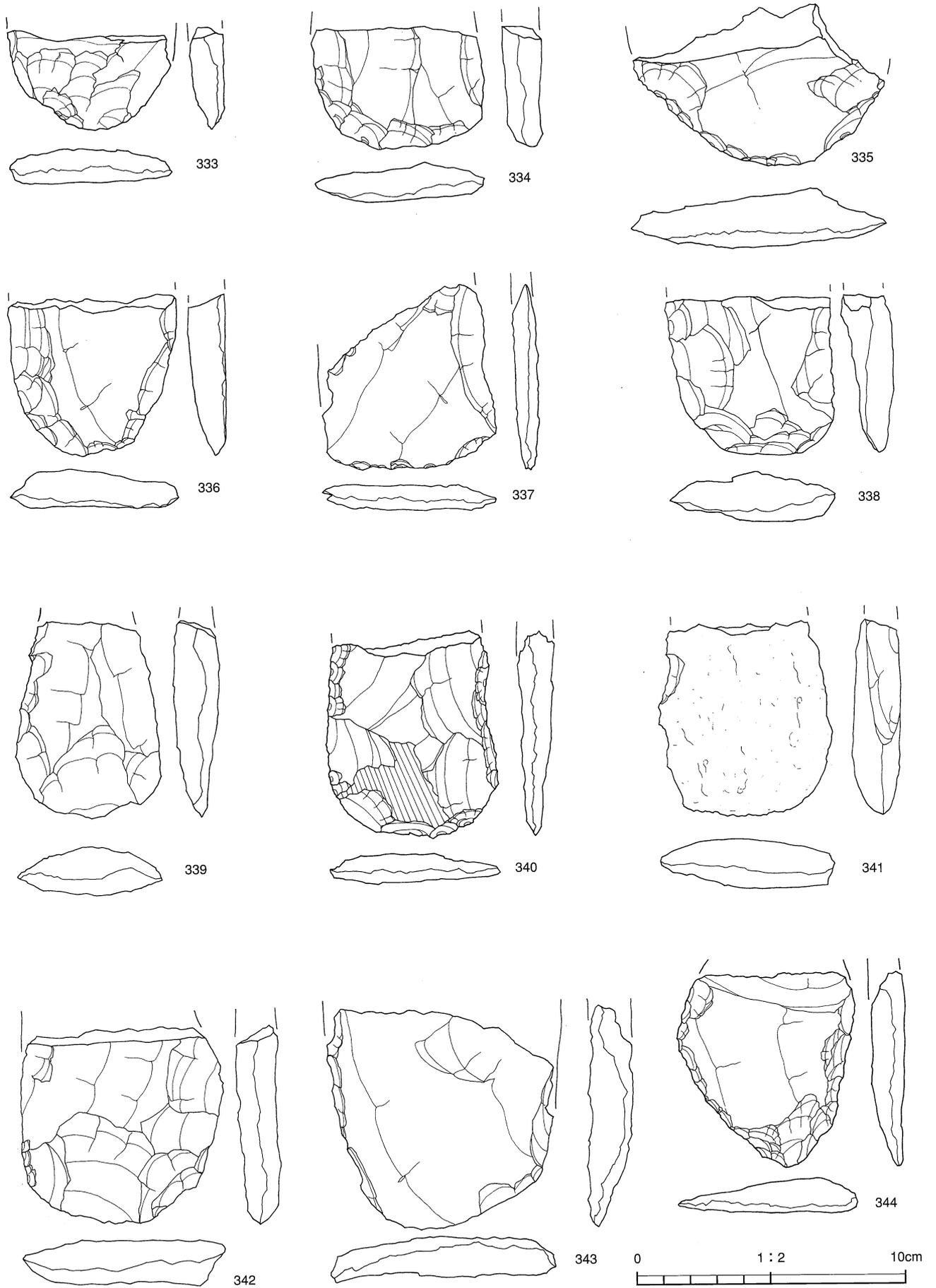
第64图 古城遺跡出土石器実測図 (17)



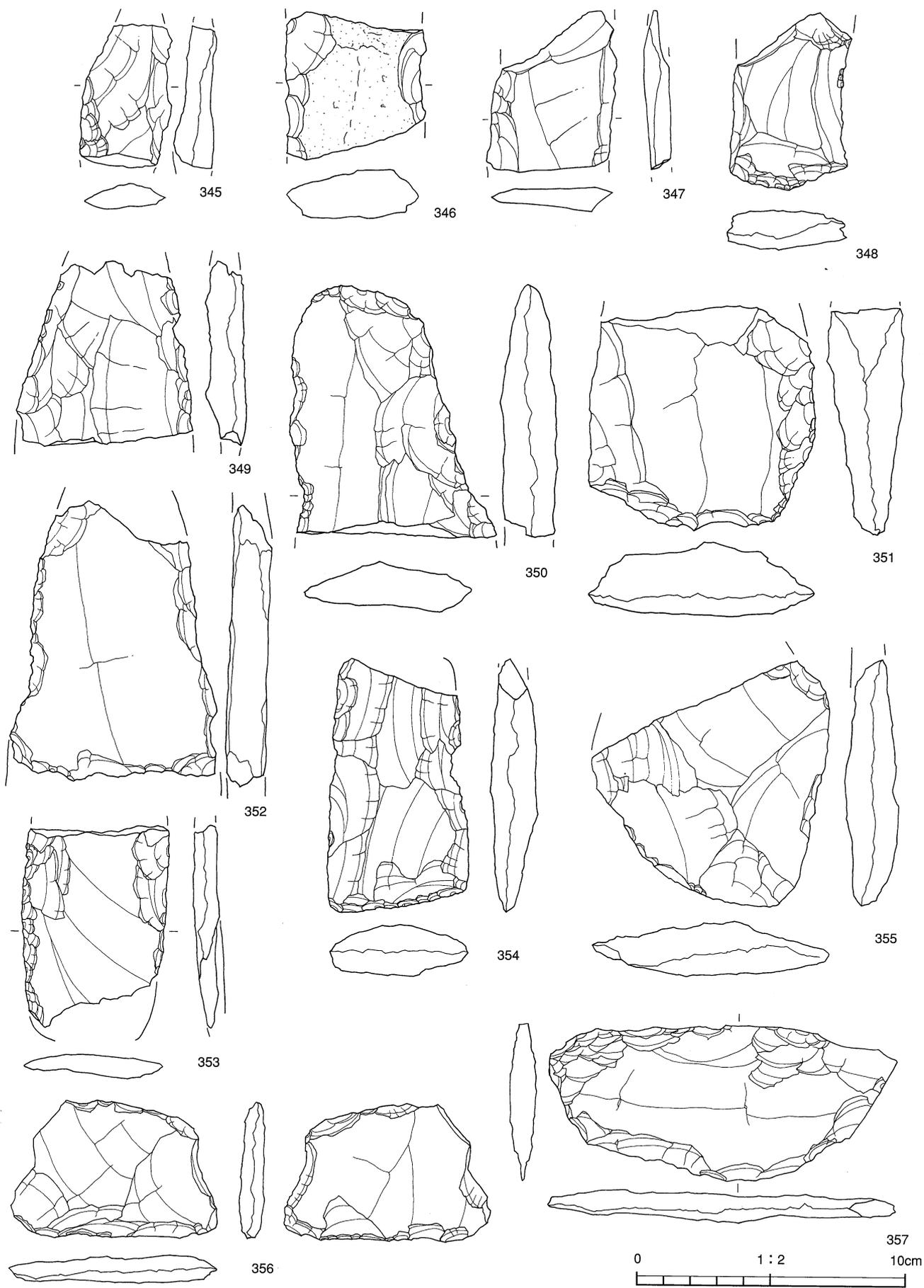
第65图 古城遺跡出土石器実測図 (18)



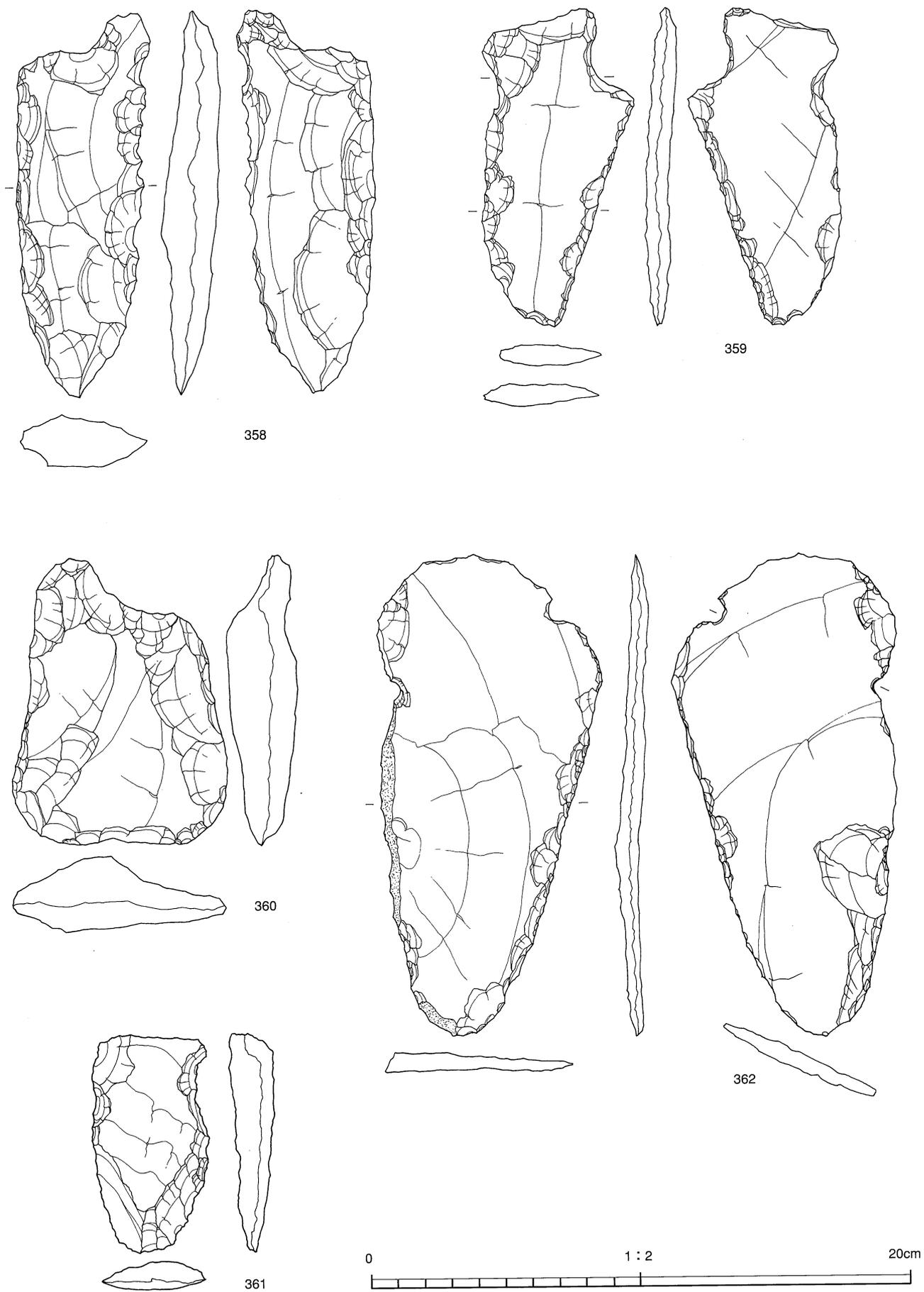
第66图 古城遺跡出土石器実測図 (19)



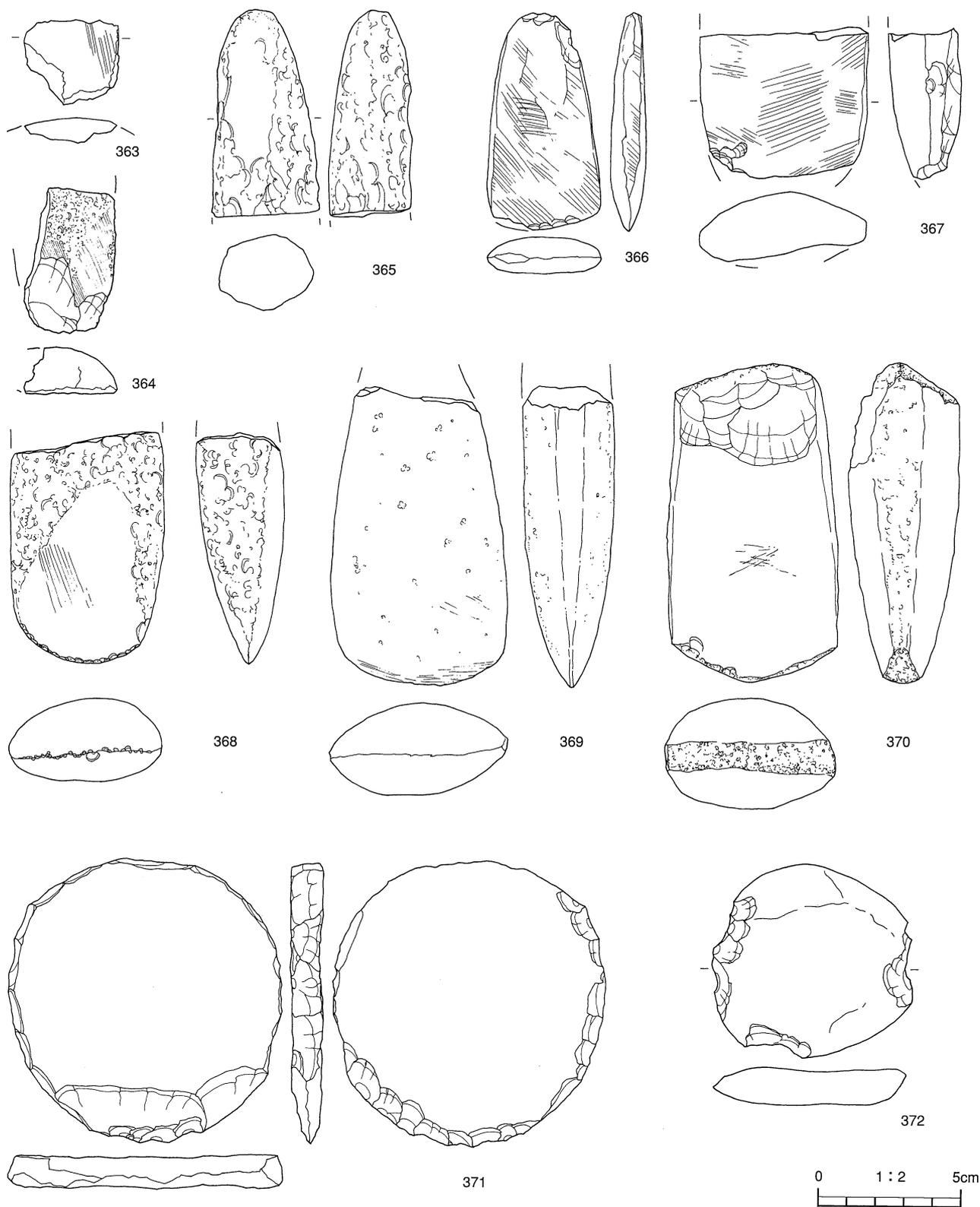
第67图 古城遺跡出土石器実測図 (20)



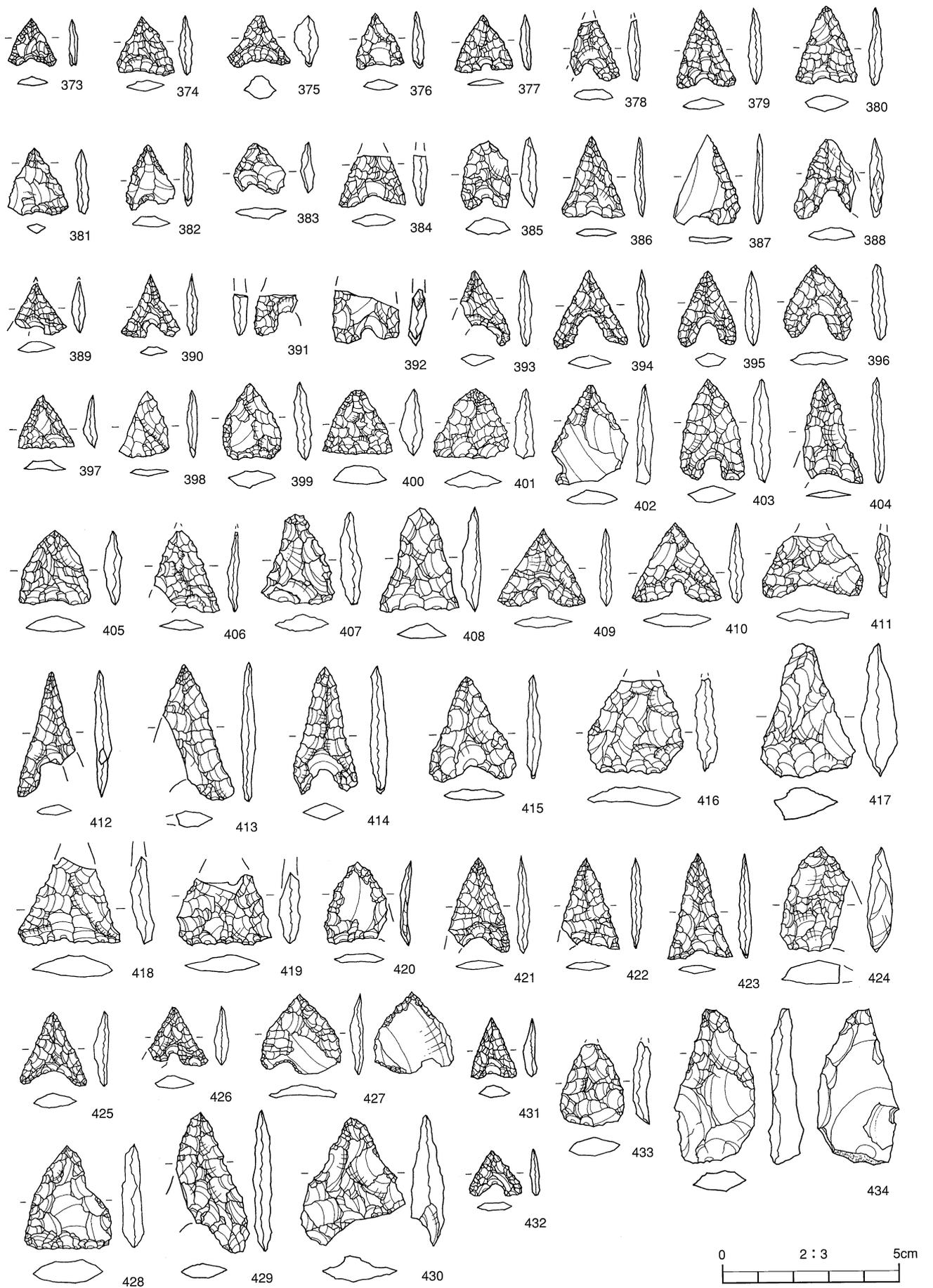
第68図 古城遺跡出土石器実測図 (21)



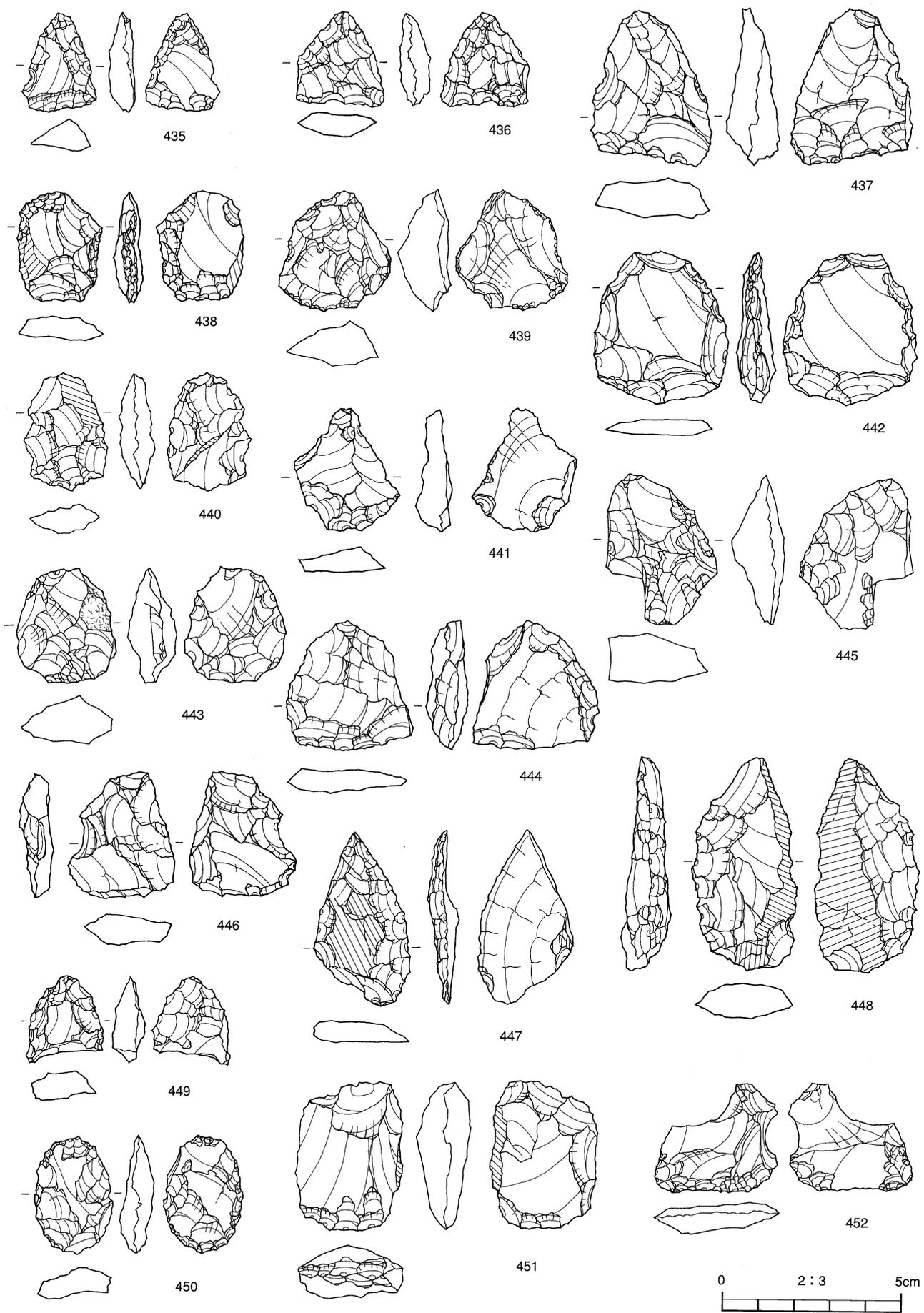
第69图 古城遺跡出土石器実測図 (22)



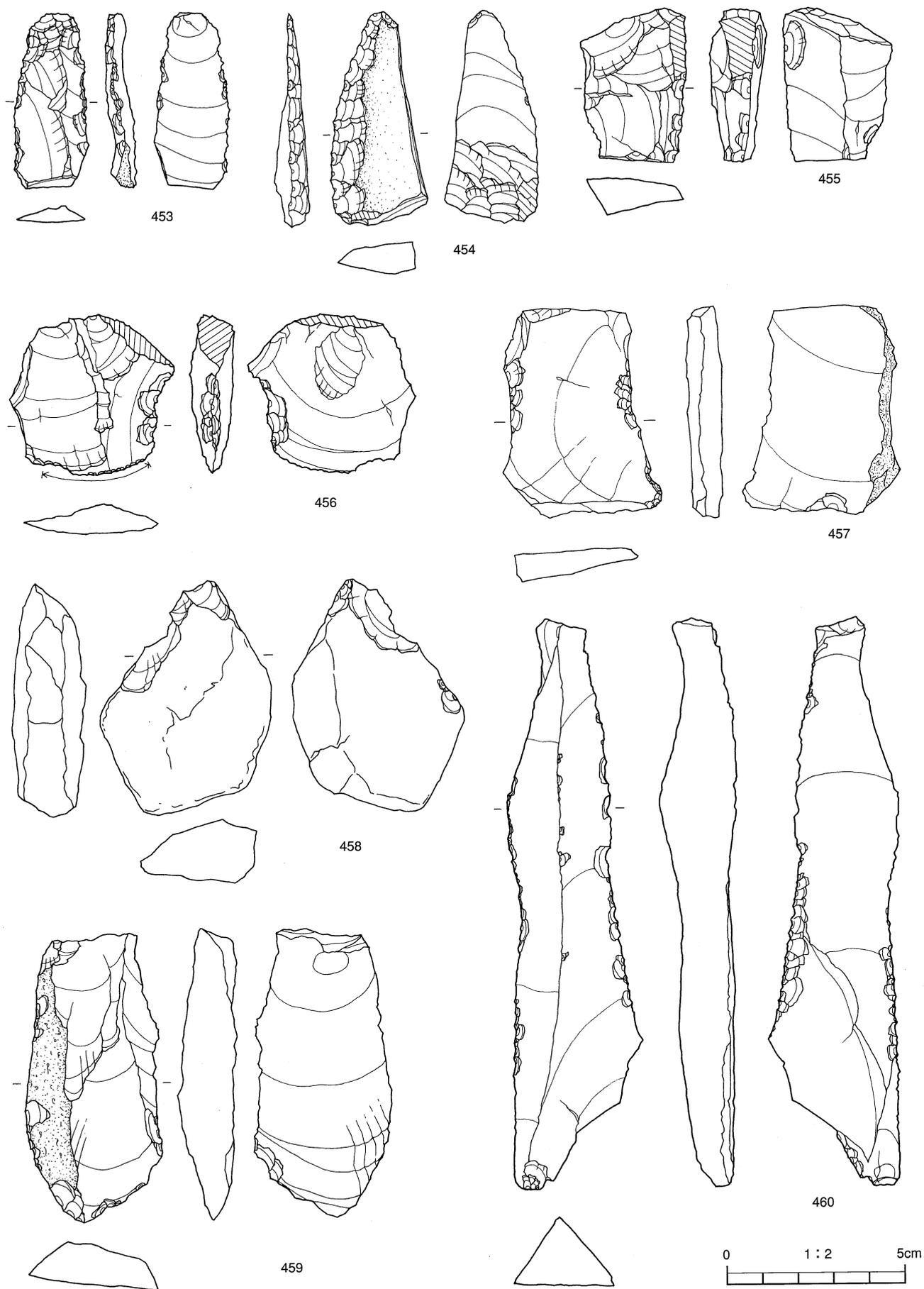
第70图 古城遗迹出土石器实测图 (23)



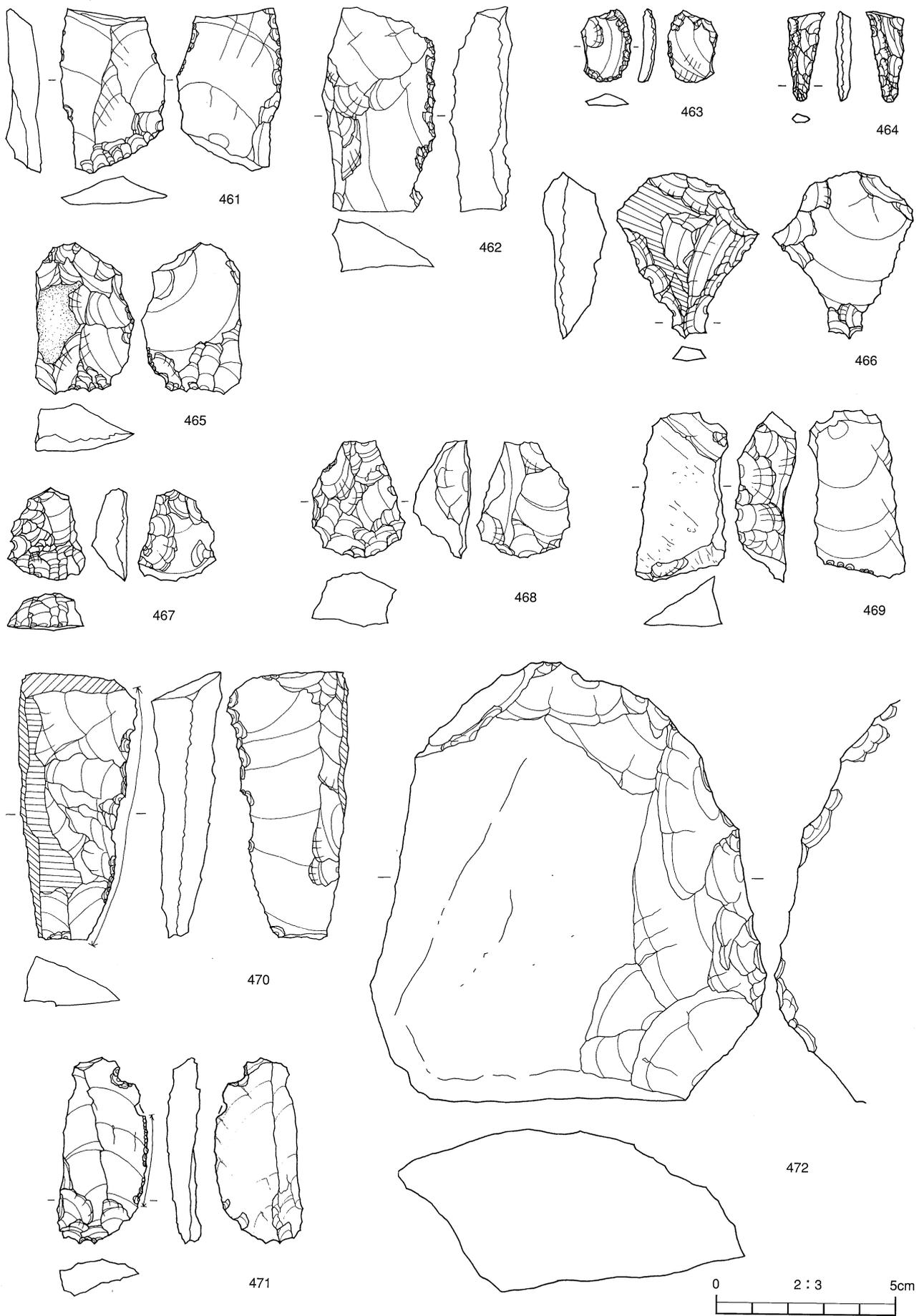
第71图 古城遺跡出土石器実測図 (24)



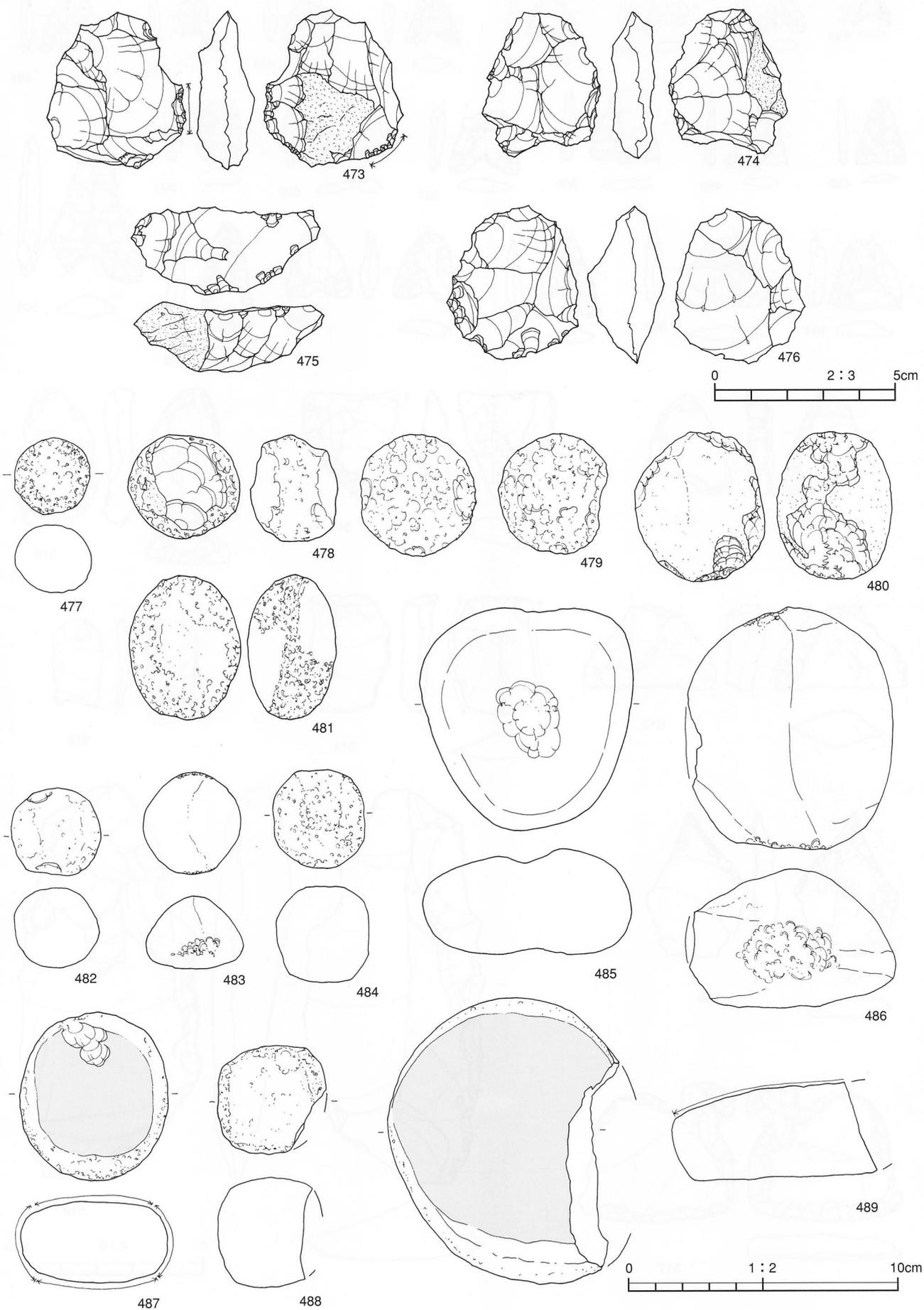
第72图 古城遺跡出土石器実測図 (25)



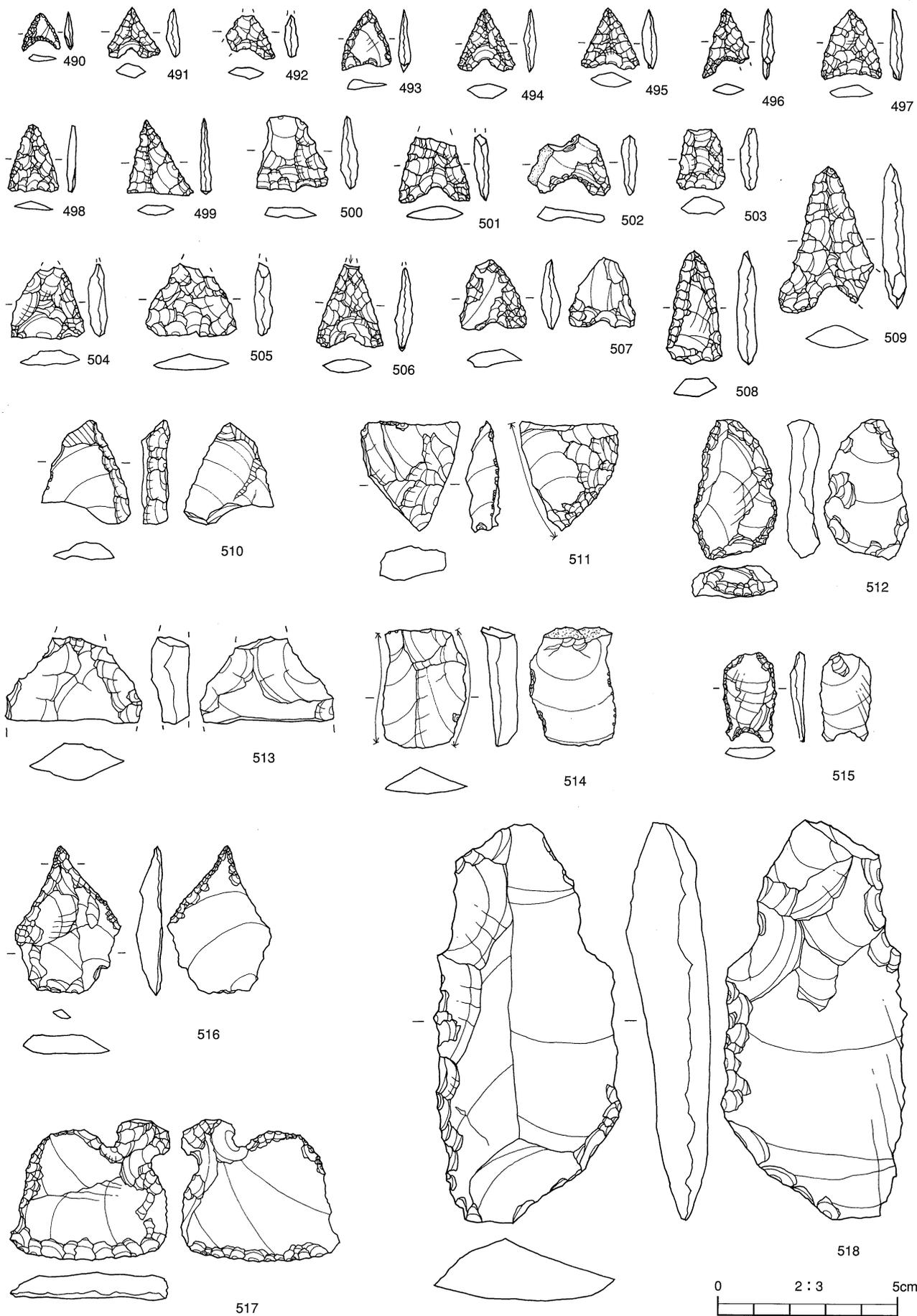
第73图 古城遗迹出土石器实测图 (26)



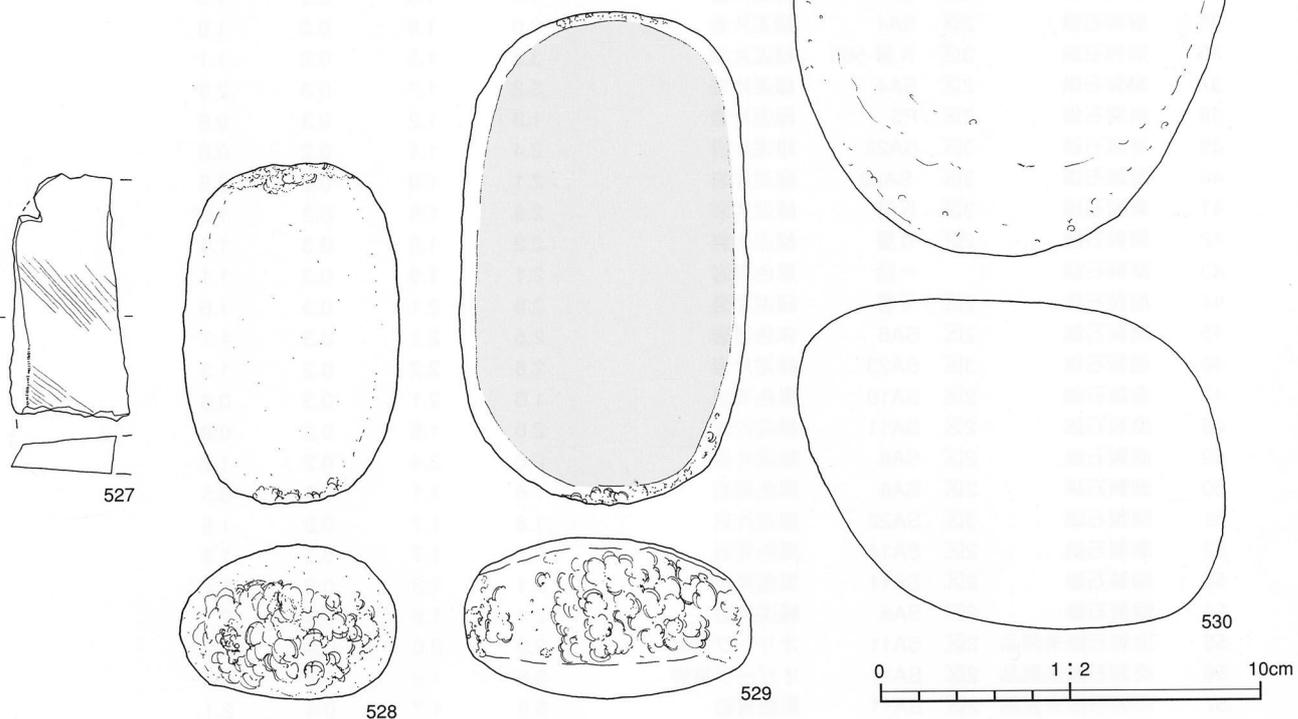
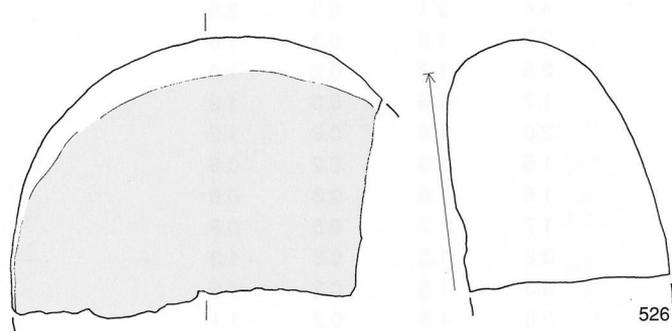
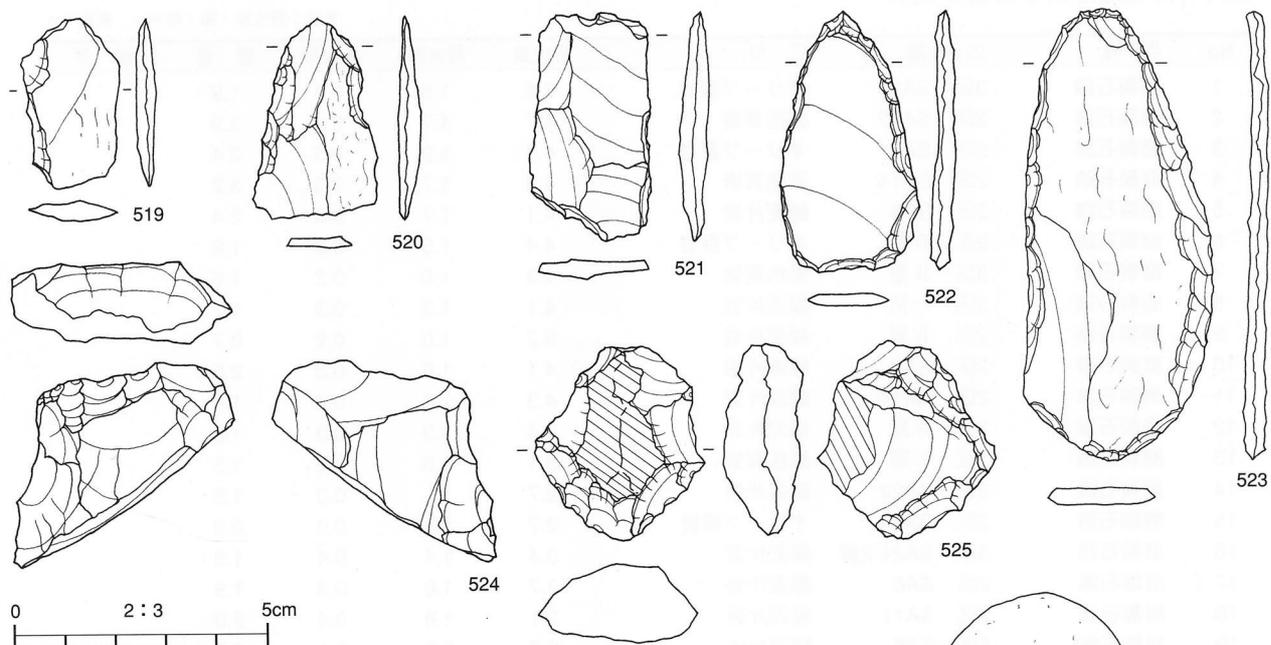
第74图 古城遺跡出土石器実測図 (27)



第75図 古城遺跡出土石器実測図 (28)



第76图 古城遺跡出土石器実測図 (29)



第77图 古城遺跡出土石器実測図 (30)

表14 古城遺跡出土石器計測表

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
1	磨製石鏃	3区 SA21	オリーブ頁岩	3.8	1.5	0.4	1.9	
2	磨製石鏃	2区 SA12	赤色頁岩	4.7	1.7	0.4	3.9	
3	磨製石鏃	2区 SA6	オリーブ頁岩	4.3	1.9	0.3	2.4	
4	磨製石鏃	2区 SA14	黒色頁岩	4.8	1.7	0.3	3.2	
5	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	4.1	1.7	0.3	2.4	
6	磨製石鏃	2区 IV層	オリーブ頁岩	4.4	1.5	0.2	1.6	
7	磨製石鏃	2区 IV層	黒色頁岩	4.3	1.9	0.2	1.6	
8	磨製石鏃	3区 一括	緑泥片岩	4.1	1.3	0.3	1.7	
9	磨製石鏃	2区 IV層	緑泥片岩	3.2	1.0	0.2	0.7	
10	磨製石鏃	2区 SA9	緑泥片岩	4.1	1.6	0.3	2.5	
11	磨製石鏃	2区 SA14	緑泥片岩	4.3	1.4	0.3	1.9	
12	磨製石鏃	2区 IV層	緑泥片岩	3.4	1.3	0.3	1.8	
13	磨製石鏃	3区 IV層	黒色頁岩	3.1	1.5	0.3	1.5	
14	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	2.7		0.3	1.3	
15	磨製石鏃	2区 SA14	オリーブ頁岩	2.7	1.4	0.3	0.9	
16	磨製石鏃	3区 SA24-2層	緑泥片岩	3.4	1.4	0.4	1.9	
17	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	3.7	1.6	0.3	1.9	
18	磨製石鏃	2区 SA11	緑泥片岩	3.1	1.8	0.4	2.0	
19	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	0.9	1.0	0.1	0.3	
20	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	1.8	1.8	0.2	0.8	
21	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	1.0	1.0	0.1	0.1	
22	磨製石鏃	一括	緑泥片岩	2.1	1.5	0.2	0.9	
23	磨製石鏃	2区 一括	緑泥片岩	4.4	2.1	0.3	3.5	
24	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	2.2	1.5	0.3	1.0	
25	磨製石鏃	2区 SA11	黒色頁岩	2.5	1.7	0.2	1.0	
26	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	1.7	1.6	0.3	1.2	
27	磨製石鏃	2区 SA18	緑泥片岩	2.0	1.6	0.3	1.2	
28	磨製石鏃	2区 SA10	黒色頁岩	1.5	1.3	0.2	0.6	
29	磨製石鏃	2区 SA11	オリーブ頁岩	1.6	1.6	0.3	0.9	
30	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	1.7	1.7	0.3	0.8	
31	磨製石鏃	3区 IV層	緑泥片岩	3.2	1.5	0.3	1.3	
32	磨製石鏃	2区 SA14	黒色頁岩	3.5	1.6	0.2	1.6	
33	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	2.6	1.3	0.2	1.1	
34	磨製石鏃	2区 SA14	緑泥片岩	3.3	1.8	0.2	1.5	
35	磨製石鏃	2区 SA4	緑泥片岩	3.0	1.9	0.2	1.8	
36	磨製石鏃	3区 IV層-565	緑泥片岩	3.3	1.5	0.2	1.1	
37	磨製石鏃	2区 SA4	緑泥片岩	3.2	1.7	0.3	2.3	
38	磨製石鏃	2区 P5	緑泥片岩	1.9	1.2	0.3	0.8	
39	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	2.4	1.1	0.2	0.6	
40	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	2.1	1.0	0.3	0.5	
41	磨製石鏃	3区 IV層	緑泥片岩	2.8	1.6	0.3	1.2	
42	磨製石鏃	2区 VII層	緑泥片岩	2.2	1.6	0.3	1.4	
43	磨製石鏃	一括	黒色頁岩	2.1	1.5	0.3	1.1	
44	磨製石鏃	2区 VI層	緑泥片岩	2.6	2.1	0.3	1.6	
45	磨製石鏃	2区 SA6	赤色頁岩	2.5	2.1	0.3	1.7	
46	磨製石鏃	3区 SA23	緑泥片岩	2.6	2.2	0.2	1.3	
47	磨製石鏃	2区 SA10	黒色頁岩	1.3	2.1	0.3	0.8	
48	磨製石鏃	2区 SA11	緑泥片岩	2.0	1.8	0.2	0.8	
49	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	2.0	2.4	0.2	1.2	
50	磨製石鏃	2区 SA6	黒色頁岩	1.8	1.1	0.2	0.5	
51	磨製石鏃	3区 SA22	緑泥片岩	1.8	1.7	0.3	1.5	
52	磨製石鏃	2区 SA14	黒色頁岩	2.7	1.7	0.3	1.5	
53	磨製石鏃	2区 SA11	黒色頁岩	3.1	1.3	0.2	1.2	
54	磨製石鏃	2区 SA6	緑泥片岩	2.4	1.6	0.4	2.1	
55	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	3.0	2.0	0.4	2.3	
56	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	3.6	1.6	0.4	2.8	
57	磨製石鏃未製品	2区 SA11	黒色頁岩	3.6	1.7	0.4	2.1	
58	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	3.7	1.7	0.4	2.6	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
59	磨製石鏃未製品	2区 SA11	黒色頁岩	4.8	2.4	0.5	6.7	
60	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	5.3	2.2	0.4	4.2	
61	磨製石鏃未製品	2区 SA11	緑泥片岩	5.5	2.9	0.5	7.7	
62	磨製石鏃未製品	2区 SA11	緑泥片岩	5.5	1.8	0.5	4.7	
63	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	4.4	2.1	0.3	3.9	
64	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	4.3	1.8	0.3	2.3	
65	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	3.8	1.7	0.4	2.4	
66	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	4.0	1.6	0.3	2.2	
67	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	5.7	2.9	0.5	8.2	
68	磨製石鏃未製品	2区 SA11	緑泥片岩	6.5	2.5	0.4	7.7	
69	磨製石鏃未製品	2区 SA11	緑泥片岩	8.8	3.3	0.6	17.1	
70	磨製石鏃未製品	2区 SA11	緑泥片岩	8.7	3.5	0.9	24.5	
71	磨製石鏃未製品	2区 SA11	緑泥片岩	7.6	2.8	0.5	11.6	
72	磨製石鏃未製品	2区 SA11	黒色頁岩	6.3	3.0	0.7	13.2	
73	磨製石鏃未製品	2区 SA11	黒色頁岩	6.9	3.1	0.8	13.5	
74	磨製石鏃未製品	2区 SA11	オリーブ頁岩	5.5	3.0	0.5	7.9	
75	磨製石鏃未製品	2区 SA9		4.3	2.9	0.4	6.5	
76	磨製石鏃未製品	2区 SA9	黒色頁岩	4.8	2.3	0.6	7.0	
77	磨製石鏃未製品	2区 SA9	黒色頁岩	6.8	2.4	0.5	9.0	
78	磨製石鏃未製品	2区 SA9	黒色頁岩	7.1	3.0	0.8	16.5	
79	磨製石鏃未製品	2区 SA10	黒色頁岩	4.0	2.0	0.4	4.5	
80	磨製石鏃未製品	3区 SA20	緑泥片岩	4.3	2.1	0.4	3.0	
81	磨製石鏃未製品	3区 SA24	緑泥片岩	3.7	3.0	0.3	4.4	
82	磨製石鏃未製品	2区 IV層	オリーブ頁岩	5.5	2.4	0.5	6.8	
83	磨製石鏃未製品	2区 SA14	緑泥片岩	3.2	2.3	0.3	2.7	
84	磨製石鏃未製品	2区 SA7	緑泥片岩	3.1	2.6	0.5	3.5	
85	磨製石鏃未製品	2区 SA6	緑泥片岩	4.4	2.3	0.4	3.5	
86	磨製石鏃未製品	2区 SA6	黒色頁岩	4.7	2.4	0.4	5.2	
87	磨製石鏃未製品	2区 SA6	黒色頁岩	5.6	2.6	0.6	9.4	
88	磨製石鏃未製品	2区 SA6	緑泥片岩	5.0	2.5	0.5	5.9	
89	磨製石鏃未製品	2区 SA6	黒色頁岩	5.5	2.9	0.6	10.0	
90	磨製石鏃未製品	2区 SA6	緑泥片岩	4.7	2.9	0.5	7.1	
91	磨製石鏃未製品	2区 SA6	緑泥片岩	3.8	2.4	0.4	2.9	
92	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	4.4	2.9	0.5	5.2	
93	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	5.8	2.5	0.4	5.9	
94	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	6.1	2.5	0.5	8.0	
95	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	4.8	3.0	0.5	7.3	
96	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	7.4	2.5	0.8	15.6	
97	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	7.2	2.8	0.7	14.5	
98	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	6.8	3.6	1.0	22.6	
99	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	6.0	3.0	0.6	9.7	
100	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	6.3	2.8	0.6	10.4	
101	磨製石鏃未製品	2区 SA12	黒色頁岩	5.9	2.3	0.6	8.6	
102	磨製石鏃未製品	3区 SA22	緑泥片岩	3.9	1.8	0.4	4.0	
103	磨製石鏃未製品	3区 SA22	オリーブ頁岩	5.4	2.9	0.6	9.3	
104	磨製石鏃未製品	3区 SA22	緑泥片岩	5.1	3.1	0.4	8.5	
105	磨製石鏃未製品	3区 SA22	緑泥片岩	2.1	1.8	0.3	1.7	
106	磨製石鏃未製品	2区 SA5	緑泥片岩	3.0	1.5	0.2	1.2	
107	磨製石鏃未製品	2区 SA5	緑泥片岩	6.0	2.4	0.5	9.6	
108	磨製石鏃未製品	2区 SA18	黒色頁岩	5.2	2.2	0.3	4.1	
109	磨製石鏃未製品	2区 SA18	緑泥片岩	5.8	2.8	0.3	9.8	
110	磨製石鏃未製品	2区 SA4	緑泥片岩	7.9	2.8	0.6	15.7	
111	磨製石鏃未製品	2区 P30	黒色頁岩	8.5	4.0	0.6	31.7	
112	磨製石鏃未製品	2区 IV層	黒色頁岩	4.2	1.8	0.5	4.0	
113	磨製石鏃未製品	2区 IV層	結晶片岩	4.1	2.2	0.4	4.6	
114	磨製石鏃未製品	2区 IV層	緑泥片岩	3.6	2.4	0.3	2.6	
115	磨製石鏃未製品	3区 IV層-608	黒色頁岩	3.5	2.4	0.5	3.3	
116	磨製石鏃未製品	3区 IV層	緑泥片岩	3.9	2.6	0.4	4.3	
117	磨製石鏃未製品	3区 IV層-505	緑泥片岩	3.1	1.6	0.2	1.6	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
118	磨製石鏃未製品	3区 IV層	緑泥片岩	3.5	1.9	0.3	2.5	
119	磨製石鏃未製品	3区 IV層-525	黒色頁岩	4.5	3.0	0.4	5.2	
120	磨製石鏃未製品	3区 IV層	黒色頁岩	4.9	3.7	0.6	12.4	
121	磨製石鏃未製品	3区 IV層-609	黒色頁岩	4.6	3.6	0.4	6.9	
122	磨製石鏃未製品	2区 IV層	凝灰岩	4.8	3.7	0.4	7.6	
123	磨製石鏃未製品	2区 IV層	結晶片岩	5.5	2.9	0.4	9.1	
124	石核	3区 IV層	オリーブ頁岩	5.9	4.6	1.0	27.5	
125	石核	3区 IV層	緑泥片岩	8.1	6.4	0.9	42.4	
126	石核	2区 IV層	オリーブ頁岩	8.7	8.0	2.0	131.9	
127	石鏃	1区 III層	チャート	2.0	1.5	0.4	0.8	
128	石鏃	3区 IV層	チャート	1.3	1.6	0.2	0.5	
129	石鏃	3区 IV層	チャート	1.6	1.4	0.4	0.3	
130	石鏃	3区 IV層	チャート	1.7	1.6	0.3	0.5	
131	石鏃	3区 IV層	チャート	2.0	1.5	0.4	0.7	
132	石鏃	2区 IV層	チャート	2.4	1.5	0.4	1.2	
133	石鏃	2区 IV層	安山岩	2.4	1.3	0.3	0.8	
134	石鏃	1区 IV層	チャート	2.3	1.6	0.4	0.8	
135	石鏃	2区 IV層	チャート	1.3	1.4	0.2	0.3	
136	石鏃	2区 SA11	チャート	1.3	1.6	0.3	0.4	
137	石鏃	2区 SA6	チャート	1.6	1.5	0.2	0.5	
138	石鏃	3区 SA22	チャート	1.8	1.6	0.2	0.4	
139	石鏃	2区 SA6	チャート	1.6	1.4	0.3	0.7	
140	石鏃	2区 SC01-3	チャート	2.0	1.2	0.3	0.4	
141	石鏃	3区 SA21	チャート	1.8	1.5	0.5	0.9	
142	石鏃	2区 SA6	チャート	2.0	1.7	0.4	0.9	
143	石鏃	3区 SA22	チャート	2.1	1.5	0.3	0.7	
144	石鏃	3区 SA23	水晶	2.0	1.8	0.3	0.9	
145	石鏃	2区 SA11	チャート	2.1	2.0	0.4	1.1	
146	石鏃	3区 SA19	チャート	2.1	1.5	0.6	1.6	
147	石鏃	2区 SA14	チャート	2.5	1.8	0.4	1.6	
148	石鏃	2区 SA18	チャート	2.8	2.2	0.5	1.8	
149	石鏃	2区 SA18	チャート	2.5	2.2	0.5	2.0	
150	石鏃	2区 SA18	チャート	2.6	2.1	0.6	1.7	
151	石鏃	2区 SA14	チャート	2.1	1.4	0.3	0.5	
152	石鏃	2区 SA5	チャート	1.9	1.6	0.3	0.9	
153	石鏃	2区 SC1	安山岩	2.7	1.4	0.3	0.8	
154	石鏃	3区 SA22	チャート	2.6	1.5	0.6	1.3	
155	石鏃	3区 SA23	安山岩	2.0	1.7	0.5	1.3	
156	石鏃	3区 SA23	チャート	1.4	2.0	0.5	1.3	
157	石鏃	3区 SA19	チャート	1.7	1.9	0.4	1.2	
158	石鏃	2区 SA9	チャート	2.3	1.7	0.4	1.2	
159	石鏃	2区 SA12	チャート	2.1	1.6	0.4	0.8	
160	石鏃	2区 SA14	姫島Ob	2.7	1.7	0.5	1.0	
161	石鏃	2区 SC1	チャート	3.0	2.3	0.6	1.6	
162	石鏃	3区 SA19	チャート	2.7	1.9	0.7	2.5	
163	石鏃	2区 SA18	チャート	2.8	1.6	0.4	1.5	
164	石鏃	1区 SE1	姫島Ob	3.0	1.8	0.8	2.3	
165	石鏃	2区 IV層	Ob	1.8	1.6	0.5	1.1	
166	石鏃	3区 SA19	チャート	1.9	1.5	0.3	0.9	
167	石鏃	3区 SA19	チャート	2.3	1.6	0.4	1.7	
168	石鏃	2区 SA14	チャート	2.5	2.2	0.6	2.5	
169	石鏃	2区 SA6	チャート	2.7	2.8	0.7	3.6	
170	石鏃	2区 SA6	チャート	2.3	1.7	0.6	1.8	
171	石鏃	2区 IV層	安山岩	2.2	1.5	0.4	1.0	
172	石鏃	3区 SA19	チャート	2.8	1.9	0.7	3.7	
173	石鏃	3区 SA19	チャート	2.5	1.9	0.5	1.9	
174	石鏃	3区 SA22	安山岩	2.4	2.0	0.4	1.2	
175	石鏃	2区 SA6	チャート	2.9	2.2	0.6	3.5	
176	石鏃	2区 SA6	チャート	2.6	1.9	0.5	2.0	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
177	石鏃	2区 SA9	チャート	2.6	1.5	0.5	1.9	
178	石鏃	2区 SA14	チャート	2.9	1.6	0.4	1.5	
179	石鏃	2区 SA11	チャート	2.5	2.0	0.4	1.3	
180	石鏃	1区 SE1	チャート	3.8	2.3	0.6	3.1	
181	石鏃	2区 SA5	姫島Ob	1.7	1.8	0.3	0.6	
182	石鏃	2区 SA12	チャート	2.1	1.8	0.4	1.1	
183	尖頭器	2区 P14	流紋岩	5.1	2.3	0.8	9.7	
184	尖頭器	2区 IV層	流紋岩	6.7	3.7	1.8	34.5	
185	石鏃未製品	3区 SA22	チャート	2.4	1.5	0.5	1.4	
186	石鏃未製品	3区 IV層	チャート	3.0	2.0	0.7	4.7	
187	石鏃未製品	2区 IV層	チャート	3.0	2.3	0.9	4.5	
188	石鏃未製品	2区 SC01	チャート	3.3	2.8	1.1	9.5	
189	石鏃未製品	2区 SA5	チャート	4.0	2.6	1.0	7.0	
190	石鏃未製品	3区 IV層	チャート	3.0	1.8	0.5	2.6	
191	石鏃未製品	2区 風倒木	チャート	3.5	3.0	1.5	13.1	
192	石鏃未製品	2区 SA14	チャート	4.1	3.2	1.2	18.3	
193	石鏃未製品	3区 SA19	チャート	2.8	2.6	1.0	6.3	
194	石鏃未製品	1区 SE1	チャート	3.2	2.7	0.8	7.9	
195	石鏃未製品	3区 SA22	チャート	4.0	2.3	1.0	8.0	
196	石鏃未製品	2区 IV層	チャート	2.5	2.3	0.8	4.3	
197	石鏃未製品	3区 SA19	チャート	4.5	3.6	1.1	16.9	
198	石鏃未製品	2区 風倒木	チャート	3.8	2.3	1.4	10.8	
199	石鏃未製品	2区 SA18	チャート	3.4	2.6	0.9	7.3	
200	石鏃未製品	3区 IV層	チャート	4.4	3.6	1.6	21.8	
201	削器	2区 SA6	チャート	1.9	2.6	0.6	2.8	
202	削器	2区 SA11	チャート	2.3	2.2	0.8	3.4	
203	削器	1区 SE1	安山岩	3.5	2.0	0.7	4.9	
204	削器	2区 SA14	安山岩	3.7	2.3	1.0	5.1	
205	削器	2区 SA14	チャート	4.3	3.0	1.1	14.3	
206	削器	2区 SA14	安山岩	4.6	3.1	1.2	15.7	
207	削器	1区 IV層	安山岩	2.6	2.7	0.4	3.4	
208	削器	2区 IV層	凝灰岩	5.4	3.5	0.7	15.1	
209	削器	3区 IV層	チャート	3.6	2.9	1.2	13.7	
210	削器	2区 SA13	凝灰岩	7.4	4.6	0.8	29.5	
211	削器	2区 SA7	凝灰岩	19.6	11.2	3.3	569.4	
212	削器	2区 IV層	チャート	8.4	3.2	0.9	28.6	
213	削器	1区 N12W3	凝灰岩	7.4	5.8	1.5	79.7	
214	削器	3区 IV層	安山岩	13.9	12.5	3.5	462.1	
215	楔形石器	3区 SA19	チャート	2.1	1.6	0.7	2.8	
216	楔形石器	3区 IV層-494	チャート	2.3	2.3	0.8	4.3	
217	楔形石器	2区 SA11	チャート	2.1	1.6	0.6	1.9	
218	石匙	2区 SA18	黒Ob	1.8	2.1	0.6	1.2	
219	石匙	2区 SA16炉址	チャート	4.4	3.8	1.1	11.9	
220	石匙	2区 IV層	チャート	4.2	3.4	1.0	9.7	
221	削器	4区 IV層	流紋岩	8.8	5.5	1.5	67.3	
222	石錐	3区 SA22	チャート	3.1	1.5	0.8	2.7	
223	石錐	2区 SA5	チャート	3.0	1.4	0.6	1.8	
224	石錐	2区 SA14	チャート	3.7	1.5	0.8	3.8	
225	石錐	2区 IV層	チャート	3.9	1.4	0.7	2.9	
226	石錐	2区 SA6	チャート	3.6	2.5	0.8	5.4	
227	石錐	3区 SA23	チャート	2.5	5.5	0.3	0.4	
228	石錐	2区 SA5	チャート	5.0	4.2	1.1	18.7	
229	搔器	2区 SA9	チャート	2.5	3.0	0.8	6.0	
230	搔器	2区 SA11	チャート	3.2	2.7	1.3	8.8	
231	搔器	2区 SA9	チャート	2.7	2.7	0.8	5.0	
232	搔器	2区 SA14	チャート	3.0	2.8	1.1	8.2	
233	搔器	2区 IV層	チャート	2.9	3.1	1.1	9.5	
234	搔器	2区 SA14	チャート	2.9	2.8	1.0	7.0	
235	剥片	2区 SA6	黒Ob	3.5	1.3	0.6	1.8	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
236	剥片	2区 IV層	黒Ob	4.4	1.8	0.9	5.1	
237	微細剥離剥片	3区 IV層	チャート	5.4	2.3	1.2	11.7	
238	石核	2区 IV層	チャート	3.0	2.7	1.1	8.0	
239	石核	2区 IV層	チャート	3.7	3.1	1.7	22.6	
240	石核	2区 IV層	チャート	3.5	4.8	1.7	23.8	
241	石核	2区 IV層	チャート	4.2	3.9	1.8	27.1	
242	石核	2区 IV層	チャート	2.4	3.8	0.7	7.9	
243	石核	2区 SA16炉址	Ob	1.3	2.4	2.2	3.6	
244	石核	2区 IV層	チャート	3.0	3.7	1.2	12.5	
245	石核	2区 SA12	チャート	4.1	5.3	1.7	27.2	
246	石核	2区 SA11	チャート	3.8	3.1	1.8	22.2	
247	石核	2区 SA11	チャート	2.6	5.8	1.8	34.4	
248	石核	2区 SA11	チャート	3.3	2.9	1.4	15.7	
249	石核	2区 IV層	チャート	4.4	4.3	1.4	23.4	
250	石核	2区 SA7	チャート	5.2	5.0	4.5	136.3	
251	石核	2区 SA11	チャート	4.0	2.6	1.4	14.6	
252	石核	3区 SA20	チャート	3.4	3.1	1.3	14.2	
253	石核	2区 IV層	チャート	4.8	2.8	1.6	19.7	
254	石核	2区 SA13	安山岩	9.9	9.1	2.3	220.0	
255	石核	2区 SA9	凝灰岩	15.1	10.8	6.1	988.6	
256	石核	2区 IV層	チャート	2.4	3.4	1.3	6.2	
257	石核	3区 IV層-39	チャート	2.3	2.8	2.0	13.0	
258	石核	2区 IV層	チャート	6.0	3.5	2.9	35.7	
259	石核	2区 IV層	チャート	3.4	1.8	1.0	6.7	
260	石核	2区 IV層	チャート	4.0	5.5	3.4	63.4	
261	石核	2区 IV層	チャート	3.7	3.4	3.0	35.4	
262	石核	2区 IV層	チャート	3.6	3.8	1.6	22.0	
263	石核	2区 IV層	チャート	3.7	4.1	2.9	35.4	
264	石核	2区 IV層	チャート	2.5	4.6	1.8	17.6	
265	石核	2区 IV層	チャート	5.9	2.6	1.7	14.0	
266	台石	2区 SC01	安山岩	11.0	11.3	3.9	632.6	
267	原石	2区 IV層	黒Ob	10.0	7.0	3.8	383.3	
268	敲石	2区 SA6	チャート	4.5	3.5	2.8	54.3	
269	敲石	2区 SA7	チャート	5.4	5.4	2.5	91.6	
270	敲石	2区 SC1	砂岩	5.5	6.0	2.6	121.3	
271	敲石	2区 SA7	結晶片岩	14.2	4.2	2.2	174.1	
272	敲石	3区 SA19	砂岩	4.1	4.1	4.0	94.7	
273	敲石	2区 SA11	砂岩	7.1	6.3	0.3	180.1	
274	磨石	2区 IV層	安山岩	5.2	5.1	3.8	145.7	
275	磨石	2区 IV層	尾鈴酸性岩	12.4	9.2	5.8	990.0	
276	磨石	2区 SA5-1	安山岩	10.5	9.1	4.0	588.0	
277	磨石	2区 SA5-2	安山岩	9.9	10.8	6.5	950.0	
278	砥石	2区 SA22-1	砂岩	18.2	10.1	4.0	1,104.0	
279	砥石	2区 SA14	砂岩	15.6	12.9	2.5	747.1	
280	砥石	4区 SA22-2	礫岩	14.2	15.6	8.5	2,500.0	
281	石皿	3区 IV層	礫岩	21.8	15.9	5.8	2,595.0	
282	打製石斧	2区 SA12	凝灰岩	8.5	5.9	1.6	89.9	
283	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	9.7	7.0	2.2	156.1	
284	打製石斧	2区 SA20	片岩	10.9	6.0	1.6	150.0	
285	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	11.9	5.4	1.7	119.3	
286	打製石斧	2区 SA6	片岩	10.3	6.4	1.1	115.0	
287	打製石斧	2区 SA4	凝灰岩	9.7	7.0	1.1	87.4	
288	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	14.0	6.8	1.9	209.5	
289	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	14.3	5.4	2.4	190.9	
290	打製石斧	3区 SA21	凝灰岩	16.9	6.1	2.3	181.7	
291	打製石斧	2区 SA13	凝灰岩	10.8	5.9	1.6	112.3	
292	打製石斧	2区 SC01	凝灰岩	11.3	4.9	1.6	89.1	
293	打製石斧	3区 IV層	凝灰岩	12.7	5.5	1.1	82.2	
294	打製石斧	3区 IV層	凝灰岩	14.3	4.8	1.5	98.2	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
295	打製石斧	2区 SA18	玄武岩	13.0	6.5	1.3	108.6	
296	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	12.1	6.5	2.0	132.3	
297	打製石斧	3区 IV層	砂岩	10.1	6.1	1.9	122.8	
298	打製石斧	3区 一括	片岩	13.3	7.4	1.7	121.3	
299	打製石斧	3区 SA22	凝灰岩	10.1	6.7	1.8	127.4	
300	打製石斧	2区 SA9	凝灰岩	8.8	5.7	2.1	106.6	
301	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	6.1	4.1	1.6	38.2	
302	打製石斧	2区 IV層	片岩	7.4	4.6	1.2	37.4	
303	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	9.3	5.8	1.2	56.6	
304	打製石斧	2区 IV層-63	凝灰岩	13.2	6.6	2.3	191.9	
305	打製石斧	2区 VI層	凝灰岩	13.8	7.7	2.7	270.9	
306	打製石斧	2区 SA11	凝灰岩	11.2	6.9	2.1	193.1	
307	打製石斧	2区 攪乱	凝灰岩	9.9	5.3	1.7	88.6	
308	打製石斧	2区 VI層-67	凝灰岩	13.9	8.0	2.8	251.7	
309	打製石斧	3区 SA19	凝灰岩	11.2	6.1	2.0	143.9	
310	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	10.1	5.3	2.0	96.8	
311	打製石斧	3区 IV層	凝灰岩	9.6	7.1	1.6	114.7	
312	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	9.0	6.1	1.3	63.6	
313	打製石斧	2区 一括	凝灰岩	9.2	6.5	2.0	121.3	
314	打製石斧	2区 IV層	片岩	15.3	7.5	1.6	133.7	
315	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	10.5	6.3	3.5	232.1	
316	打製石斧	3区 SA19	凝灰岩	12.2	4.9	2.4	155.6	
317	打製石斧	4区 IV層	凝灰岩	11.5	9.2	1.7	196.8	
318	打製石斧	1区 SA1	凝灰岩	14.6	10.0	3.8	608.0	
319	打製石斧	2区 SA13	凝灰岩	5.4	3.4	1.4	34.7	
320	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	5.3	5.0	1.3	46.4	
321	打製石斧	2区 SA9	凝灰岩	3.2	4.4	1.2	11.3	
322	打製石斧	3区 IV層-591	凝灰岩	5.4	6.8	2.1	103.6	
323	打製石斧	2区 SA11	凝灰岩	6.0	5.3	1.5	53.2	
324	打製石斧	2区 SA01-25	凝灰岩	6.6	5.6	2.2	89.0	
325	打製石斧	2区 SA9	砂岩	7.3	5.7	1.8	112.6	
326	打製石斧	2区 SA5	凝灰岩	8.2	5.0	1.2	52.0	
327	打製石斧	3区 IV層	凝灰岩	7.8	6.3	1.7	89.3	
328	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	7.5	6.3	3.1	118.5	
329	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	7.3	5.6	1.2	43.5	
330	打製石斧	2区 SA13	凝灰岩	6.3	5.5	1.1	395.0	
331	打製石斧	2区 SC1	砂岩	8.9	6.8	1.8	137.1	
332	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	9.2	6.1	2.6	149.3	
333	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	3.8	6.0	1.2	29.4	
334	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	4.6	6.3	1.5	46.3	
335	打製石斧	2区 SA9	凝灰岩	6.0	9.3	1.9	72.3	
336	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	6.1	6.3	1.4	47.0	
337	打製石斧	2区 SA6	片岩	6.9	6.5	1.0	43.9	
338	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	5.9	6.2	1.9	61.0	
339	打製石斧	2区 SA14	凝灰岩	7.5	5.4	1.7	72.1	
340	打製石斧	2区 IV層	緑泥片岩	7.8	6.4	1.4	142.2	
341	打製石斧	2区 P2	凝灰岩	7.4	6.5	1.8	105.5	
342	打製石斧	3区 IV層上面	凝灰岩	7.4	7.6	1.6	111.7	
343	打製石斧	2区 SA7	結晶片岩	8.3	8.3	1.7	104.5	
344	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	7.3	6.7	1.2	65.2	
345	打製石斧	2区 SA9	凝灰岩	5.4	3.4	1.5	23.3	
346	打製石斧	2区 SA13	凝灰岩	5.5	5.2	2.0	71.9	
347	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	6.0	4.9	1.0	27.1	
348	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	6.7	4.4	1.4	49.6	
349	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	7.0	6.5	1.5	71.7	
350	打製石斧	2区 IV層	凝灰岩	9.5	7.7	2.1	142.1	
351	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	8.4	8.5	2.8	217.5	
352	打製石斧	2区 IV層	結晶片岩	10.6	7.6	1.5	155.5	
353	打製石斧	2区 一括	凝灰岩	7.6	5.2	1.1	55.5	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

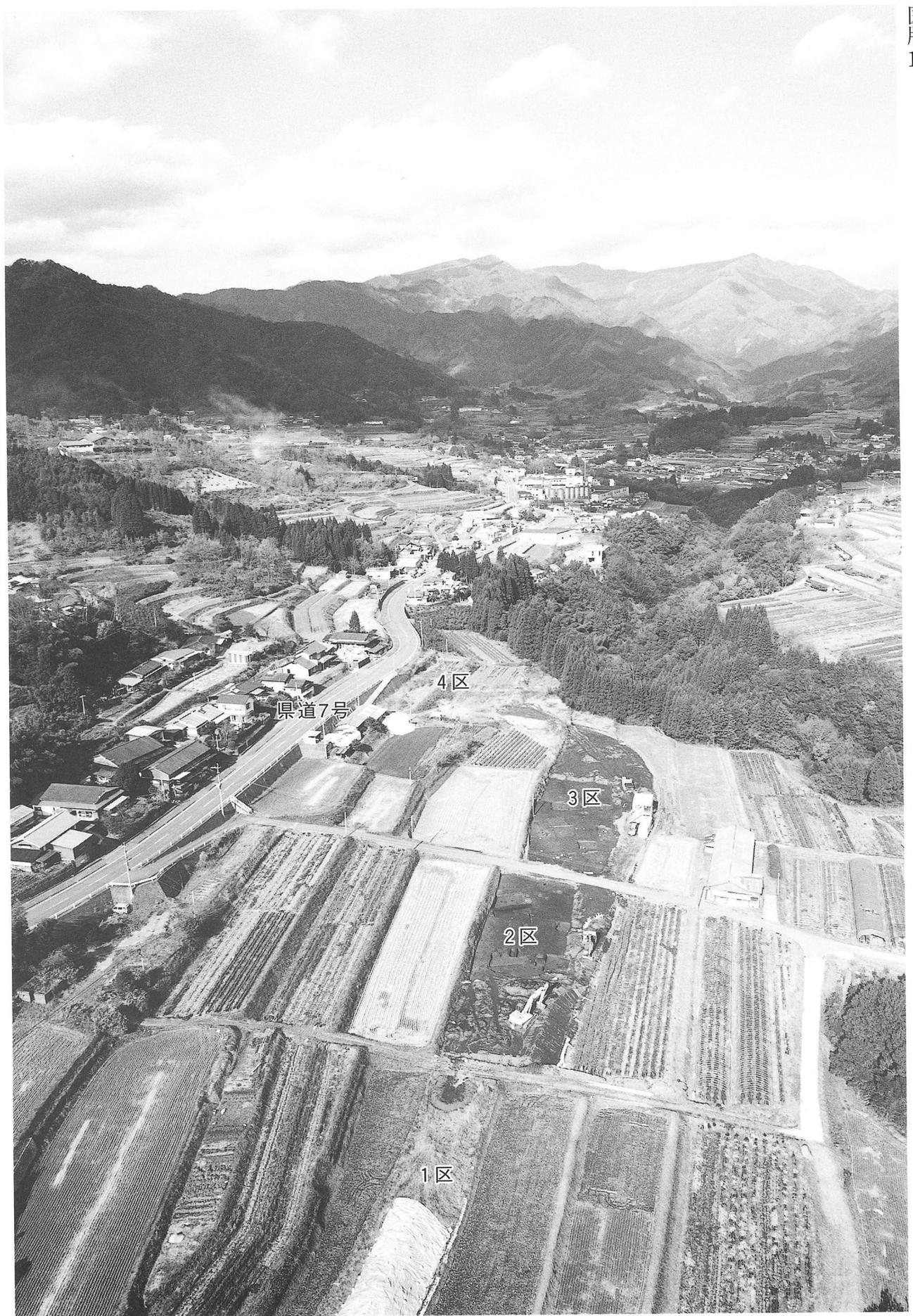
No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
354	打製石斧	2区 P35	凝灰岩	9.5	5.3	1.8	96.6	
355	打製石斧	2区 SA9	凝灰岩	9.2	8.7	2.0	137.3	
356	打製石斧	3区 SA19	結晶片岩	5.1	7.7	1.0	43.1	
357	打製石斧	2区 SA7	片岩	13.0	5.8	1.1	81.1	
358	打製石斧	2区 SA6	凝灰岩	14.3	4.9	2.2	124.2	
359	打製石斧	4区 SC4	結晶片岩	11.9	5.7	0.9	61.9	
360	打製石斧	3区	凝灰岩	10.8	8.0	2.6	179.3	
361	打製石斧	3区 IV層	凝灰岩	8.2	4.4	1.7	67.2	
362	打製石斧	2区 IV層	片岩	18.1	8.3	1.0	131.3	
363	磨製石斧	2区 SA7	蛇紋岩	3.0	3.3	0.8	11.7	
364	磨製石斧	2区 攪乱	砂岩	5.2	3.2	1.6	32.8	
365	磨製石斧	2区 IV層	凝灰岩	7.3	3.8	2.9	112.8	
366	磨製石斧	2区 SA14	砂岩	7.6	4.0	1.2	52.2	
367	磨製石斧	3区 一括	砂岩	5.3	5.9	2.5	107.7	
368	磨製石斧	2区 IV層	凝灰岩	8.1	5.3	3.0	188.1	
369	磨製石斧	2区 IV層	砂岩	10.5	6.1	3.2	282.0	
370	磨製石斧	2区 IV層	砂岩	11.2	6.0	3.8	406.9	敲石へ転用
371	円盤状石器	2区 IV層	砂岩	10.0	9.6	1.2	181.9	
372	打欠石錘	3区 IV層	砂岩	6.8	7.0	1.4	81.7	
373	石鏃	2区 IV層	チャート	1.4	1.3	0.3	0.3	
374	石鏃	3区 VI層-103	チャート	1.7	1.6	0.4	0.7	
375	石鏃	2区 VI層	チャート	1.5	1.8	0.7	1.0	
376	石鏃	2区 VI層	チャート	1.1	1.4	0.3	0.5	
377	石鏃	2区 VI層	チャート	1.6	1.7	0.3	0.5	
378	石鏃	2区 VI層	チャート	1.7	1.4	0.4	0.6	
379	石鏃	2区 VI層-39	チャート	2.2	1.7	0.4	1.0	
380	石鏃	2区 VI層G6	チャート	2.2	1.6	0.4	1.1	
381	石鏃	2区 VI層-245	チャート	1.8	1.7	0.3	0.8	
382	石鏃	2区 VI層G57	チャート	1.8	1.3	0.3	0.7	
383	石鏃	3区 VI層	チャート	1.4	1.4	0.4	0.6	
384	石鏃	2区 VI層	チャート	1.5	1.9	0.5	1.0	
385	石鏃	2区 VI層	チャート	2.0	1.4	0.5	1.3	
386	石鏃	2区 VI層	チャート	2.3	1.8	0.3	1.0	
387	石鏃	2区 VI層	チャート	2.6	1.8	0.3	0.8	
388	石鏃	2区 VI層-649	チャート	2.3	1.7	0.4	1.1	
389	石鏃	2区 VI層	チャート	1.5	1.5	0.4	0.4	
390	石鏃	2区 VI層	チャート	1.8	1.6	0.4	0.5	
391	石鏃	2区 VI層	チャート	1.2	1.2	0.4	0.4	
392	石鏃	2区 VI層	チャート	1.6	1.9	0.5	1.1	
393	石鏃	3区 VI層	チャート	2.1	1.4	0.4	0.8	
394	石鏃	3区 VI層	チャート	2.2	2.1	0.3	0.8	
395	石鏃	2区 VI層	チャート	2.2	1.7	0.4	1.1	
396	石鏃	2区 VI層	チャート	2.2	1.9	0.4	1.3	
397	石鏃	3区 VI層	チャート	1.5	1.6	0.4	0.6	
398	石鏃	3区 VI層	チャート	1.9	1.3	0.3	0.6	
399	石鏃	3区 VI層下面	チャート	2.2	1.5	0.5	1.6	
400	石鏃	2区 VI層-124	チャート	1.9	1.9	0.6	1.7	
401	石鏃	3区 VI層	チャート	2.0	2.1	0.6	1.2	
402	石鏃	3区 VI層-365	チャート	2.8	2.2	0.5	2.4	
403	石鏃	2区 VI層	チャート	2.9	1.8	0.5	2.1	
404	石鏃	2区 VI層	安山岩	3.1	1.7	0.3	1.1	
405	石鏃	2区 VI層	チャート	2.1	2.0	0.5	1.7	
406	石鏃	3区 VI層-449	チャート	2.3	1.8	0.3	1.2	
407	石鏃	3区 VI層	安山岩	2.6	2.1	0.6	2.1	
408	石鏃	2区 VI層	安山岩	3.0	2.2	0.6	2.5	
409	石鏃	3区 VI層	チャート	2.2	2.5	0.3	1.2	
410	石鏃	3区 VI層	チャート	2.3	2.5	0.4	1.6	
411	石鏃	2区 S17	チャート	1.8	2.8	0.4	2.0	
412	石鏃	2区 VI層	チャート	3.6	1.6	0.5	1.2	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
413	石鏃	2区 VI層	チャート	3.9	2.0	0.4	1.9	
414	石鏃	3区 VI層下面	チャート	3.6	1.7	0.5	2.1	
415	石鏃	2区 VI層-744	チャート	2.9	2.4	0.4	2.0	
416	石鏃	2区 VI層G76	チャート	2.6	2.7	0.6	4.1	
417	石鏃	3区 VI層-34	チャート	3.7	2.7	1.0	6.6	
418	石鏃	3区 VI層-170	チャート	2.5	2.9	0.7	3.3	
419	石鏃	2区 VI層	チャート	2.0	2.7	0.6	2.9	
420	石鏃	2区 VII層	チャート	2.3	1.8	0.4	1.3	
421	石鏃	2区 VII層	チャート	2.7	1.7	0.4	1.2	
422	石鏃	2区 VII層	チャート	2.6	1.6	0.3	1.0	
423	石鏃	2区 VII層	チャート	3.0	1.8	0.4	1.3	
424	石鏃	2区 VII層	チャート	3.0	1.9	0.7	3.6	
425	石鏃	2区 VII層	姫島Ob	2.1	1.9	0.5	0.9	
426	石鏃	2区 VII層	チャート	1.6	1.7	0.4	0.6	
427	石鏃	2区 VII層	チャート	2.2	2.2	0.4	1.2	
428	石鏃	2区 VII層	チャート	3.0	2.4	0.6	4.1	
429	石鏃	2区 VII層	チャート	4.0	2.0	0.5	2.8	
430	石鏃	2区 VII層	チャート	3.8	2.9	0.9	5.7	
431	石鏃	3区 VIII層上面	チャート	1.7	1.3	0.4	0.6	
432	石鏃	3区 VIII層上面	チャート	1.3	1.5	0.3	0.4	
433	石鏃	3区 VIII層上面	チャート	2.4	1.8	0.5	1.8	
434	尖頭器	3区 VIII層上面	チャート	4.4	2.3	1.0	8.6	
435	石鏃未製品	3区 VI層下面	チャート	2.7	2.0	0.8	3.5	
436	石鏃未製品	2区 VI層-363	チャート	2.6	2.4	0.9	5.0	
437	石鏃未製品	2区 VI層G43	チャート	4.4	3.3	1.5	19.1	
438	石鏃未製品	2区 VI層G41	チャート	3.1	2.4	0.8	6.2	
439	石鏃未製品	2区 VI層下面	チャート	3.4	3.1	1.5	11.7	
440	石鏃未製品	3区 VI層	チャート	3.2	2.3	1.0	6.9	
441	石鏃未製品	2区 VI層-176	チャート	3.4	3.0	1.1	7.2	
442	石鏃未製品	2区 VI層G48	玄武岩	4.2	3.7	1.1	13.7	
443	石鏃未製品	2区 VI層-242	チャート	3.2	2.7	1.4	9.0	
444	石鏃未製品	2区 VI層	石英	3.6	3.5	1.2	13.8	
445	石鏃未製品	2区 VI層	チャート	4.1	3.1	1.5	13.1	
446	石鏃未製品	2区 VI層G39	チャート	3.5	3.0	1.0	8.1	
447	石鏃未製品	3区 VI層-411	安山岩	4.9	2.7	0.9	7.8	
448	石鏃未製品	3区 VI層-441	チャート	5.9	2.9	1.4	21.2	
449	石鏃未製品	2区 VIII層	チャート	2.4	2.2	0.9	4.2	
450	楔形石器	2区 VII層	チャート	3.3	2.2	1.0	5.4	
451	楔形石器	3区 VI層下面	石英	4.0	2.9	1.6	19.9	
452	石匙	2区 VII層	チャート	3.4	3.0	0.8	5.8	
453	削器	3区 VI層-72	チャート	5.0	2.1	0.9	6.6	
454	削器	3区 VI層下面	安山岩	6.1	2.7	1.0	14.2	
455	削器	3区 レキ群G3	チャート	4.3	2.9	1.6	19.9	
456	削器	2区 VI層-416	チャート	4.4	4.3	1.2	22.3	
457	削器	2区 SI27	チャート	5.8	4.4	1.0	26.3	
458	削器	2区 SI30	チャート	6.6	4.7	2.1	69.8	
459	削器	2区 VI層-505	ホルンフェルス	8.1	3.7	1.7	46.5	
460	削器	3区 VI層-381	流紋岩	16.0	3.6	2.1	79.1	
461	削器	2区 SI25	チャート	4.6	2.9	1.0	10.9	
462	削器	2区 VII層	チャート	5.7	3.1	1.7	29.2	
463	削器	3区 VIII層上面	Ob	2.0	1.4	0.5	1.0	
464	石錐	3区 SA19	安山岩	2.5	1.0	0.4	0.9	
465	削器	3区 VIII層上面	チャート	4.2	2.7	1.3	14.6	
466	石錐	3区 VI層-127	チャート	4.7	3.9	1.8	20.6	
467	搔器	2区 VI層	阿蘇Ob	2.5	2.2	1.0	4.1	
468	搔器	3区 VIII層上面	チャート	3.3	2.6	1.6	11.0	
469	剥片	2区 VI層G76	チャート	4.8	2.4	1.6	16.2	打面再生
470	微細剥離剥片	3区 VI層	チャート	7.5	3.1	2.0	37.5	
471	微細剥離剥片	2区 VII層	チャート	5.2	2.5	1.1	11.3	

単位：最大長・幅・厚=cm、重量=g

No	器種	出土位置	石材	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考
472	石核	2区 VI層-700	凝灰岩	12.2	10.9	4.4	752.0	
473	石核	2区 VII層	チャート	4.4	3.9	1.6	21.3	
474	石核	2区 VIII層	チャート	4.0	3.3	1.2	14.7	
475	石核	3区 VIII層上面	チャート	2.0	5.3	2.5	20.9	
476	石核	2区 VIII層	チャート	4.3	3.7	2.1	22.9	
477	敲石	3区 VI層	安山岩	2.9	2.8	2.8	30.0	
478	敲石	2区 VI層 G 66	安山岩	4.0	4.2	3.3	68.8	
479	敲石	2区 VI層-408	安山岩	4.5	4.2	4.0	99.7	
480	敲石	2区 VI層-443	凝灰岩	5.6	4.8	4.3	153.3	
481	敲石	2区 VI層 G 41	安山岩	5.4	4.2	3.2	94.1	
482	敲石	2区 VIII層	安山岩	3.3	3.3	3.0	49.5	
483	敲石	2区 VII層	砂岩	3.8	3.6	2.7	46.6	
484	敲石	2区 VII層	安山岩	3.7	3.4	3.7	69.4	
485	凹石	3区 VI層-139	砂岩	8.4	7.9	4.2	380.8	
486	敲石	2区 VI層	安山岩	9.1	7.6	5.2	504.7	
487	敲石・磨石	2区 VII層	安山岩	6.2	5.5	3.1	196.8	
488	敲石	3区 VIII層	安山岩	4.1	4.0	4.0	91.5	
489	磨石	2区 VII層	安山岩	10.7	8.6	3.5	504.6	
490	石鏃	一括	チャート	1.1	1.1	0.2	0.1	
491	石鏃	2区 一括	チャート	1.4	1.5	0.4	0.5	
492	石鏃	2区 一括	姫島Ob	1.2	1.3	0.4	0.4	
493	石鏃	3区 廃土	チャート	1.7	1.3	0.4	0.4	
494	石鏃	2区 廃土	チャート	1.8	1.6	0.4	0.7	
495	石鏃	一括	チャート	1.7	1.6	0.4	0.7	
496	石鏃	一括	チャート	1.9	1.3	0.3	0.4	
497	石鏃	一括	チャート	2.0	1.6	0.4	0.8	
498	石鏃	一括	チャート	1.9	1.3	0.2	0.5	
499	石鏃	2区 一括	チャート	2.1	1.7	0.4	0.8	
500	石鏃	2区 一括	チャート	2.1	2.0	0.4	1.7	
501	石鏃	一括	チャート	1.8	2.0	0.4	1.1	
502	石鏃	2区 一括	チャート	1.7	2.3	0.4	1.6	
503	石鏃	2区 攪乱	Ob	1.7	1.3	0.4	1.1	
504	石鏃	3区 廃土	チャート	2.1	2.0	0.5	2.2	
505	石鏃	一括	チャート	2.0	2.5	0.5	2.1	
506	石鏃	2区 3トレ	チャート	2.3	1.8	0.5	1.5	
507	石鏃	一括	チャート	1.9	1.8	0.5	1.3	
508	石鏃	一括	チャート	3.1	1.5	0.5	2.3	
509	石鏃	一括	チャート	4.1	2.6	0.6	4.8	
510	石鏃未製品	2区 廃土	チャート	2.9	2.5	0.6	3.9	
511	石鏃未製品	2区 第3T	チャート	3.1	2.7	0.9	7.1	
512	搔器	表採	チャート	3.9	2.3	0.9	8.2	
513	削器	一括	チャート	2.4	3.7	1.1	8.3	
514	微細剥離剥片	2区 攪乱	Ob	3.4	2.4	0.8	5.5	
515	異形石鏃	一括	チャート	2.5	1.4	0.4	1.2	
516	石錐	一括	チャート	4.1	2.9	0.7	5.3	
517	石匙	一括	姫島Ob	3.9	4.3	0.7	11.2	
518	削器	一括	流紋岩	11.0	5.0	2.3	104.3	
519	磨製石鏃未製品	一括	緑泥片岩	3.3	1.9	0.4	2.5	
520	磨製石鏃未製品	2区 一括	オリーブ頁岩	4.0	2.5	0.4	3.8	
521	磨製石鏃未製品	2区 一括	オリーブ頁岩	4.5	2.4	0.6	6.6	
522	磨製石鏃未製品	2区 攪乱	緑泥片岩	5.1	2.7	0.4	8.0	
523	石鏃	2区 攪乱	黒色頁岩	11.9	4.9	0.5	53.3	
524	石核	2区 T	凝灰岩	4.0	4.4	1.6	23.6	
525	石核	2区 一括	チャート	3.8	3.9	1.5	19.6	
526	敲石・磨石	2区 一括	砂岩	9.7	7.5	5.4	585.1	
527	砥石	2区 廃土	砂岩	6.5	3.2	1.3	29.3	
528	敲石	2区 攪乱	砂岩	9.0	5.6	4.1	331.7	
529	敲石・磨石	2区 廃土	安山岩	13.0	7.5	4.3	695.0	
530	台石	一括	砂岩	20.6	11.3	8.6	2,070.0	



古城遺跡全景



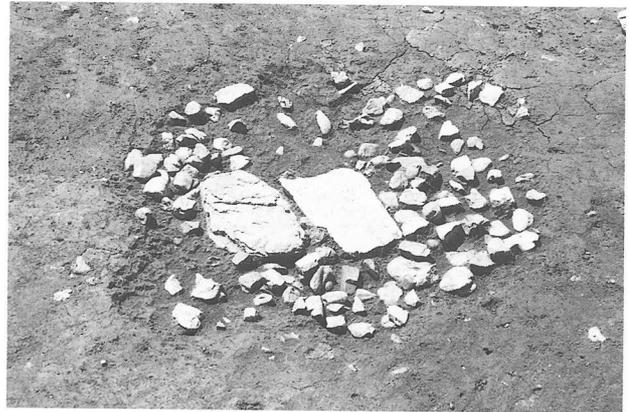
集石遺構分布状況 (K21グリッド付近)



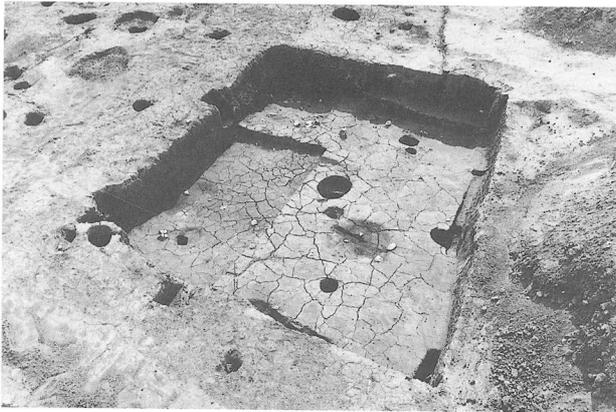
1号集石遺構 (SI1)



46号集石遺構 (SI46)



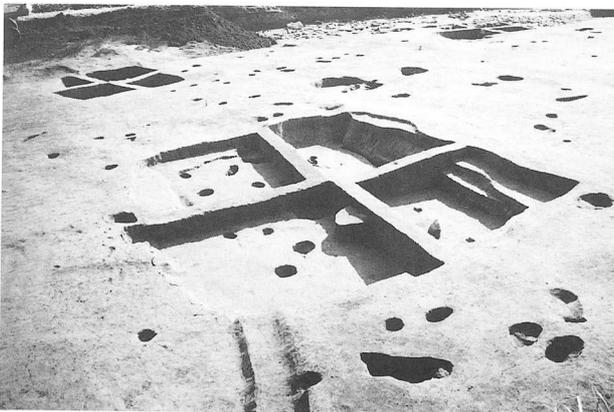
48号集石遺構 (SI48)



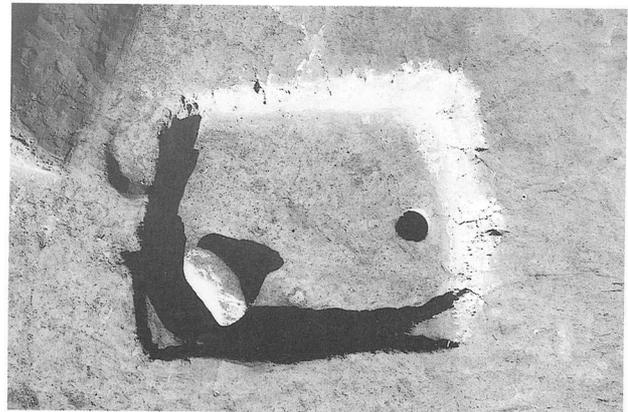
5号竪穴住居跡 (SA 5)



10号、11号竪穴住居跡 (SA10、SA11)

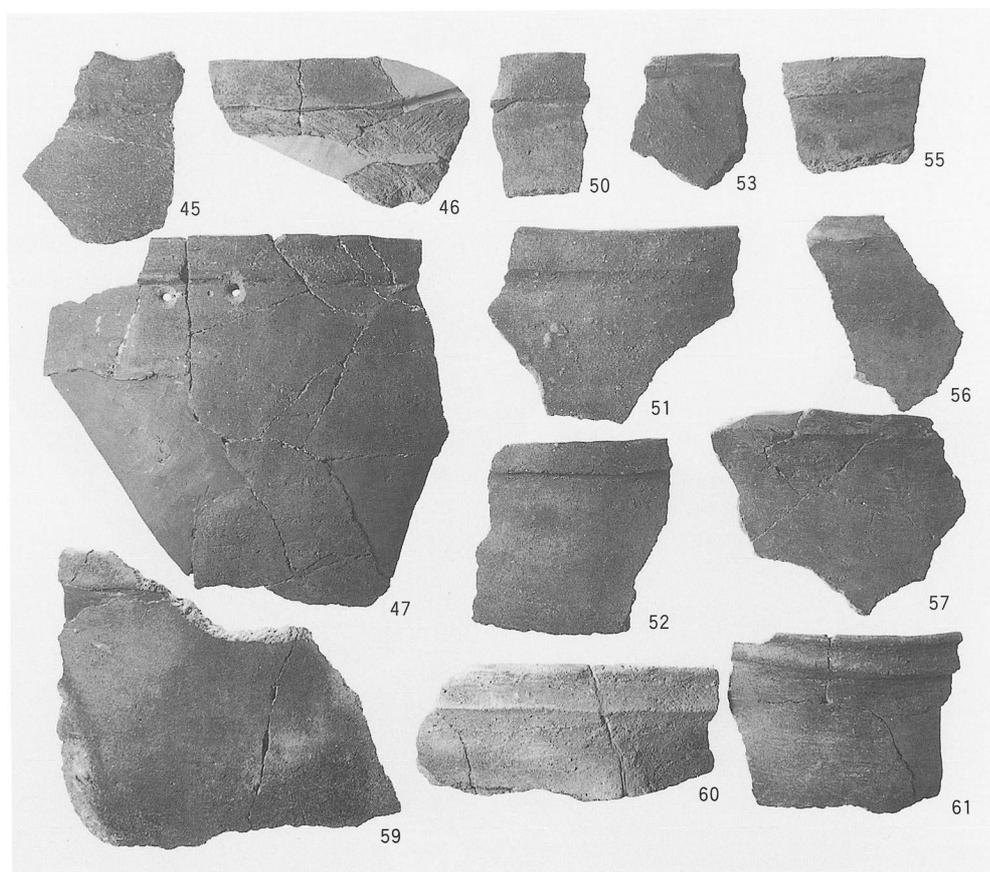
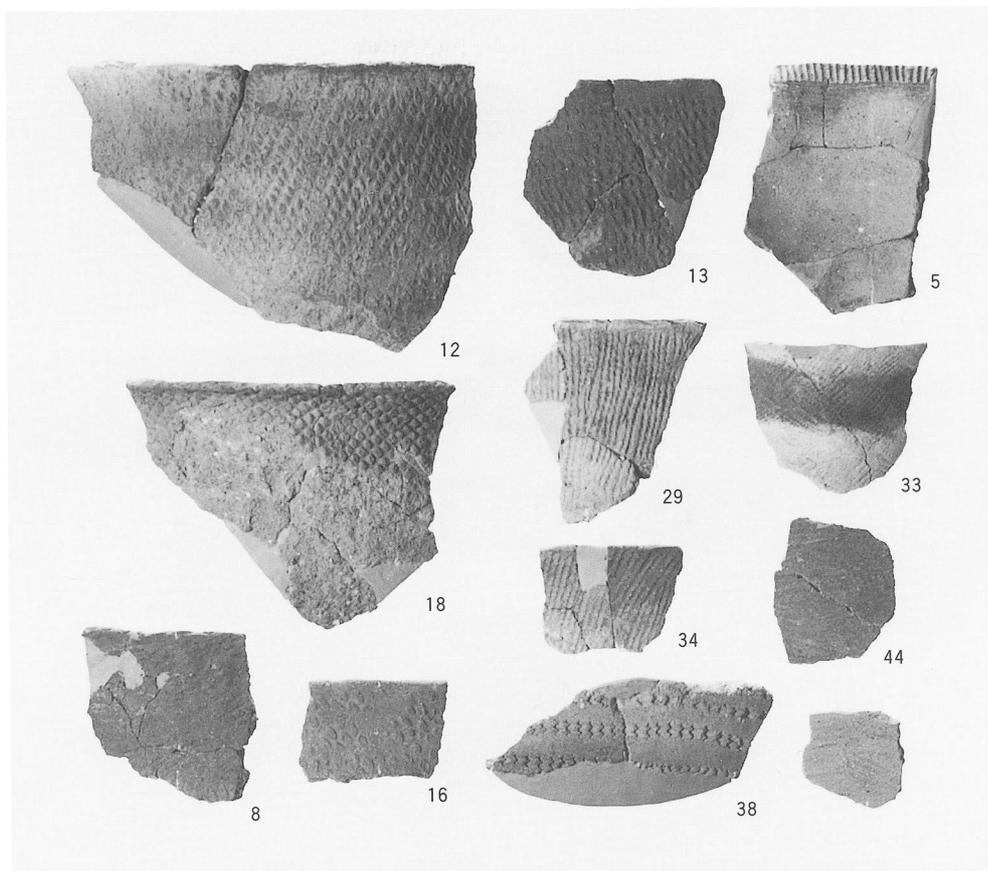


22号(SA22)、23号(SA23) 竪穴住居跡 (奥がSA23)

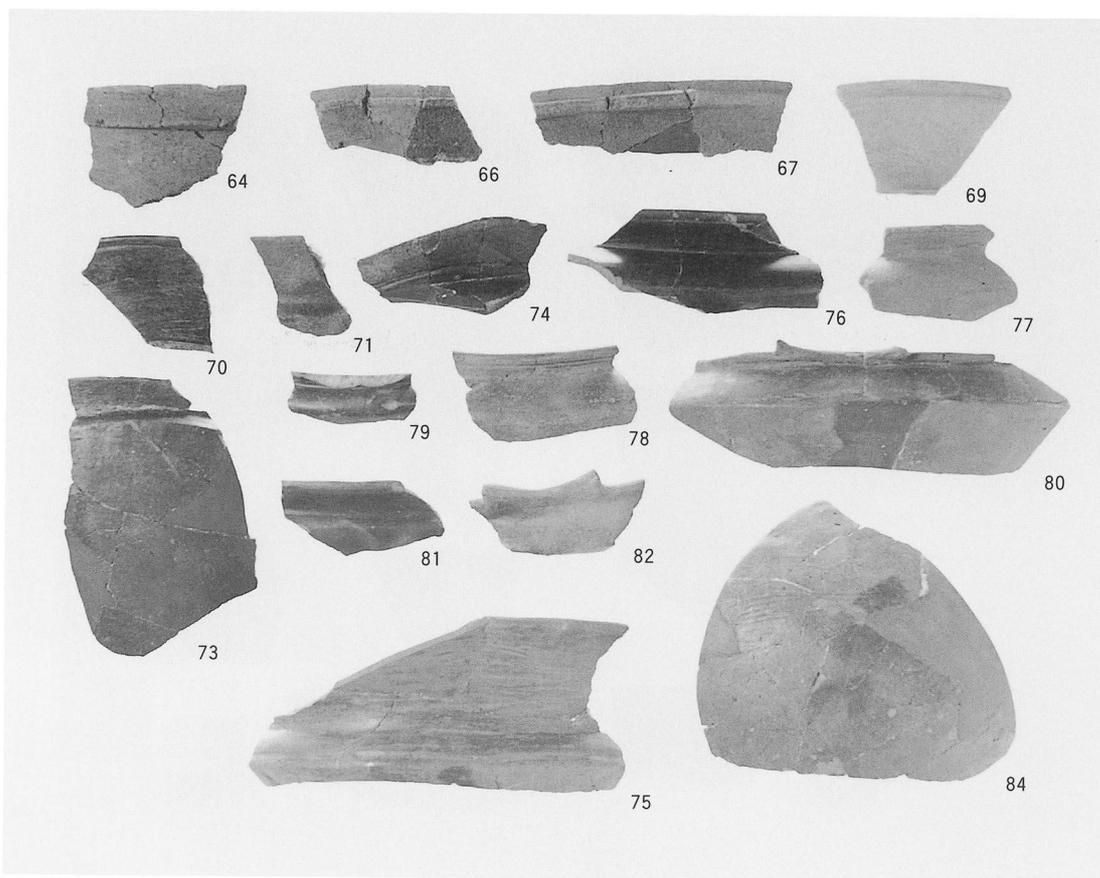


4号土坑 (SC 4)

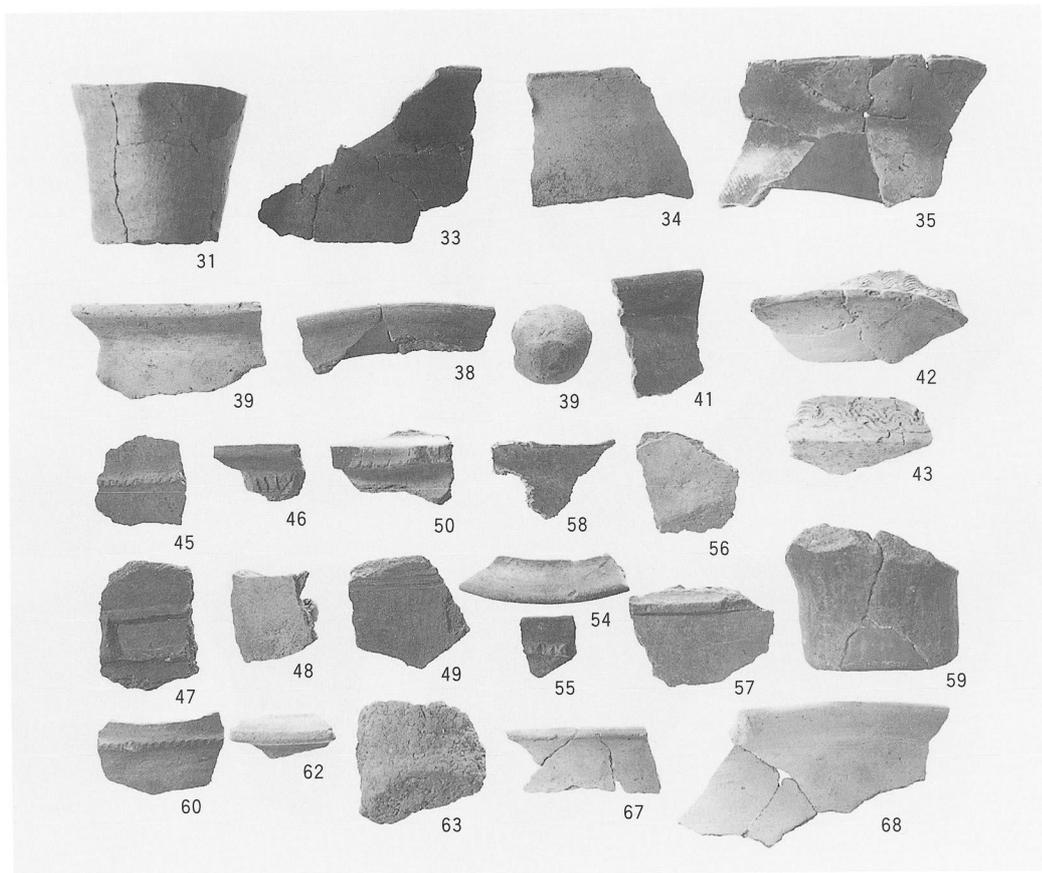
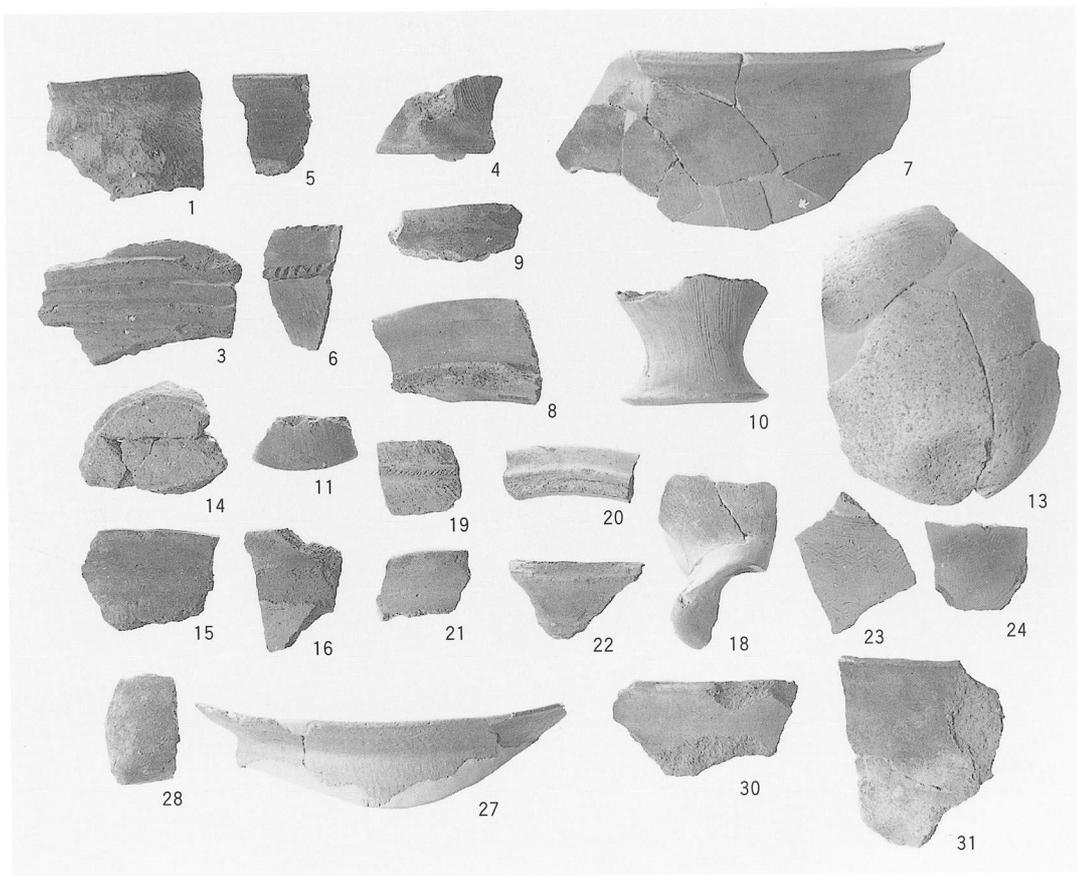
古城遺跡集石遺構／竪穴住居跡／土坑



古城遺跡出土繩文土器（1）



古城遺跡出土縄文土器 (2)



古城遺跡出土遺物 (1)